滿洲日報 夕刊
發行人 本村武盛
編輯人 橋本喜代治
印刷人 南里順生
大連市東公園町卅一番地
發行所 株式會社滿洲日報社

今後の具體策につき幕僚會議の意見一致
來京中の三武官けふ離京す
察哈爾問題は關東軍が解決

【新京電話】酒井支那駐屯軍參謀長、儀我山海關特務機關長、松井張家口駐在武官を迎へて板垣參謀副長官邸における關東軍幕僚會議は十七日午後九時三十分から十八日午前二時卅分に及んだが協議事項は既報の如く會議は極めて圓滑に運ばれ殊に現地軍部としての根本方針は全支的排日運動の根絶を目的とすることに不動の指導精神を置いて居るため、協議された種々の具體的問題についても、如何にしてこの目的に合致するやう處理すべきかについて意見が交換されたもので、今後の具體策については同日の會議において關東軍、支那駐屯軍との完全な意見一致を見、十七日來京の三武官は何れも十八日中に離京することゝなつた、而して察哈爾問題に對する解決策については、表面化した宋哲元の排日行爲として徹底的にこれを解決する方針の下に河北問題とは全然別箇のものとして關東軍の手でこれが解決策を講ずることに決定、具體的な要求及び交渉方法は松井中佐がこれを携行十八日午前十時發特急あじあで離京したが、今次の會議において既報の諸重要事項の對策を決定した外特記すべき重要な收穫は

一、察哈爾問題に對する關東軍と支那駐屯軍との協力について根本的意見の一致を見たこと

一、關東軍は土肥原少將が北支に赴いた後は單なる文書の往復によつて北支問題の情報を交換してゐたのみであるため兎角細部の點で十分な諒解を得られなかつた點があつたが、今回の會議によりこの點についての疑惑が全部一掃されたとの二點で今後も問題の推移により一定の時期に支那駐屯軍代表又は關東軍から現地に派遣された代表を新京に招集幕僚會議を開いて今後の對支政策遂行の聯絡につき萬全を期することゝなつた

松井中佐、宋と會見 下交渉を開始せん
その結果により土肥原少將出馬

【新京電話】關東軍幕僚會議に出席した松井張家口駐在武官は察哈爾問題解決の具體案を携へ十八日午前十時發特急あじあで

離京 したが、錦州又は山海關で儀我大佐と今後の問題について打合せを行つた後、一先づ天津に赴き土肥原少將に會議の結果を報告、更に張家口に急行宋哲元と會見、我が要求事項について下交渉を開始し、宋哲元の眞意を確かめ、その結果により愈々土肥原少將が關東軍を代表して交渉に當る筈である、而して關東軍から宋哲元に

要求 される事項は、根本精神においては河北問題の當時と同じく、即ち最近勃發した個々の問題の徹底的解決は勿論今後再び斯かる不祥事を起さぬやう不法行爲の根源をなす所謂中央政權の二重外交政策の放棄について徹底的解決を要求する筈である

秘境內蒙古 (二)

◆…蒙古人は墓を持つてゐない、死ねば高原の草の上に捨てられるのである、蒙古を旅行して若し墓を見たならば、滿人かロシア人の墓であると思へばいゝ。

◆…夕陽丘に沈めば餘映僅かに西の空を染めて、大草原は將に暮れなんとする、加ふるに今宵は嵐か……雨雲大空にむらがり擴がつて、手をのばせばとゞかんばかりに低く垂れ籠める。

◆…その密雲の下に見る十字の墓標が、うすら寒げに淋しく立つてゐる、この風景……ドイツ風表徵派の名畫を見る感じではないか……。

◆…寫眞は達賴諾爾湖の近くにて撮影したものであるが恐らくはロシア人漁夫の墓標であらう。

寫眞 山口晴康
文 島田一男

行政視察團歸任

【安東電話】奉天、安東、錦州、吉林、間島各省下縣長、參事官一行十一名の關東州及び朝鮮行政視察團は二週間の日程を終へて十八日午前十一時過安着それ〲歸任した

我軍の眞意を板垣副長から闡明
某國領事の質問に答へ

【新京電話】奉天駐在某國領事は十五日軍司令部を訪問、北支情勢及びわが軍當局の今後の方針等に關し軍司令官に會見したき旨申入れたので軍司令官に代り板垣參謀副長これと會見した、右會見において某領事は北支を今後如何にする方針かと質問したに對し板垣副長は

わが軍としては支那側か要求を全面的に承認した以上今後はたゞ支那側の誠意ある實行を注視するのみである

と答へ、更に停戰協定を擴大してその地域を北平、天津にまで及ぼす方針なりや否やの質問に對しわが軍にはその意思全然なきことを明かにし、最後に北支住民の自治運動に關しては

這は北支自體の問題であつてわが方の關知する筋合でなく、北支の事態は商震、萬福麟の現在執りつゝある努力によつて今後改善さるべく憂慮することなかるべき旨を述べた

右會見においてなした板垣參謀副長の應答はわが軍當局の眞意を披瀝したものとして注目さる

酒井參謀長と儀我大佐動靜

【新京電話】支那駐屯軍酒井參謀長、山海關特務機關長儀我大佐は十八日午前九時三十分關東軍司令部を訪ひ南軍司令官と會見約二十分に亘つて北支その後の狀況を說明し、終つて石本第二課長、河野參謀と前後の會議の補足的問題について一時間餘に亘つて種々協議し、次いで參謀長官邸で西尾參謀長に同じく北支狀況を說明、儀我大佐は十八日正午後のはとで出發、酒井參謀長は尙第二課方面との打合事項が殘されてゐるため午後八時發列車で出發する事になつた

二重外交放棄を目標に進む
出發を前に松井中佐語る

【新京電話】出發を前に松井中佐は語る

要するに南京政府の對日二重外交政策を放棄せしめる事を目標に進むのだ、宋哲元問題に就いては徹底的な解決を要求する、土肥原少將に報告してから直に張家口に行くが交渉代表としては、土肥原少將が當られるであらう、勿論此の問題を外交問題に移すやうな事はなく、現地軍部として解決する事にならう

宋に誠意なくば斷乎たる措置を….
板垣參謀副長語る

【新京十八日發國通】拂曉に及んだ重要會議後板垣參謀副長は語る

本夜の會議は松井中佐の報告を聽取し之に基いて宋哲元問題の對策を協議した此の外酒井、儀我大佐からも北支那問題其後の現地情勢を聽いた宋哲元の抗日意識に基く各種不法行爲、殊に度重なる滿洲國領土侵犯事件に至つては軍として到底看過し難いところで充分に彼の責任を問ふ積りである、而して彼にして誠意の認むべきもののなきに於ては軍としては或は斷乎何等かの措置に出づるやも計られずこの問題については現地において土肥原少將及び松井中佐が直接宋哲元と充分談判するであらう、宋哲元の問題は北支問題とは別個の問題であるから今後とも責任者たる宋哲元を相手に交渉を進める積りである

北支問題の前途豫斷を許さず
英外相下院で說明

【ロンドン十七日發國通】十七日午後開會された英國下院において劈頭新外相ホーア氏は英政府の對支方針につき長文の聲明を發表就中北支の新情勢について左の如く言及した

最近二週間北支における情勢は險惡を告げ事態憂慮すべきものあり政府は東京および南京駐剳各大使より情報を徵し各大使を通じ日支兩國政府と接近、眞相の把握に努力し情勢の推移を注視中である、いづれにせよ現在のところでは情報區々で歸するところを知らず、然も情報は刻々變化するものと思ふから成行きについて早急な豫斷を許さない現地にある日本軍當局は塘沽停戰協定の違反、停戰地區內反日行爲の廉を以て責任者に抗議を提出し、支那地方當局は日本側の要求を容れ、その對策を講じてゐるものと見られる、しかし問題はなほ今後とも現地日支代表者間の折衝に俟つものと見ねばならぬ

北支問題の對策 英米間で打合せ
英大使・米長官代理懇談

【ワシントン十七日發國通】ワシントン駐剳英國大使リンゼー氏は十五日國務省を訪問北支の情勢につきフイリツプス長官代理と協議を遂げたが更に十七日再びフイリツプス長官代理を訪問して北支の時局につき情報を交換し對策につき重要打合せを遂げた、右に關し國務省當局は特に次の諸點を強調してゐる

一、英國大使とフイリツプス長官代理との會談は非公式で主として現實の情勢に關する情報の交換の範圍を出でない

一、從つて會談の結果明確な外交的處置を決定するに至らない

米との提携を中心に英極東政策の再檢討
マック樞相を華府に派遣の計畫

【東京特電十八日發】ロンドン來電によればホーア外相は十七日下院において外交方針を聲明したが右聲明中に、從來の極東政策を再檢討すべき必要ありとし、その政策に於いてアメリカとの提携に重點を置いてゐることは注目を要するところで首相、外相は或特殊の目的を以てマクドナルド樞相をワシントンに派遣せん事を計畫して居り、マクドナルド樞相は今後移動大使として英國の高等外交を擔任するものと期待されてゐる尙英國は海軍軍縮會議にドイツを參加せしめ將來日、英、米三國豫備會議に於けるマクドナルド前首相の折衷案、即ち締約國は其の建艦案の內容に關し締約國に通告する義務を有する事とし斯くて日本には理論上のみ均等權を與へるも實際上には比率主義を押付けんとする老獪な戰法に出でて來るべき海軍會議の活路を求めんとするものゝ如し

佛國文相後任

【パリ十七日發國通】去る十四日閣議中急逝せる前文相フイリツプ・マルコム氏の後任人事異動は十七日左の如く決定した

任文相 海事相 マリオルスタン
任海事相 ウイリアムベルトラン

英獨海軍專門家會議

【ロンドン十七日發國通】英獨海軍專門家會議は十七日午後開かれる筈の兩國代表全體會議に先だち同午前十時三十分より英國海軍省において開かれたが、兩國代表は今週中に會議を終了することを希

佛政府の見解 英大使へ傳達

【パリ十七日發國通】ラヴアル佛首相は十七日駐佛英國大使クラーク氏の來訪を求め、英獨海軍會談に關する政府の見解を正式に傳達すると共に十二日附英政府の會談經過通告書に對する回答を手交し本國政府へ傳達方を要請した

伊政府の回答

【ローマ十七日發國通】去る六月七日英獨海軍會談に關する英政府の覺書に對し伊政府は佛政府と同樣十七日その回答を發した、內容左の如し

伊政府は獨政府の海軍問題に關する提案を他の海軍問題と別に檢討することは出來ぬ、華府條約以來の諸海軍條約に照合して研究すべきものであると思惟する、然し乍ら伊政府は獨政府の要求に關して開かるべき如何なる會議にも參加する用意がある

國境紛爭防止 日滿ソ三國間に交渉進捗中

【東京十八日發國通】十七日の內閣審議會總會で蘇滿國境問題に關聯して廣田外相は國境の不侵略問題について大田大使から交渉を進めてゐる旨を述べたが右は傳へられる不侵略條約締結交渉ではなく日滿蘇共同委員會設置に關するもので國境における紛爭の發生せる場合局地的折衝を以つて事態の擴大を防止せんとするものであると

于上將着任

【奉天電話】這般の內閣異動に伴ふ一部軍司令官の異動に依り第一軍管區司令官に補せられた前第四軍管區司令官于琛澂上將は十八日午後一時三十八分着あじあで晴れの着任をなしたが、軍管區司令部を始め滿洲國諸官廳の代表多數驛頭に出迎へた

因に于新司令官は吉林省雙陽縣の人、字は險舟、陸軍速成學校の出身で舊政權時代吉林第十六師長を勤め一時下野したが昭和六年滿洲建國運動起るや之に參畫後吉林剿匪司令官兼北滿護路軍司令官となり、昨年國軍の改編と共に上將に昇進哈爾濱第四軍管區司令官として今日に至つた人で、本年五十歲の働き盛り、夫人はロ

扶桑丸 十九日午前七時三十分大連港外着の豫定

蛇角

◇氣壓配置面白からず、北支の天候不穩なり、されど雨か風か、それとも曇か、俄に豫斷し難し。

◇これが問題の英外相の重大聲明とやら、頼ないこと、何處やらの天氣豫報によく似て居る。

◇日本の豫想は、明らかに曇後晴である、風よ吹け〱、暗雲忽ち晴れるであらう。

◇目標は于學忠、宋哲元、何應欽などの浮雲ではない、背後の山巒の秀麗を望むのみ。

◇昨今、現職警官の暴行沙汰續々と傳はる、而も被害者の多くは泣き寢入りとなる者が多い。

◇人民保護の名はいづれに浮淪するか、警察當局の自戒を望む。

往來（十八日）

汽車【到着】▲（午前八時）忠滿南道警察官視察團十一名（代表武揚警察部）▲高木二郎氏（ドイツ・ユンケルス日本總代理店營業部長）同上ヤマトホテルへ▲（同八時四十分）中里龍氏（關東地方法院長）▲福榮眞平中佐（關東軍交通監督部々員）雲水ホテルへ【出發】▲（午前九時あじあ）大內成美氏（大連市會議長）哈爾濱へ▲白井喜一氏（奉天鐵道事務所長）▲岡村金藏氏（滿洲電業取締役新京電業局長）▲市原善積氏（滿鐵々道部技師）新京へ▲西尾茂氏（同上）同上▲（正午はと）池田武大佐（關東軍司令部囑託）撫順へ

船【出港】▲金子隆三氏（大藏省預金部長）▲傷病兵相原一等計手外八十二名

愛戀十字街 (104)
浅原六郎
橋本八百二繪

二つの路（一）

「御電話で御座いますよ」と、アパートの人が云ふ。この閑靜ではあるが小さなアパートには、各室に連絡した電話がなかつたのだ。

明子は小走りに階下に降りて、受話機をにぎつてみた。

「どなたで御座いますの?」

「あなた、明さん?」

その聲をきいた時、明子は全身に電氣をかけられたやうな衝擊を覺えた。

「お母アさまぢやありませんか」

から云ふ聲さへもふるへてゐた。

「これからあなたの處を御訪ねしようと思ふの。御都合お惡い?」

「まア、いゝえ、來て下さいますの?」

「青柳さんもゐらつしやる?」

「生憎、今留守なんですの」

「十分ほどしたら行きますよ」

明子は部屋にもどつてきても、胸をわくわくさせてゐた。

まア、お母アさまが、わざわざきて下さる。もつたいないこと、でも、嬉しい。

明子はいそいそと部屋のかたづけにかゝつた。しかし、最近の青柳を考へると、暗い心を感じた。

間もなく母が、前よりも幾分元氣な顏でたづねてきた。

「お母アさま」

さう云つて母の胸にとびこみ、肉親の愛情でかたく抱かれた明子は、小さいときのやうな乙女心になり、わけもなく泣けてしまつた。

「お母アさま、すみませんでした。わたしのやうな親不孝な娘をたづねて下さるなんて」

「明さん。わたしもいけなかつたんですよ。あとでわたしも後悔しました」

「そんなこと、もつたいないわ」

「ほんとに明さんに御詫びしたいと思つたんですよ」

「いや、お母アさま、そんなこと仰言つちや。明子は何んて御詫びしていゝのかこまるんですもの」

母の心のとけたのが嬉しかつた。せき子は、しみ〲とした眼で、明子をながめた。家にゐたころからみると、明子の頰の肉は少しそげて、あの活々とした若さが、どこか曇つてゐるやうにみえた。

「明さん、少しやつれたやうぢやない?」

「さうかしら、あたしちつとも氣がつかなかつたけれど」

頰のあたりを撫でながら、

「二三日前風邪をひいてやすみましたの、そのためでせう」

「青柳さんは何處かにつとめてらつしやるの?」

「いゝえ、でも近いうちに仕事をみつけて働くとか云つてゐますの」

せき子は母らしい心づかひから、自分の娘が現在幸福かどうかを知りたいと思つた。然しそれを口にだすのは憚られたので、何かをもとめるやうに周圍をながめまはした。

「青柳さんの御歸りは遲いこと」

最近の青柳はいつ歸つてくるか全く解らない出たらめな生活をしはじめてゐた。

「夕方には歸つてくると思ひますの」

さう云つて明子は微笑した。しかしその微笑には寂しい影がふくまれてゐた。

警官の醜聞續く
今度は酌婦と心中
内地女に寄せる巡捕の熱情
女は危ふく助かる

十八日午前十時半頃春日池裏山鬱蒼たる松樹の下で、若き男女のピストル無理心中があつたとの急報に接し、大連署中島檢證官、香取警察醫その他多數の警官現場に驅けつけ檢證を行つたが、意外にも男は元大連署衞生係給仕から巡捕採用試驗に合格し、この程拔擢されて水上署の高等係の特務巡捕になつたばかりの將來を囑目されてゐる若き警官であり、相手の女は逢坂町正木亭の酌婦で、男は絶命女はかすり傷を負つたのみで助かつたことが判明した

周圍の反對から無理心中へ？
ふとした事で馴初め

十八日午前十時頃社會館止宿の加藤辰一(二〇)君が友人二人と春日池で退屈の餘りボートを漕いで遊んで居ると、逢坂町方面より睦じさうだが深刻な顏をしてやつて來る若き男女の一組のあるのに氣がつき、注意してゐると池の畔を過ぎ遊覽道路

裏山の 松樹の中を一心に山の峰に向つて上つて行くので好奇心をそゝられた三名は一町位の間隔を置いてその跡を尾けて行つた、男女が山の中腹まで行つたと思はれる頃、忽ち起る一發の銃聲、續いて二發、三發目の聞えて來たのはそれから數秒後、銃聲の聞えた方向に遮二無二現場に驅付けて見ると、男は朱に染まつて仰向けに倒れ、女は倒れた男の身體に身を伏せて失心した面持で打ちふるへながら咽喉には不氣味にピストルが擬せられてゐるといふ物凄い場面だつたので、女の手からピストルを奪ひ直に引返して逢坂町派出所に屆出たので、こゝに初めて事件の全貌が判明したのである

取調べにより男は昨年十月十日まで大連署衞生係の給仕を勤めて居つたが巡捕採用試驗に合格すると同時に水上署勤務となつた薛吉慶(二三)、女は逢坂町正木亭荒川ユキ子(一九)で、去る四月ユキ子が

埠頭で 一寸した事から薛巡捕に叱られた事が二人の魂の相寄るそもそもの始まり、それ以來男は屢々女に電話をかけ

二人はいつも外で逢ふ瀬を樂しむやうになつたが、薛には少年時代からの許婚者で既に結婚し

死のかどでに……
(その前日寫したふたり)

た若い妻があつた、然し薛は常にその結婚生活を喜ばず、家を外にする日が多かつたが最近市丸との仲が益々深まり此の頃ではどうにかして一緒にならうとさへしてゐたのに兩親を始め上司、友人等よりの反對でそれも出來ず遂に無理心中を企てたものである

十七日も朝から男は女のところに行き、一緒に連鎖街入江寫眞館で記念撮影をなし、その足で星ケ浦に到り、やつぱりピストルで男が心中を迫つたが女が應じなかつたので、再び正木亭に二人で引き返して來たが、その時

正木亭 では男のピストルを奪つて帳場で十八日朝まで保管してゐた、男の親が同朝取りに來たので渡してやつたものである

"思ひ切る"といつてたのに
淺子署長語る

水上署の滿人巡捕が日本人娼妓と心中したとの知らせに驚きながら淺子水上署長は語る

まさか心中しようなんて考へなかつた、昨日(十七日)午後會議中薛巡捕が僕を一寸用事があるからと呼び出したので室を出てみるとその女と一緒に立つてゐた、どうしたのかと聞くと「署長さん、私はこの女と結婚したいから許して下さい」と藪から棒に云はれ、私も返事のしようがないので後でゆつくり話を聞かうと云つて置いた、ところが晩七時ごろまた官舍へやつて來た、やはり何とか結婚を許してくれと迫つたが、薛には妻子もあることだし、諄々と說いて聞かしたら「よく判りました、女を思ひ切ることにします」とそのまゝ納得して歸つて行つた、薛巡捕は私が大連署の衞生主任時代ボーイとして働いてゐた、眞面目な男で日本語がとてもたつしやだつたのでその後昭和八年巡捕に任官し、勤務成績が良いので海岸分室派出所から先程の異動で高等特務に拔擢したばかりなんです、女は心中常習者だとかいふ話です

日米對抗水上競技
顏觸れ決る

【東京十八日發國通】一九三六年オリムピック制覇の偵察戰たる日米對抗水上競技は愈々八月十七日から三日間神宮プールで擧行されるが、來朝を豫想される米選手は短距離ピーターフイツグ(百米五十六秒六)アーサーハイランド、中距離ジヤツクメデイカ、ジエームスギルフアー、平泳ジヨンヒギンス(百米一分十一秒八)背泳アドロフキーフアー(百五十ヤード一分三十六秒一)アルバードバンデウエー(昨年百、二百の日本選手權獲得)の外米國粒選りの一流選手十四名で、之を迎へる我選手は短距離遊佐、中距離では牧野、根上、北村、平泳では小池、背泳では新進吉田その他水上日本の超弩級を總動員するものであり

この太平洋を隔てた强力無比の日米の一戰こそは明年のベルリン大會を彷彿せしめると共に、文字通り世界爭霸の一戰として注目され互に萬全の秘策を練つてゐる

ピストル心中の現場……

日本精神聯盟支部發會式
廿三日大連神社で

日本精神聯盟大連支部結成準備委員會では來る二十三日の發會式を午前九時より大連神社境內にて擧行することゝなし、順序を左の通り決定した

(一)一同着席(二)開會の辭(三)國旗揭揚(四)國歌合唱(五)詔書捧讀(六)代表者挨拶(七)綱領並信條朗讀(八)來賓祝辭(九)本部代表者祝辭(一〇)帝國萬歲三唱(一一)聯盟萬歲三唱(一二)國旗降下(一三)閉會の辭、式後大連神社參拜、散會

拉濱線に出水
各列車立往生

【奉天電話】前日來の豪雨のため拉濱線一帶は一時に出水し、十八日午前六時四十分頃同線馬鞍山—小城子間哈爾濱起點二百四十粁附近の線路に約二十米浸水し、列車運轉危險となつたので新站、上營に各列車は立往生してゐる

又運轉手に撲る蹴るの暴行
驛前派出所事件

最近警察官の暴行事件相次いで起り、數日前の水上署員の暴行沙汰の如きは遂に告訴事件となつて檢察局の手に移つたが、檢察當局では官紀振肅の意味から斷乎として官憲の不法行爲を究明することゝなり、その後被害運轉手からの告訴取下げの出願に對してすら、應ぜぬ程の

强硬 態度にある折柄、又も十七日午後六時半特急あじあ到着に混雜する大連驛構內で取締警官が運轉手二名に暴行を加へ、うち一名は脇腹を蹴り上げられ今なほ床に就いてゐるといふ不祥事件が發生、俄然民衆保護の警察官に對し非難の烽火が揚げられてゐる

不祥事件の發端は十七日午後六時半の特急"あじあ"の乘客を待つタクシーが大連驛構內廣場に駐車中、前列から二番目に駐車してゐた大タク常盤橋營業所運轉手張庚護(二二)が客に呼ばるゝまゝに駐車線を離れ出てその客を拾つたところこれを目擊した驛派出所勤務宮谷忠雄巡査は直に

客を 降車せしめて張運轉手を叱責した

これに對し運轉手が「それはお巡さん無茶でせう」と辯解するやその言葉に逆上した宮谷巡査は張運轉手を毆打した上へ足蹴になし、昏倒して起き上るや又も蹴り倒すの暴行を加へつゝ派出所內に連れ込み、こゝでも鐵製の十能を以つて運轉手に毆打を加へた

これを目擊した他の運轉手連中は不安と亢奮にかられて騷ぎ出し、そのうち大タク運動班井上運轉手が派出所に赴き、事情を聞かんとするや、同巡査は"橫から餘計なことをいふな"と今度は井上運轉手を毆打した、これを見るに見兼ねた憲兵某氏は威猛高となる宮谷巡査を制止し、大タクからも事務員などが驅けつけて、同巡査の

不法 を詰るなど漸く事件が表面化されんとするや同巡査は急に狼狽しはじめ、同夜十時頃仲裁に入つた憲兵某氏に伴はれて常盤橋大タク營業所を訪れ平謝りに陳謝するところあつた

然るに最近警官の暴行事件相次いで起り、而も同夜の宮谷巡査の暴行沙汰は人權を輕んずるも甚だしい行爲であると十八日朝大連驛駐車の運轉手連中が騷ぎ出し代表者は大タク重役と會見會社側として善後處置を講じて貰ひたいと要求する處あつた

無茶も甚し
憤慨する一目擊者

右暴行現場には大連憲兵分隊員その他多數これを目擊してゐたが、右の事實につき一目擊者は左の如く語つた

驚くといふより全く憤慨に堪へない、あんな亂暴があるものですか、私は交番のところにゐたのですが、最初の一人は巡査に引つぱられて交番の中へほうり込まれ「お巡さん無茶でせう」といふと「何事だ、今度こそは承知しないぞ」と怒鳴りながら勘辨して下さいと叫ぶその男を無茶苦茶に撲りつけ、倒れたところをなんども靴で蹴上げ更に椅子をふり上げてどやしつけたのです、「貴樣の免狀は取り上げてやる」とタクシーへ電話してゐるところへ今一人の男が「さつきの運轉手さんどうしたんでせう」といつて入つて來た、それで「運轉手がどうしたんだ、貴樣もか」といきなり頰を毆りつけ「一寸お尋ねに來ただけなんです」といふのも聞かず「理由もないのにこんなところへはいつて來る奴があるか」となほも毆りつけ倒れたところをまた椅子でどやしつけてゐた、そのどやし方は實に亂暴を極め、むごたらしくつて見てゐられませんでした、殊に後から入つて來た男など實におとなしく樣子を心配して聞きに來たのに、それを無法にもあゝしたむごたらしい暴行を加へるとは單なる第三者でも非常ないきどほりを感じます

滿蒙の野にこゝろ殘して
白衣の勇士凱旋す

白衣の勇士相原一等計手以下八十三名は去る十五、六の兩日に亘り沿線各地より來連したが、輸送指揮官一等軍醫中野義雄氏に率ゐられ十八日出帆あめりか丸で凱旋の途についた、國婦會員始め大連商業、春日小學校兒童等の諸團體、その他多數の見送り人が出帆前埠頭を埋める、隈部市長代理がマイクを前に感謝の辭を述べて勇士の勞を犒へば、これに對し相原一等計手一同に代つて力強く挨拶をなし、終つて市長代理の發聲で萬歲三唱、かくて勇士を乘せた船は「どうぞお大事に……」の見送りの言葉をあとに靜かに岸壁を離れ、一路なつかしの故國に向つた

寫眞 出帆直前の勇士たち

またも怪盜
阿波共同支店から 一千餘圓盜み去る

一萬圓怪盜事件犯人檢擧に晝夜大活動を續けてゐる大連署管內に又復一千七百二十圓の大金盜難事件があつた、市內山縣通二〇〇阿波共同大連支店長山崎龍次郎氏が同事務所に保管中の金票八百餘圓を始め爲替、大洋、小洋、鈔票、その他現金合計一千七百二十圓が十六日午前十一時より十七日午前五時迄の間に竊取されてゐる事を發見、十七日午後大連署に屆出で犯人嚴探中

王德林一味と提携
北滿攪亂に策動す
…藍衣社一派の暗躍

【新京電話】滿洲後方攪亂を企圖する國民黨の分身藍衣社は若き同志を凡ゆる方法を講じて入滿せしめんとして既に河北問題に刺戟された一味の中にはそれぞれ潛入の形跡あり、在滿警備機關は是が查察に全力を擧げてゐるが、滿洲國の治安を攪亂すべく、ウラヂオ同地を足溜として滿洲に働きかけんとしてゐた折柄、平津に於ける排日分子の解消を機として滿洲に流れ込む同志と連絡をとり、北滿地區を攪亂化さすべく王德林一派と提携愈々活動に入つたと傳へられてゐる、彼等は既に在家裡の信徒を連絡先として蔣介石の寫眞を團員章として肌身離さず持つてゐる

制覇の法政軍
大連に遠征
…實滿兩軍と對戰する

本年度外來チームの招聘に關しては過般來實滿兩後援會に於て六大學リーグ以下各方面と種々交渉中であつたが、六大學リーグの覇者法政大學は上海遠征の歸途來連の上實滿兩軍と對戰することに決定した、同大學軍は來る七月一日神戶出發上海に赴き、同地各チームと對戰の上七月十八日着連の定期船で來連、實滿兩軍との二試合を終了後海路歸京することゝなつた

尙目下內地各地に轉戰中の比島チームを招聘すべく交渉中であるが、多分七月初旬來連することゝなるべく關西リーグの雄京都帝大も八月上旬來連することに內定した

列車に天然痘

十八日午前十一時四十分着二十二列車に天然痘騷ぎがあつた——患者は岐阜縣生れ福岡讓吉(二〇)で熊岳城から乘車したが車中發病したものらしく、瓦房店にて下車同地滿鐵醫院で診察の結果、天然痘の疑ひあり直ちに同驛より大連鐵道事務所に急報同列車が大連驛到着後乘客及び車體の消毒を行つた

列車到着に際し衞生當局の手違ひか消毒器具なきため止むなく驛備付けの器具を使用した、なほ患者は最近まで熊岳城某ホテル別莊に止宿せる湯治客らしい

醫大に赤痢
寄宿舍から廿四名發生 全校つひに休校す

【奉天電話】滿洲醫科大學豫科寄宿舍啓明寮から二十四名の赤痢患者を出し、更に蔓延の兆あり、奉天署では萬一を慮り同寮の交通遮斷を行ふと共に、發生二百六十名の健康診斷をなし豫防に努めてゐる、一方醫大當局は十八日遂に全部の臨時休校を行つた

殺人被疑の天野護送
河南丸事件

既報、元河南丸一等機關士、大汽豫備員の市內櫻花臺一二七番地天野知氏(三七)は殺人容疑者として新潟縣刑事課の手配により大連署司法係の手に逮捕され同署に留置のところ、十八日午前十時出帆あめりか丸で新潟縣刑事課增田警部補同早川巡査により新潟縣刑事課へ護送された

船中二等のキヤビンに落着いた天野は蒼白な顏色で"私も決心してゐます、向ふへ行つたらありのまゝに話します"とある決意を抱いた言葉を吐いたゞけで固く沈默を守りそれ以上語らなかつた(寫眞は天野)

內地臺灣飛行
十月八日開始

【東京十七日發國通】明年一月から實施の豫定であつた內地臺灣飛行は豫定を二ケ月繰り上げて此の秋十月八日から決行することになつた

右は此の秋臺北市で擧行される臺灣始政四十周年記念大博覽會のため促進されたもので、年內は郵便飛行機で行ひ、往航は一日連絡、復航は第一日沖繩縣那覇に着陸二日連絡で、ダイヤグラムその他は目下空輸會社と遞信省航空局並びに郵務局その他關係各方面と打合せ中である

天氣豫報 (十九日)
北西の風 晴一時曇
滿潮(午前十一時五十分 午後)
干潮(午前四時五十五分 午後六時二十分)

親鸞聖人 （246）

女人篇

吉川英治作　山村耕花畫

吉水夜話（二）

「念阿どの」

と、こんどは心寂から攻めた。

「他人のことばかり仰せられずに、ちと、貴方の事も、話していたゞきたいものぢやが」

「いや、わしには何の話もない。――それよりは、蓮生殿こそ」

と隣にゐる蓮生房の顔をのぞいた。

治承、壽永の戰に幾多の生死の下を實際に歩いてきた熊谷次郎直實の話を、同房の人たちはよく彼の口から聞きたがつた。

だが、蓮生は、

「は、は、は、は」

もう白髪まじりのまばらな鬚の中で、坂東武者らしい大きな口をすこし開いて笑ふだけだつた。

いつも、からう笑ふのが、彼の答へなのである。

でも今夜は、それに少し言葉をつけ加へて、

「この年になつて、何の戰ばなて、掌を合せずにゐられない氣が

どのゝお手引でした。永年の間、天台の古學にも救はれず、秋葉の蓮華寺にたゞ老い朽ちる私であつた所を、その頃、一筋に淨土門へ入つて、名も戀西と申されてゐた熊谷入道にふとお目にかゝり、吉水にかゝる上人の在はすと聞いて、一圖に都へ上つて來たのでございました。もし入道が熊谷の歸途に、私の寺にお立ち寄りくださらなかつたら、或は、私は生涯こゝで有縁のよろこびを皆さまと共に味はふことが出來なかつたのではないかと何日も思ふことでござります」

と、感謝して云つた。

綽空は、默然と、人々の話を聞いてゐたが、殊に、熊谷蓮生と禪勝の話には、心をひかれて、

（自分にも、もしあの朝、安居院の法印と四條の橋で會はなかつたら……）

と今更に、その時の機縁に對して、

熊谷直實法師像

大作主義の日活東京　秋の十三作決定

日活東京では過日來慎重協議の結果、今秋發表の十三大作品を左の如く決定した、中トーキーは八本

全發聲　▲「緑の地平線」東西朝日連載横山美智子原作岡讓二主演▲「魔笑人草」夏目漱石原作入江プロ、日活、協同提携第一回作品、岡讓二、入江たか子主演、阿部豐監督▲「情熱の詩人啄木」革命的純粹藝術映畫▲「可愛いお圭ちやん」水久保澄子主演（「うら街の交響樂」姉妹篇）▲「曲馬團」サトウ・ハチロー書卸しの悲傷篇▲「新佐渡情話」浪曲映畫竹田敏彦原作富士連載、壽々木米若吹込み▲「喘ぐ白鳥」加藤武雄原作婦人倶樂部連載▲「金の鍵の篋」里見弴原作婦人公論連載

全音響　▲「極樂停車場」オリヂナル喜活劇、大谷俊夫監督▲「お月様も忙しい」H・Bシリーズ作、田口哲監督▲「二重橋前」オリヂナル人情劇、千葉泰樹監督「男のまごゝろ」熊谷美談、倉田文人監督▲「弾ずむ歌」サトー・ハチロー原作熊谷久虎監督

16ミリニユース

たが各所團體の申し込み多く遂には青島より約百名の申し込みあり阿波汽船ではその爲態々一艘仕立てる由でこの座市中は羽左の話しで持ち切りである

因に愈々二十日より座席券引換へをするさうであるが時間を定めて協和會館、三越百貨店、幾久屋百貨店、山葉洋行で引換へするとのこと

青島から團體で〝羽左〟を觀賞

二十日より座席券引換

本紙連載小説の映畫化

日活特作『丹下左膳』全滿封切會

上映館　大連（日活館）・奉天（新富座）

新京（新京キネマ）・哈爾濱（哈爾濱キネマ）

第一回封切館（大連）日活館

廿二日より本紙讀者優待（割引券は關東州版）

後援　滿洲日報社

御客様各位

謹んで御詫申上ます

開店早々皆様方に格別の御贔屓を忝ふし御芳情厚く御禮申上ます、就而は御客様方日々御殺到御來店下され混亂の折柄御贔負の皆様方に嘸かし不行屆と不都合な點多かりし事と恐縮致して居ります、平に御容赦下さる樣御詫び申上ます。

尚今後共相變らず特別の御贔屓と御後援の程伏して御願申上ます。

浪花鮓　主人敬白

満洲日報
朝夕刊共十四頁
大連市東公園町三十一番地
發行所 株式會社 満洲日報社
私書函一三五號・振替大連六〇

宋哲元遂に罷免さる
後任主席には秦德純を任命
南京行政會議で決定

【南京十八日發國通】國民政府行政院は十八日の定例會議で宋哲元を免職、その他左の重要案件を決議した

一、察哈爾省政府委員兼主席宋哲元の本兼各職を免じ民政廳長秦德純をして省主席を暫時代行せしむ

一、北平政務整理委員長黄郛は病氣のため執務する能はざるにより、王克敏をして委員長の職を暫時代理せしむ

一、商震をして天津市長を暫時代行せしむ

わが既定方針は不變
宋軍平穩移駐するか疑問

【新京電話】宋哲元の察哈爾省政府主席罷免に關しては新京各機關に未だ何等正式報告は達してゐないが、若しこれが事實とせば當然宋哲元は部下たる第二十九軍を引きつれ他の地に移駐する外なきものと見られる、然し宋哲元現在の境遇は于學忠の如く親分を持たず孤立の狀態にあるから移駐地は極めて不利なる地域であらうことが想像される、從つて第二十九軍が柔順にその移駐を承知し平穩裡に察哈爾省を放棄するか否かに疑問がある、萬一彼等が移駐を承諾せず現在地に駐屯を頑張る場合は相當深刻な内爭を惹起するに至るべく、察哈爾の事情は一層混亂化する懼れがある、而してわが關東軍としては宋哲元が主席を罷免された場合は當然宋に代るべき人物に對し既定方針により要求事項の履行を迫るべく既定方針を變更する必要はない、右につき消息通は語る

宋哲元の罷免といふことは考へられぬことはない、主席を罷免しても軍長の職を解く譯には行かぬ、而も軍長は主席を兼ねることにより税金を徴收し之を軍費に當てゝゐるのだから主席を罷める以上何處かに移駐せねばならない、然し彼は全く孤立の境遇にあり、移駐先は西の方しか無いだらう、果して第二十九軍の兵が柔順に引揚げるか疑問である、兎も角南京政府のやることは裏の裏があるから之を以て日本に對する誠意と見ることは出來ぬ

今後の北支政局動向
省政府中心に

【北平十八日國通】北支の事態は獨立國家、新軍事協定、或は新政權獨立の說は十七日我軍部の聲明により一部のためにせんとするものなる事明かとなつたが軍事分會並に政務整理委員會等、蔣介石直系勢力總退去後の北支における政治機構は河北省政府組織に集注單一化してその中心的人物としては王克敏がその閲歷實力より推して殆ど決定的であり、今後北支の政治動向は王克敏を主席とする省政を中心に展開するものと見らる

于軍鄭州に集結

【天津十八日發國通】于學忠の第五十一軍は保定より陝西剿匪に移動してゐるが、大部隊は鄭州に集結した、先頭部隊は既に西靖に到着して居り、司令部及び自動車隊は十七日午前九時より十八日にかけ陸續として鄭州へ向ひつゝある

河北省政府主席は王克敏氏に決定
きのふ行政會議で

【上海特電十八日發】南京政府では十八日行政院會議を開催、汪精衞、何應欽兩氏も出席、先づ何應欽氏より北支問題の經過を報告、次いで汪精衞氏より汪、何及び黄郛氏の三巨頭會議の結果を報告、黄郛氏としてはなほ當分北上し得ざる事情あることを說明して取あへず王克敏氏を河北省政府主席に任命して事態の收拾に當らしめたき旨を述べ協議の結果王氏を河北省政府主席に任命の件を決定した、王氏は十八日夜上海發南京に赴き同地に二、三日滯在して政府と打合せた後北上する事となつた（寫眞は王氏）

宋哲元軍の不信行動到底默視する能はず
陸軍當局決意を表明

【東京十八日發國通】陸軍當局は十八日午後宋哲元軍の滿洲國侵犯不法挑戰行爲に對する今後の斷乎たる決意につき左の如く發表した

北支事件も無事解決せんとし、事態緩和を見んとする矢先、察哈爾省駐在の宋哲元軍は去る六月五日關東軍職員を張北において不法監禁せり、わが陸軍は北支の大局に鑑み北支事件の紛糾を避けんとし、この不法事件に對し極めて穩便なる解決を期しその交渉を進めんとしたるにも拘らず、茲に又も宋哲元軍の滿洲國侵犯不法射擊といふ一大不祥事を惹起せることは極めて遺憾とする所、不法監禁事件といひ國境侵犯不法射擊事件といひ何れも昨年末以來同一地點に起りたる各第二回目の事件なることは極めて怪訝に堪へざる所にして、特に本件は宋哲元軍が停戰協定を蹂躪したるのみならず大灘會議において誓約したる事項を無視したるものにして、我陸軍としては到底默視する事能はざる性質を有す、本事件今後の推移は俄に豫測を許されずと雖も、先般來の北支事件とは全く別箇の問題にして、彼此混同すべきに非ざることは特に留意せざるべからず

支那側の對日方針根本的是正を期す
酒井駐屯軍參謀長談

【新京電話】支那駐屯軍參謀長酒井大佐は十八日午後二時三十分再び關東軍司令部を訪問、石本第二課長、河邊參謀と約二時間に亘り種々協議を遂げたが、同參謀長は總ての打合せを終り、午後十時發列車で石本第二課長の見送りを受け朗かに歸任の途に就いたが、支那駐屯軍との今後の連絡方法は大要左の如く決定を見た

一、支那駐屯軍及び關東軍は一體となり、軍事協定範圍内における北支、察哈爾兩問題の善後對策に關して協議された最も重要なる事項は外務省を援助して行ふ全支的日支關係整調方法及び關東軍、支那駐屯軍はその萬全を期して今後支那側に要求實行につき嚴重監視を續ける

一、軍は外務當局を支援して南京政府の對日イデオロギーの根本的是正に邁進する、即ち今次の事件の發生は南京政府の對日政策の錯誤から來たもので、その根本的態度を是正せしむるためには日本外務省當局と南京政府との間に確固たる協定を必要とするが、これらの問題は外務省當局に交渉を一任し、軍部は本來の使命に立返る、但し今後共支那側にして軍事協定に違反する反日滿的若くは侮日的行動をなしたる場合には軍は斷乎として膺懲、一歩も假借するところなし

なほ出發を前に酒井參謀長は語る

種々關東軍と打合せたが要するに問題の解決は支那中央政權の對日イデオロギーの根本的是正にあるが、今後の問題に關しては外務當局の交渉において解決を期するべきであらうと思ふ、軍は軍としての使命に邁進するのみだ

なほ酒井參謀長は奉天にて待合せ中の儀我大佐、松井中佐と共に十九日朝飛行機で天津へ歸任の豫定

我軍の要求全部宋哲元容認か
自己の地位擁護の爲

【北平特電十八日發】張北事件に對する關東軍、支那駐屯軍の解決方針決定したので、近く北平軍事分會委員長代理鮑文樾及び宋哲元とわが出先武官との間に正式交渉が開始されるが、宋哲元は代表秦德純を天津に派遣し土肥原少將に對し頻に恭順の意を表しつゝある一方蔣介石に對し察哈爾省における反日政策の絶對的拋棄について指令を仰いでゐるが、彼は自身の地位擁護のためには我軍の要求全部を容諾し、反日工作の禁絶を誓つて和平解決を圖るものと見られてゐる

宋哲元の態度
今明日中に鮮明

【北平十八日發國通】張北事件について宋哲元は未だ態度を明らかにせず、排日滿政策の絶對的中止に關しては何等の誠意も示してゐないが、之は一方請訓するも蔣介石よりの回答なき爲めもあり、使者として派遣した部下が十七日四川にある蔣介石と面會してをり、今明日中には彼の態度も鮮明となる模樣である

何應欽の北上
全く絶望

【北平十八日發國通】何應欽の荷物百餘梱は十七日午後八時北平前門西驛より南京に向け積出された、之に依り彼の北上は軍事分會數度の招電にも拘らず望みなきこと明となつた

宋を天津に招き交渉
土肥原少將談

【天津十八日發國通】在津中の土肥原少將は松井中佐の歸津を待つて關東軍の意向を聽取した上、宋哲元を天津に招き交渉に移る模樣で從つて宋の責任を糺明し今後排日的行爲の絶對的禁止を徹底せしむるものとみられる、右に關し土肥原少將は意味深げに左の如く語つた

予が何も北平まで出かけるに及ばぬ、宋哲元を天津に呼び出せば良いではないか

察哈爾問題は切離すが當然
＝儀我大佐語る＝

【新京電話】離京に先立ち十八日儀我山海關特務機關長は語る

今回の會議は北支並に察哈爾問題に對する打合せで文書の上では徹底しないからお互ひに膝を交へて語り合つたに過ぎない、今朝先發した松井中佐とは錦州で落合ふことにしてゐる、松井中佐は天津で土肥原少將に會ひ關東軍の意志を傳へ察哈爾問題に對する今後の對策を協議する事にならう、察哈爾問題に對する正式交渉は松井中佐が土肥原少將に會つてから決定される筈である、兎に角河北問題と察哈爾問題は切離して別個の問題として取扱はれるのが當然だ、自分は一先づ山海關に歸る

松井中佐過奉

【奉天電話】松井張家口特務機關長は新京における幕僚會議を終へ十八日午後一時三十八分着の列車で來奉少憩後、同二時發の奉山線直通列車で天津に赴いたが驛頭にて語る

昨日から今朝二時までかゝつて協議が行はれた、やるだけのことはやるといふことに決つたので、その指令を携へて歸る譯だ、自分が新京へ行つたのもこれから天津へ歸るのも謂はゞ第一回の使といふ所で、後から又別の使が往來するかも知れぬ

憲兵第三團の殘留分子活動
高橋武官から抗議す

【北平十八日發國通】撤退を終つたと稱する憲兵第三團並に政治訓練所の活動的分子が尚は北平市内に變名潜在し地下運動を續けたること明かとなり高橋武官は十六日何應欽代理鮑文樾を招致嚴重警告を發したが十八日再び右分子の具體的撤退を實行するに非ざれば我方は實力を發動するも亦已むなしとの斷乎たる決意を通達した、因に殘留分子中には排日滿の元兇とも目すべき第三團特務將校憲兵中佐丁昌も混りをる由である

往來（十八日）

汽車【到着】▲（午後六時半）▲野田清氏（海軍少將海軍省軍事普及部長）▲古川達四郎氏（滿鐵新京鐵道出張所々長）▲村上久米太郎氏（吉林省公署事務官）▲朝鮮忠淸北道滿洲視察團一行同道參與官安鐘哲氏外十一名▲（午後七時十五分）和田允大佐（海城〇〇隊長）

【出發】▲（午後四時五十分）渡邊壽郎氏（三菱ベルリン支店長）歸任▲（午後八時）首藤定氏（五品代行社長）

雜 小田武夫氏（東拓朝鮮支社庶務課長）前大連支店次席より轉任し十八日挨拶に歷訪▲和氣傳氏（本社政經部長）大連醫院で治療中の處十八日退院、當分自宅靜養の筈

內蒙古バルガ大草原に描く(2)
地大を探りて

文……島田一男
寫眞……山口晴康

“蒙古”の呼稱起源
その面積廿三萬方里
二千年前その儘の原始生活

蒙古を總論的に述べるために、先づ地理歷史的に概略を說いて見る—“蒙古”—この呼稱は元來は

種族の名稱

で舊唐書室韋傳には「蒙兀室韋」とあり室建河とその南倶輪泊の間に游牧してゐると書いてある、又新唐書室韋傳には「蒙瓦部」として室建河の南に住むとある、室建河、室建河は共に現在の什爾略河で、倶輪泊とは呼倫湖、即ち達賴諾爾湖のことである、以上の文意は十三世紀の初め、成吉思汗の時代に蒙古民族が什爾略河の上流斡難河によつてゐた事實に符合してゐる、右の外南宋洪皓の松漠紀聞には「盲骨子」或ひは「朦古」、契丹國志には「蒙古」「蒙古里」、遼史には「萌古」、蒙韃備錄には「蒙古斯」大全國史には「蒙骨子」「蒙兀」元朝秘史には「忙豁勒」等もあり以上何れも種族の名稱で、何時の間にか轉じて地方の呼稱となつたものであるが、現在蒙古と呼ばれる地方は

滿洲國領內

蒙古、中華民國領蒙古並びに外蒙ソウエート共和國で、この外ソ聯領內のブリヤート自治共和國、オイラート自治州カルムツク自治州にも蒙古の一部が含まれてゐる、この總面積は約二十三萬方里（日本里）といふ尨大な數字を示してゐる、次に現在の蒙古民族について述べやう、蒙古族は大約二百萬と稱せられてゐるが、その正確な數字は全く知られてゐない、蒙古族を大別すると、西方蒙古族、東方及び固有蒙古族、並に北方蒙古族の三種族になるが、西方蒙古族は阿爾泰山地、青海地方、阿拉善山一帶から中央亞細亞の裏海の北に一部住んでをりエルート、或はカルムツクと呼ばれる種族、自らはエルートと稱してゐる、固有蒙古族は內外蒙古一帶に居住しハルハ族と稱してゐるが、これが所謂蒙古人である、北方蒙古族はバイカル湖の周圍にツングース系種族と共生してをり一般よりは

ブリヤート

族と呼ばれてゐる、以上蒙古の概念を述べたが、大山脈連り、大草原廣がり又胡沙ふきまくる大沙漠橫たはるこの二十三萬方里大天地こそは“東洋史の墳墓”と呼ばれる程で既に幾度となく歷史を生み、歷史を葬つてゐるのみならず、更に新しき“アジアの嵐”がこゝより捲き起らうとしてゐる——、即ち滿洲國建國以來の滿洲國內蒙、中華內蒙、外蒙ソウエート共和國のデリケートな鼎立、わけて滿洲國內蒙と外蒙との國境線問題を中心に兩國の對立である、本年一月八日滿目の曠野雪にうづもれて、針の落ちる音さへも聞える程の靜けさを保つ貝爾湖畔ハルハ・スムに、突然物々しい武裝をした外蒙赤兵の一隊十數名が姿を現した、この地方は興安北警備軍の警戒區域である、外蒙赤兵

出現の警報

に接した警備軍は一月十四日甘珠爾廟附近に出動、越えて廿四日ハルハ廟附近偵察の任にあつた軍事教官本多少佐以下十一名が右赤兵と遭遇し日系軍官瀨尾中尉以下三名が死傷するの椿事を惹起、果然國境問題は世界の注視をひくに至つたのである、記者等が調査の目的地として選んだのがこの問題の國境地方で、たとへば“アジアの嵐”の中心部である、東は大興安嶺にふさがれ、西は外蒙國境となつてゐるこの地方は興安北省鳥爾遜左翼旗同右翼旗と呼ばれ、又新巴爾虎旗とも呼ばれてゐるが、居住民は固有蒙古族に屬するバルガ族が游牧してゐる關係上バルガ地方とも呼ばれてゐる、この地方は版圖上滿洲國に含まれてゐるが、地形上他の蒙地との交通が不便であり、又居住するバルガ族に多分に排他的な性質があるので從來內外兩蒙古の何れとも完全に融合したことなく歷史的には一個の獨立せる蒙地で文化も遲く

二千年前の

生活である、從つて最近までのこの地方は期せずして內外兩蒙古の緩衝地帶となつてゐた、それがハルハ事件以來、滿洲國と外蒙共和國の嚴重なる國境警備が對立して今は全く武裝地帶と變化し、或ものはこの地方を目して“東亞のバルカン”とさへ呼ぶ程である、この重要な地域となつた興安北省バルガ地方新巴爾虎族に、蒙古人の二千年前の原始生活を眺めると同時に緊張した蒙古國境の空氣に接しようとするのが記者の目的であつた。（寫眞は滿洲里附近の國境線）

野田少將來連

海軍省の軍事普及部長野田淸少將は朝鮮、滿洲各地を視察中のところ、十八日午後六時三十分大連驛着列車で來連直に旅順に向つた

【談】約十年振りで視察したが隨分變つてゐる、平壤、新京、哈爾濱、撫順、營口等各地の海軍關係の方面ばかりを視察して來たが、鞍山の昭和製鋼所も視察したが得る所があつた、これから旅順、大連を視察して二十一日の扶桑丸で離滿の豫定だ

越境事件懇談

【東京十八日發國通】ソ聯參事官ライビツト氏は十八日午前十一時半外務省に東郷歐亞局長を訪問、密山附近における越境ソ聯兵射殺事件につき協議を重ね午後一時半辭去した

陸軍異動內定

【東京十八日發國通】陸軍異動は左の如く內定した

東京灣要塞司令官谷中將は第九師團司令部附に、その後任は第四師團司令部附平松少將、若しくは近衞步兵第一旅團長高田友助少將が轉補される筈

宇佐美總局長

【チチハル十八日發國通】宇佐美總局長は十八日午後零時四十分滿洲里より來齊、午後四時列車で北安へ向つた

小觀大觀

北支問題で重大聲明を出す筈であつた英國外相が「未だ眞相が判らぬから發言を避く」と尻込んでゐる▲眞相が判つたならば一言半句の言ひ分もあるまい▲しかし南京政府に哀求されて何とか言はねばならぬ場合は「プラトニツク・プロテスト」を出しさうだとある▲モーラル・サポートとかプラトニツク・プロテストとか英米の對支外交も昔の傍若無人振りの無くなつた點を注目すべし▲其昔、支那人に阿片を押賣りこれを拒止したとて重要港灣を占領したり宣敎師一人の命で領土を割譲した國々があつた▲日本の態度をとやかく言ふのは斯樣な國が自らの心事で勝手な忖度をしてゐるに過ぎない▲支那を分割より防止して來たのは唯一日本の力である▲歐米が金科玉條とする九國條約とやらの精神を最も眞實に發揮してゐるのは日本だ▲何を疑ひ何を恐るゝか▲警察吏員の如く特殊の權力を持つものは其の機能の行使についてあくまで愼重でなければならぬ▲偏見によつて輕率に措置し自己の認識不足を覺らず或は過失を蔽ふが如きことあつては保安の機關忽ち怨府となる虞がある▲滿洲國政府は官吏の名實未だ末梢にまで及ばざる觀あるを遺憾とす。

社説
全支排日解消の機

河北問題に次で察哈爾問題が起つたが、何れも問題そのものは局地的性質を帯びるものである。併しながら單に此問題だけの解決では、日支國交の建て直しには役立たないといふ見地から、日支國交の全面に渉る問題として解決せねばならぬと考へらるゝに至つた。これは固より當然なことで、誰しも始めから左樣に考へることであるが、當初之を露骨に云ひ出す者のなかつたのは、問題を餘り大きくしては却つてよくなからうとの遠慮心があつたからだ。然るに今日では、日本方面にては全面的問題として之れが解決法を講じなくてはならぬと主張する者が出て來た。軍部方面にその主張が多く且つ早かつたが、外務省でもその他でも此主張を唱へられるに至つた。而して之れは必ずしも日本方面ばかりでなく、支那側でも同樣の考へ方に向いて來たことゝ思ふ。恐らく蔣、汪、黄、何の諸氏の如き日本の實情を多く知る政治家は、その對日政策を全面的に改更するにあらざれば、到底日支間の本然的關係を樹立することの困難であり隨つて支那それ自身の建て直しも困難であることを覺つたであらう。

◇

全面的解決とは全支に渉る排日政策、排日教育を絶滅し國民全體の排日感を拂拭せしむべく、支那官憲が努力することである。曩に蔣氏が對日親交の告示を出したが、それを表面だけの事にして、内密には倘排日的政策を續けるといふやうなことでは、到底兩國の國交建て直しの目的は達し得られないことを心密かに覺つたであらう。併しながら、倘惰性があり情實があつて、その確實な實現を示す能はざる間は、日本側としては手を緩めずして押し詰めくして行かねばならぬ。

◇

元來日本の從來の對支外交は支那の實情並びに當局者の窮狀に同情する餘りに、我主張を通すことに遠慮勝ちだつた。その爲めに交渉事件が山積して毫も解決を見なかつた。その中に日本の實情並びに眞意を知らざる人達が、對日輕侮の念を生じ、多數國民に侮日心を吹き込み、その排日感を煽揚した。それが奏効して侮日排日が國民多數に擴充さるゝに及んで、斯る一派が政權を握ることにもなり、國策としての排日が行はれた。

◇

之れに對する我政府も國民も彼國内部の混沌たる情勢を知るが故に、努めて寛容し同情して嚴格な對策を執らず、機を見て是正を圖らんとしたのである。併しながら斯る時代に於て支那側が自覺せずして更に侮日排日を強調するならば、その結果の必ず宜しからざるべきは、吾人の屢々指摘した所であつた。然るに張學良之れを覺らずして滿洲問題を起し、南京政府之を覺らずして先の北支問題を起した。

◇

此の北支問題發生の時に、南京政府が徹底的に自覺して翻然對日政策を改更すべき筈であつたが、不幸にしてそれを覺らなかつた。その爲めに今回の河北事件が起り、察哈爾事件が起つた。之れによつて見れば、河北事件、察哈爾事件は、その外形に於て地方問題であるも、その眞因は支那全面に吹き込まれた侮日排日感にあるを知る。隨つて之れを日支間の全面的問題と認識し、その眞因たる排日侮日を全支の全方面に渉りて絶滅する事が兩國の國交建て直しのためには是非共必要であることが分る。

◇

日本が從來遠慮勝ちであつたのに、今回の河北問題、察哈爾問題を機として、その問題の單純な解決に止らず、日支關係の全面的改善を企圖せねばならぬと主張するものが出るのも自然の成行きである。思ふに從來の如く、徒らに事件の擴大を恐るゝといふだけでその眞因に觸るゝを避けてゐては、日支關係の建直しは何時出來るか分らない。吾人は我國にても一旦乘り出した以上は、之れを機としてその眞因を衝きて根本的改善に進む可く、支那側にありてもその自覺の下に、根本的に日支兩國關係の改善に鋭意努力せんことを望まざるを得ない。之れ蓋し東洋平和の爲めに、日支兩國民の永久の幸福の爲めに、避くべからざる成行きであらう。

日滿經濟統制委員會 七月中に實現を見ん
來る七月三日樞府本會議可決か

【東京十八日發國通】日滿經濟統制委員會設置に關する協定の御諮詢奏請の件は十八日の閣議において可決、即日樞府に御諮詢奏請の手續きを執つたが樞府の審議は大體二週間を以て終了の見込みであるから七月三日の樞府定例本會議において可決される見込みである依つて廣田外相は右協定案の御下渡しを俟つて直に南大使に訓電を發し張國務總理との間に正式調印を行はしめ、即日委員會を設置する方針であるが日滿經濟ブロックを强化し日滿相互の經濟依存關係を根本的に規定すべき委員會の設定は七月中に實現を見る筈である

外交工作を進めて 國防費減少を圖れ
内審總會で 高橋藏相說く

【東京特電十八日發】高橋藏相は十七日午後の内閣審議會總會で左の如く述べて注目を惹いた
滿洲國の國防費につき滿洲國が擔保附公債を發行して支辨すれば日本の財政難も餘程緩和されるとの意見もあるが、日本軍隊の建て前から見てこの問題は外交工作で解決すべきものと思ふ又現在滿洲國の軍備は對内的と對外的の兩者に分れ、前者は匪賊討伐の進行につれて漸次常態に復するものと思はれるから問題は後者にある、ロシアは滿洲事變以來日本の態度に疑念を抱き國境軍備を充實してゐるが、我が外交工作によりその無意味なることを感知すれば漸次軍隊を國境から引揚げるであらう、日ソ間に直ちに不侵略條約を締結することは困難かも知れぬが現在の國際情勢がこのまゝ持續すれば國防費も嵩む一方で、財政的見地から不都合を來すから追々と外交工作を進めて緩和することに努めたいと思ふ
兎も角高橋藏相が外交第一主義を強調してゐるのは、國防費に對する牽制とも見られ、内閣審議會の動向を示唆するものとして注目に値する

特別委員會は 週末迄に開會
内審への政府諮問第一號審議
九月中には完了か

【東京十八日發國通】内閣審議會では十七日の第二回總會にて政府諮問第一號に關し審議の範圍並に方法については特別委員會を設置して調査せしめ之を第三回總會に附議して愈々重要國策審議の本舞臺に入ることゝなつたが特別委員會は遲くも今週末には開會原案を可及的速かに調整を了し來週中頃開會の第三回總會に間に合はす意向であるが先づ恒久的財政々策につき審議する事となるべく地方財政調整農村更生の問題が第一に取上げられる事とならう
かくて審議會は地方財政問題に對する資料を整備し調査局では内務、農林兩省と聯絡をとりつゝ對策樹立の諸工作に全力を傾注、九月中には總會を開會して問題の具體化を圖り明年度豫算編成に間に合ふやう答申をなす事とならう

審議方法協議
廿一日頃委員會

【東京十八日發國通】十七日の第二回内閣審議會總會で會長一任となつた諮問第一號の審議方法等を協議すべき特別委員會の委員の顔觸れは左の如く正式決定、特別委員會は二十一日頃開いて財政經濟國策の審議順序範圍等につき協議することとなつた
馬場鍈一、安達謙藏、水野錬太郎、秋田清、川崎卓一

林陸相の報告
來廿七、八日頃

【東京十八日發國通】林陸相は十八日閣議開會に先だち岡田首相と會見、滿鮮視察の經過については目下材料整理中であるから近く拜謁を仰ぎ上奏した上閣議にも報告したいと述べたが、陸相が上奏する時期は多分二十五、六日頃となる模樣で政府は二十七、八日頃第三回内閣審議會總會を開き陸相の說明を聽取する豫定である

日蘇國交調整
諸懸案の實質的解決が先決
外務當局の根本方針

【東京十八日發國通】十七日第二回内閣審議會席上において各委員並びに關係閣僚間に國防と財政の調整が審議され、對ソ不可侵條約問題にも觸れたが、右に關する外務當局の見解は去る六十七議會における廣田外相の外交演說の如く左の如きものと解されてゐる
一、日ソ不可侵條約締結に關するソ聯側の提案に對しては帝國政府は昭和七年末時期尙早としてこれを拒絶し
一、名目上の不可侵條約締結に先だち、先づ日ソ兩國間紛爭の原因となるべき各種の懸案を友好的精神より解決すべく
一、侵略の原因を解消せしめたる後においては第二段工作として侵略の手段を撤廢するなら、ポーツマス條約の精神を信用して滿ソ國境無防備の實現を期待しソ聯極東兵力の一定地域後退を實現せしめる
一、かくて兩國間一切の懸案と侵略の手段を芟除することにより實質上の不可侵條約は實現するのである、かくせば所謂不可侵條約の締結の意味も生ずる
即ち滿ソ外交方針の根幹は先づ懸案の解決をまつて漸進的に進めるべきものであつて、この意味よりして目下交渉中の漁業條約改訂交渉、石油交渉およびその他具體的實質的問題の解決こそ日ソ間の國交を調整し、これが素地を作るものであるとしてゐる

松平、武者小路 兩大使賜暇歸朝
七月四日倫敦を出發

【東京十八日發國通】松平駐英大使は過般歐洲各地を巡歷しパリにて全歐洲大使會議に出席したが賜暇歸朝の武者小路駐獨大使と同道七月四日ロンドン發歸朝に決定した、兩大使はカナダ經由横濱に入港の靖國丸で歸朝、直に廣田外相に情勢並に軍縮に對する七ケ國の態度を報告の上軍縮對策、外交方針を重要協議する事となつた、なほ兩大使は三週間の豫定で滿洲國、支那を視察の上十月か十一月歸任の豫定である

謝大使の特任式
けふ宮内府にて擧行

【新京電話】滿洲國政府では駐日大使館設置に伴ふ日本國駐在外交官官制改正に關する件並に駐日大使館初代大使任命の件を既報の如く十八日參議府の諮詢を經て十九日公布するが初代大使として赴日する參議府參議謝介石氏の特任式は十九日午前十時半宮内府において擧行されることゝなつた、右に伴ふ決定人事は左の如くであるが川崎宣化司長の後任は當分神吉政務司長の兼務となる豫定

參議府參議　謝介石
特任駐劄日本國特命全權大使

外交部宣化司長　川崎寅雄
轉任駐劄日本國大使館參事官
敍簡任二等

任外交部理事官　原武
外交部理事官　田中正一
轉任駐劄日本國大使館一等秘書官
外交部理事官　葉堯公
轉任駐劄日本國大使館一等秘書官
任外交部理事官　際彫
外交部編譯官　兪曉嵐
轉任駐劄日本國大使館三等秘書官

なほ謝大使一行は二十四日午前十時あじあにて離京大連に一泊の後二十五日熱河丸にて赴任の筈

滿鐵株主會代表 意見書提出
昨日正副總裁と會見

【東京特電十八日發】滿鐵株主會の監事並に評議員梅田氏等五氏は十八日午後一時半理宍社宅に林、八田正副總裁を訪問株主會の要望意見書を手交し、これが實行方を要望した、右に對し林總裁は重大問題であるから充分協議研究した上お答へすべく株主會の意のあるところは充分諒承した旨述べたが、右諸氏は更に
「問」滿鐵改組の聲が再び起つてゐるやうだが、その眞僞如何
「答」公式の交渉を受けたる事實なし
「問」林陸相は議會において配當を制限するものにあらずと言明してゐるにも拘らず、滿鐵當局は今期の如き利益を得たる際何故增配せぬか增配しても不當とは思へぬ
「答」今後は株主會の意見を尊重し、充分考慮する
等質問應答あり、最後に株主の最も危惧してゐる今後の

資金繰に つき

滿鐵は過去、現在において、また將來も莫大な資金を必要とすることは明かである、然るに滿鐵か今後調達し得る金額は三億餘圓(社債發行二億餘圓、拂込未徵收額一億餘圓)であるか十年度に約二億圓を、十一年度に約一億五千萬圓を要するとせば資金吸收の將來性は頗る悲觀的となる、この際增資を斷行するか或は勅令により社債發行限度の擴張を行ふか
と質したるに對し、滿鐵當局は此の點に關しては當局としても研究し、今後株主の期待に背かざるやう善處と考慮する旨答へ、四時半會見を終つた

意見書骨子

株主會の意見書の骨子は左の如くである
一、株主中より氏名の評議員若しくは顧問を銓衡し右評議員若しくは顧問によりて形成する機關を通して民間株主の會社經營に對する希望を聽取する措置を講ずること
一、定款によれば監事は株主總會にて選擧すと雖かに規定してゐるも、從來監事は會社理事者の指名するところにして株主はこれに贊成表決するに過ぎず、若しくは顧問會は日銀の參與會にも類する諸問機關の如きものとして、會社が經營上民間株主の意嚮を參酌し、その希望を尊重する必要を認めた場合、隨時これを招集するものと御承知ありたし
一、滿鐵に對する民間投資額は拂込二億九千二百萬圓、社債引受五億二千七百萬圓、計[illegible]を超え、これを政府出資に比ぶれば倍額を凌ぐ、然るに理事の任命をはじめ業務萬般悉く政府の意思によりて決定し、民間株主の意思は顧みられず、また民間株主の利益を確保すべき何等の方途も講ぜられぬ如きは、滿鐵の低落社債募集が往々圓滑を缺くのみならず、常に會社に關する種々の流說を生み、株主に不安の念を起さしむるに至るも、[illegible]これ皆株主並に投資者に對し滿鐵自體が門戸を閉鎖し、會社の實情を民間に明瞭ならしめ[illegible]代錯誤の方針に基くもので[illegible]來會社發展に必要なる巨資[illegible]何にして調達し得べきや、[illegible]は深憂に堪へぬところであ[illegible]

滿鐵監事會

【東京特電十八日發】滿鐵監事會は十八日正午より理宍社宅で開催されたが、滿鐵側より林、八田正副總裁、監事側原、小倉、大橋三氏出席、先づ總會附議事項の說明、決算の諒解を求めたが、監事側より滿鐵が北支情勢の變化と共に[illegible]らるゝこととなきや、滿鐵今後の資金計畫の内容如何と相當突込んだ質問あり、午後三時散會

憲法調査委員 長岡廳長を任命

【新京電話】憲法制度調査委員に關する任免は左の如く十九日を見ることゝなつた
憲法制度調査委員　國務院總務廳長　長岡[illegible]
憲法制度調査委員を免ず　遠藤　阪谷
憲法制度調査委員に補す　[illegible]
なは長岡隆一郎氏の特任式は[illegible]日午前十時半より擧行する[illegible]

新帝展總會

【東京十八日發國通】新帝展總會[illegible]採めに採め拔いた新帝展總會[illegible]七日遂に終つたがその結果第一部は參與十名、指定十名、第二部、第三部は參與[illegible]名、第二部、第三部は[illegible]指定十八名、第四部は參與[illegible]指定十名
その他無鑑査級の人選を決[illegible]部(洋畫)の人選は來年に[illegible]ことゝなつた、展覽會開催[illegible]番早々の總會において決め[illegible]になつたが、大凡二百頃の[illegible]である

日本評論社が 名著の短期特賣
あすから各書店で

昭和六年六月本社後援の下に全滿名著特價賣出しを敢行して大成功を收めた日本評論社は今回更に創業二十周年記念事業として、二十日より第二回短期特賣を開始することゝなつた
特賣は書籍商組合規約による特殊物を除き美濃部、末弘、立、穗積その他の諸博士が執筆する「現代法學全集」(全巻揃特價四十圓)河田、高田、小泉、神戶、土方の諸博士が執筆する「現代經濟學全集」を始め、政治學、財政學、農學、自然科學文藝、思想、哲學の全分野に亘る權威者が二割乃至五割引で全滿各書店に陳列される
殊に讀書子の目を惹くものは讀本シリーズと辭典類である
讀本シリーズは上杉の憲法、穗積の民法、太田の經濟、永井の社會、尾崎の政治、小川の航空平田の陸軍、海軍、土田の思想山崎の貨幣、松井の警察、渡邊の金銀、土方の國民經濟の十三冊を提供してゐるが、辭典では金融大辭典(全三巻特價二十二圓)と農業大辭典(全二巻特價二十八圓)が光つてゐる

實滿戰觀戰記　平田次郎
壯烈な打擊戰
正攻法を用ひた兩軍

▼…この一戰とばかりに兩軍全く死力をつくした十八日の試合は戰評するの餘裕を與へざる程、激しいものであつた、試合開始のサイレンと同時に壯烈な打擊戰が行はれ、而も孰れも當りの强きもので、この調子でゆけば一點や二點のリードでは互に不安のもので、從つて兩軍とも機會ある每に得點の第一工作として正攻法を用ひて先づ走者を進める事に努力してをつたことは實滿戰であればこそと選手の心中に深き同情を寄せざるを得なかつた。
▼…滿俱の得點の半分は高橋の快打により堂々生還せしめ、敗因の半分は小池の屢々好守して味方を救ひしにも拘らず不運の過失が沓を見舞つたことは氣の毒に堪へざる處であつた。
併し三壘、遊擊方面が絕えず强襲される事を今一步進めて考へるならば、投球の威力が敵の打擊を壓伏するに足らざる事の一部を示すもので、これは今日の兩軍の等しく見受けられた現象で、野手のみ責める事は當を得ない
この最大の理由は前日述べた通り兩軍とも各々敵に對する投手力を充分發揮し得る打力を養ひ得た事である、十九日の試合は地力の强い方があらゆる防禦陣を突破して勝つだらう
▼…滿俱は、この日、五十嵐を充分休養せしめて、思ひ切つて最後の一戰に飛躍せしめ得るに反して、實業は三度、岩瀨老將を陣頭に進めて背水の陣を布くより他にないだらう、これは滿俱の乘ずべき點であり、實業の利用すべき點となるのではなからうか、事實むづかしいところだ
滿俱は豫想通り阿部をベンチにおかずして、彼の强力な打力を利用すると、同時に五十嵐を休養せしめるため、參戰したが、この日の彼の打力は高橋に次ぐ强力のものであつた、決勝戰には水谷に代つて外野に出場することが豫想される
▼…十九日の試合は、試合の原則たる、一點勝つ事を目標にして進めねばなるまい、最終戰だ、兵種の全部を完全に、しかも有効に活躍し盡す事を忘れてはなるまい
十八日の試合に於て井上が三回に於て松木の内野安打に依り一壘、二壘より内田に續いて生還せし機敏のプレーと、二回阿部が、水谷の二盜を救けるために左ボックスに立つてその目的を達せしめたプレーは見事なものであつた
第五回本田打者の時、柴原の右安打を松尾一壘への返球惡き爲直ちに稻田と交代を命じた岩瀨の心中と、松尾の氣持を察し一掬の涙なくして見られぬ場面であつた
▼…實業は遂に肉薄した、遂に制覇を實現するや、滿俱は最後の切札ではこの好調を持して、實業を一蹴するか、たゞ如何に試合が亂れ狂ふとも、深山の湖水の如く沈着に策を練り、動ぜざる作戰部を持つたティームこそ惠まれた結果を得るであらう、最後の一戰だ、雄々しく戰へ、兩軍選手よ

八相
音樂堂を要望
五十行以內　書歡

◇…皇軍慰問のため來滿した松坂屋ブラスバンドの演奏が、過日電氣遊園にて催された、上天氣と言へない寒い位の日であつたが、聽衆の老若男女は實に二千人を突破してゐたと思ふ
◇…電氣遊園の音樂堂は昔の事で今はもう音樂堂ではない、さて民衆は何を欲してゐるか、內地主要都市にはいくつもの音樂的團體がある、東京など四、五以上の學校、それに大學の音樂部など近時目醒しいものがある、大連では大正五年ヤマトホテルにオーケストラが設けられ、其の後滿鐵音樂會と合流し、春秋二回の音樂會は年中行事の一つとして行はれてゐた、然るに二三年前ホテルの音樂部は廢止され、それに次いで西廣場幼稚園前の滿鐵音樂會練習所の看板もいつかその姿を消した、滿蒙の大玄關國際都市大連には、オーケストラ團一つないのはどうしたことか
◇…近來沙河口工場バンド及び國際バンドそれに最近埠頭にも出來たとか、大滿鐵と電々會社及び市が協力されて中央公園あたりに日比谷音樂堂位のものが欲しい、事變後人々は滿蒙へ驀進する、非常時だ、この時野外における民衆思想善導機關として音樂堂を、而して精神作興に關與する又はその他の講演會、映畫會、勿論音樂會等催さるべきである、現今繁雜なる世相に斯る機關の設置こそ切に吾人の要望して止まないところと思ふ
(民衆生)

THE MANCHURIA DAILY NEWS NO. 7000
記念事業
滿洲國を全世界へ
滿洲國の新認識に
第七千號發行
一、七欄制の實施
現行六欄を七欄制に改め記事四十パーセント增載
二、特輯號の發行
八月一日、「滿洲の工業」と人文」號發行、月刊又は日刊讀者に無料配布
マンチュリヤ デーリー・ニュース
大連市監部通七 電話23-1716

大奉天の眞ン中に〝埋藏〟された財寶

大會戰の當時露軍が隱匿　大金庫發掘を出願

露軍參謀の記錄にも載る

【奉天】埋藏金の傳說をたどつて黃金の夢を追ふ人々は古今東西に亘つて幾多の悲喜劇を殘してゐるが大奉天の眞ン中から金銀財寶在中の金庫を掘り出さうと大連に居住する西浦某氏の代理人として有川辯護士から領事館を通じて發掘願が滿洲國監督當局に提出され、〝金銀狂〟時代の渦中にセンセイショナルなトピックを提供してゐる（別圖は問題の埋藏箇所と傳へられるもの）

話は三十年前の奉天大會戰當時に遡る――脆くも一敗地にまみれたロシア軍が保管してゐた 軍資金在中 の金庫を數個、現在の小西邊門外から西塔に至る間に隱匿して退却した、戰後ロシア人も數名來奉して、その所在を搜索したことがありその後滿洲事變の際大遼河のあたりで匪彈のため斃れた安達大人も西塔一帶の土地を發掘したが遂に發見されず、以來單なる傳說に過ぎぬものとして世人の記憶から抹消されてしまつたが、西塔に永らく居住してゐた西浦某氏が小西邊門外聖國管理局附近に件の金庫が三個、埋藏されてゐることを嗅ぎつきとめ今回の 發掘願提出 となつたものである、右につき奉天琴平町に代理出願人有川辯護士を訪ねると朗かに語る

出願したことは事實です、自分は知らぬが西浦氏は所在を確信してゐるやうです、金庫の大きさは縱四尺、横五尺位のものが一個で他は小さいものださうです、從來發掘を試みた人も澤山あつたやうでしたが正式に發掘願を出した西浦氏が最初の發見者となるでせう

願書は最初 市政公署に一方直接監督官廳たる省公署實業廳に升巴總務科長を訪へば語る

提出されたのですが市政公署では採決がつかず當方に回附されたものです、併し鑛脈等に關するものなら本廳で取扱つてもよいが、物が物なので民政廳で取扱ふことになつてゐますが同廳でも採決に苦しみ目下中央部に申請中のやうに聞いてゐます、事實そんなものが埋つてゐるかどうか、併し實際に見たやうなことを言つてゐるものですから……

何埋藏を傳へられてゐる小西邊門外から西塔に至る 地域の昔を 知つてゐる奉天居留民會の吹野氏は語る

それは何かロシアの參謀の記錄にも載つてゐるとかで屢々發掘を試みる人があつたやうですが皆失敗のやうでした、昔あの邊一帶は今の北市場にある皇寺の米國境內になつてをり二緯路の米國總領事館の近くに當時のロシア領事館があつて地理的にはさうしたこともあり得る恰好の地であつたと言へるでせう

吉林大平原に〝樂土の捨石〟として開拓の第一鍬

家族を殺害、放火され雄圖挫折　模範農村出現せん

【吉林】事變以來、我對滿移民事業の興隆と共に吉林省は滿洲の農業地帶として重要視され、特に京圖線は全滿唯一の水田地帶として、あらゆる好條件を具備して居るので邦農移民にも最適地だといふので注目されてゐるが、其の農業移民としてのトップを切つたのは石川縣出身の一青年道下才一君であつた――

昭和七年初春、年齡僅かに廿二歳の身を以て滿蒙開拓の意氣に燃えて敦化に程近い黃泥河に二十八町歩の土地を租し、輝かしき開拓の第一鍬を下したのだつた、見はるかす曠原に訪れるものは匪賊の群と物凄い銃聲、訴へるやうな猛犬の吠える響きのみ、而も明日への希望に生きる道下君の意思は強かつた、あしたに曉雲を眺め夕に星を頂くまで開墾に努め幾度かの匪襲にも撓まず農耕にいそしみつゝあつた、大同元年十月、東部滿洲には早くも降雪しきりに酷寒骨を刺す嚴冬が訪れたころ二十餘名の匪賊團に襲はれ、よき伴侶であつた 妻女を 初め一家四人を慘殺され 家財を 强奪された上に放火され遂に雄圖は挫折するの他なかつた、世人は武裝なき個人が匪賊地帶に居住して農耕するの無謀さを嘲笑した、だが道下君の努力は豐倉地帶の開拓に尊い捨石となつたものである、同年十一月、拓務省は此の沿線に大量移民を計畫し一ヶ月間に亘つて移民適地の調査を行ひ更に大同二年九月中旬には農耕適地の再調査を行ひ新站地區を始め雅河地區、黃泥河子地區等を候補地と決定した、併し山岳重疊、千古斧鉞の入らざる密林鬱蒼として匪賊の出沒間斷なき有樣なので容易に移民を入植し得ず治安確保を待つことゝなり 今日に 及んだ、この間鮮農は早くも間島方面から或は南滿方面から續々居住し建國三年の今日、既にその大半を耕作してゐる狀態で同沿線は殆ど自由移民に占められ邦人の若干は最も有望なる地部の買收しつゝあり茲數年內には滿洲唯一の模範農村として偉大な發展を遂げるものと期待されるに至つた

隨一の移民地帶　洋々たる京圖沿線

而して今後の移民は如何なる方面に進出すべきか――廣汎に亘る東部吉林の大平原は 開拓の 餘地なほ多數にある、參考までに京圖沿線における各縣の作付並びに既耕面積を示せば左の如し

▲永吉縣總面積二、九二九、六五二、晌熟地四二九、一二六、荒地七五、二二二、其の他二、四二三、三〇四、昭和九年度作付地及び廢耕地、作付地四二七、一七六、回復地一五〇、新墾地三〇〇、廢耕地一五〇〇

▼額穆縣總面積八五五、〇〇〇、熟地七一、〇〇〇、荒地七八四〇〇〇、その他七〇五、六〇〇

〇、九年度作付地四二、五七〇、回復地一、〇四四、廢耕地二七、三八六

▼敦化縣總面積一、一五一、二八〇熟地七四、六〇〇、荒地五八七四二〇、その他四八九、二五〇　九年度作付四二、五二三、廢耕地三三、〇七八

右の數字上から見ると沿線各縣共 莫大な 未墾地を有し開拓を待つてゐるわけで右の內特に移民の最適地は先づ敦化新站蛟河一帶であらう、中にも蛟河附近は最も水田農業移住地として河川が縱橫に流れ其れが比較的急なる勾配をなして居るから水田に引水が容易である、四週は崗と山がある所謂蛟河平野をなして東西南北に足を延ばした樣な水流と水田耕作地が廣く尙地味肥沃である、土地は旱害が少く水害がない、地價が比較的安價で現に水田にて小作料三割內外の利廻りを有し交通便利である、農產、鑛產、林產が豐富である、水田耕作に巧な鮮人自由移民が多い

附近農林產生產豫想粉五萬石、大豆二萬五千石、木材五萬噸、石炭十五萬噸、葉煙草十萬斤、將來の豫想粉二十萬石、大豆五萬石、木材五萬噸、石炭五十萬噸、葉煙草二十萬斤

其の他 藥材、畜產等豐富と言ふ實に好條件に惠まれてゐるから第一の移住農民は先づこの地に鍬を下すべきであらう、これで進出方向は略々明記したが次に如何なる方針を採るべきかに就いて經驗者の談に依ると邦人移民は最低二十町歩の水田地主たることである、右の二十町歩を全部小作となし一町歩より小作料粉六石を得、一石十圓として一年に一千二百圓の收入が有る、これを若し自ら指導の意味で三町歩を自作すると粉六十石を得純益四百圓を收得することが出來る（以上は自由移民）併し團體移民の場合は多少これと相違することは言ふ迄もない何れにせよ京圖沿線は地味豐饒河川の 清流に 富み山水の絕景なると共に全滿唯一の移民地帶として既に近くは某機關において極秘裡に此の地を補助移民の候補地に決定し、目下着々準備中の模樣で京圖沿線の前途は洋々たるものである

洗濯を樂しむ　【安東】十五、六兩日の雨も霽れ水量增した鴨綠江岸には夏陽の直射が桃色のパラソルにさんざめきてさまよふ、パラソル翳して滿洲女は江岸で半日を働きつ遊びつ斯うして過ごす（寫眞は夏陽をさへぎるパラソルの陰でせんたくする江岸の滿洲女）

日滿經濟關係者情報交換に會合

【チチハル】在齊日滿經濟關係諸機關では緊密なる聯絡を執つて情報蒐集にあたり、經濟界の向上發展に資すべく、チチハル經濟界は毎週水曜日に龍江省實業廳に會合することゝなつたが、參加機關は實業廳、市政局、總商會、鐵路局、中央銀行等である

國都市政整備に臨時豫算復活を要求

せめて半分の百萬圓でもと　國庫補助殆ど全滅

【新京十八日發國通】新京特別市康德二年度（六ヶ月分）豫算は經常部は昨年の赤字編成を改めて歲出入のバランスをとつた健全編成を目標にし臨時部事業費も一地方都市から首都に早變りした爲に起つた所謂帝都の體容整備に主點を要するもの〻みに止めたが、併し財政難の折柄主計處では臨時部豫算に大削減を加へた、即ち一般會計においては經常歲出入共市提出の四十七萬七千四百餘圓が承認されたが臨時部における市提出の三百四十五萬五千六百餘圓中國庫補助要求の記念公會堂、市立病院、小學校、土木建設費が大削除を蒙り市政豫算に大異常を來したが帝都市政を一日も速かに整備する上に最も緊急を要し且最も取殘されてゐる社會公共施設殊に小學校建設病院建設土木建設公會堂建設等必要に迫られた各事業に對する國庫補助の削減丈けに市當局では之が復活を切に希望し民政部並に主計處當局に夫々猛烈に復活要求を開始したが事業豫算として主なるものは

一、土木費八十三萬圓（國庫補助要求四十七萬圓削減）

一、市立病院建設費七十六萬圓（國庫補助費要求四萬圓削減）

一、小學校建設費三十萬圓（國庫補助費要求三十萬圓削減）

一、記念公會堂建設費二十五萬圓（國庫補助費要求二十五萬圓削減）

で國庫補助金要求は全滅の形で市政上大支障を來す爲め少くとも右の半額百萬圓の復活實現を期してゐる、尙この他事業費の主なるものは市營バスの分離新會社創建費十二萬圓、興運路大經路街路照明費二萬二千圓、基本財產造成費二萬七千圓、門牌設置、人口調査、撒水車增設費一萬圓等がある

吉林名物〝缸窰の壺〟

復興を省當局で研究

【吉林】過去三百年來の歷史を有して吉林省唯一の名物たる吉林省舒蘭縣缸窰の壺は事變以來匪賊の妨害に依り漸次業績不振に陷り遂に昨年頃全く沈衰狀態に陷つたので省當局では何等かの工夫を凝らして之を復興せしむべく過般來實地調査の上諸種の具體案を研究中であつたが其の後研究の結果として左の二點が今後の復興上に重大なる研究事項たる事を發見された其の一は燃料である、過去燃料は柴を使用して居たが此の柴は永續性のものではないので之を石炭に轉向すべく過般同地附近の滿鐵所有の炭礦を研究の結果火力がない上に壺製造上に餘り適しない事が發見され又其の二として土質が果して適するか否か問題となり、目下當局では之が二點の研究を急いで居る

田植も朗らか　惠雨來る！

見渡す限り青々と繁つた水田も、つい一ヶ月前までは旱魃續きに水爭ひから雨乞ひとまで大騷ぎを演じたが、梅雨季を前に珍しい昨今の降雨續きと豐富になつた渾河の水流に鮮農もホツと一息、田植ゑも朗かにモダン鮮農は巻煙草で一寸一ぷくの態（撫順）

生水飲む可らず

談天奼信心

滿鐵安東保健所主任技師　小池謙三氏

◆…傳染病の期節に入るが其の豫防には生水を飲まないといふ事が第一である私の所では病氣に罹らない樣にいろ〳〵注意するので罹つたのを癒やすのは病院の方の仕事だからやり方も少し違つて來るかも知れないが人の健康である事は病氣に罹る前の注意が一番大切だ

◆…其處で日本人特に內地で生れた人は生水を飲む習慣がついて居り從來むしろそれが奬勵されさへして來た、滿洲は事情が違ふといふ事を皆さんにハツキリ知つて頂きたいのだ、滿洲の水は「まだ惡い！」と云はねばならないので絕對に生では飮まぬといふ事にしてほしい

◆…生で飮んでいゝ樣になれば私達の方から飮んでよろしいと申上るからどんなに注意しても傳染病が傳播し易い樣になつて居るのだから、それから野菜果物類も消毒する事を原則としてもらひたい見た處きれいでも汚い水で洗つたりしてある場合が多いのだから安東の人々は最近餘程注意される樣になつて傳染病患者が尠くなつた樣だがまだ〳〵安全とは云へないのだから注意されねばならない

◆…せねばならぬ事は幾らでもあるのだが「衞生」といふ事になるとどうも日常の事であり乍ら注意を怠り勝であるから氣の付いた小さいことを實行する樣主婦の方に御願ひしたいのだ、早い話がゴミ箱の蓋は「あけたらしめよ」といふ蠅の防止のために實行してもらつて居る、これさへ却々實行されないのだから公衆衞生といふ事にみんなが協力するといふ點ではまだ〳〵低い水準にあると云はねばならない

◆…折角產んだ子供をドシ〳〵殺す樣な云はば不注意な親達を見受けるが大抵之等は衞生的に不注意だからと思ふ、傳染病から人類を守るといふ意味からうんとみんな注意して頂きたいと思つて居る

團體往來（十七日）

▲東京都染支店招待團二九名　一四列車にて新京より來奉、八列車にて平壤へ

▲大阪旅好會鮮滿視察團二二名　三三列車にて大連より來奉

▲福井市鮮滿實業視察團三九名　奉撫往復四列車にて平壤へ

▲奉天中學生二七〇名　二〇列車にて金州へ

▲忠滿南道警察官視察團一四名　同上大連へ

▲衆議院滿洲國派遣議員團一行一五名　新京より一列車で哈爾濱へ

▲哈爾濱特別區立第一女子中學校一行二〇名　新京より三列車で哈爾濱へ

▲奉天縣立女子師範學校生徒一行二二名　新京より二〇一列車で吉林へ

小說　儒林外史（[illegible]）

原作　吳敬梓
編譯　瀨沼三郎
挿畫　河野久

瀟少年は魯家の女婿に迎へられてから、妻の美貌にすつかり心醉してゐたが、彼女が才女であることには少しも氣付かなかつた。

彼女は尋常の才女ではなかつた。魯編修公には息子がなかつたので公は彼女に男の子同樣の敎育を授けたからであつた。彼女は五六歲の頃から、家庭敎師について四書五經の手ほどきをうけた。十一二歲の頃には書を講じ、文章に專心した。公は彼女に先づ王守溪の文章を熟讀暗記させたばかりか、王守溪に諳うて「破題、破承、起講、題比、中比」等八股文體の各篇を作らせた。

家庭敎師の敎育の仕方もまた極めて嚴格で、男の學童に臨むと同樣であつたが、彼女は資性優れ、記憶力もよく、王唐瞿薛始め諸大家の文や、歷次の進士の文章並に各省における擧人秀才の優秀なる答案など、三千餘篇を記憶してゐた。また彼女自身の文章も理論整然として、手に入つたもので、美麗な辭句に富んでゐた。

編修公は時折り獨り言のやうに「若し男子であつたなら幾十個の進士狀元（進士の最優秀者）の榮冠を獲得したであらう」と歎稱した。また閑暇のときなど彼女を捉へて

「八股體の文章を能くしたならば、お前の意の如くにどんなものでも作ることが出來る。詩を求むれば詩を、賦を求むれば賦を、すべてが打てば響くそれのやうに容易に作り得る。若し八股文章の講究を缺いてゐたなら、お前が何を作らうとも、それは却て野狐禪邪道の文章に外ならない」

と語り聽かせた。

彼女は父のこの敎訓を聽いてからは、鏡臺の上にも、刺繡臺の傍らにも、文章に關する書籍が堆く積み重ねられ、その一卷一卷に朱筆を採つて圈點を打ち、註を書き添へ、それに沒頭してゐるといふ調子であつた。それで、人々から送つて來た詩詞歌賦などには全く目をくれなかつた。家にも千家詩とか解學士詩とか東坡小妹詩話などの詩集もあつたが、自分は手にもとらず、侍女の采蘋、雙紅などにそれを讀ませて、閑暇の折りに侍女達に詩を戲作させて打ち興じた。

彼女が今度迎へた夫は門閥の出であり、才貌もよく、眞に「才子佳人の好一對」であつた。

彼女は「夫は學業も十二分に治め擧げてゐるのであるから、近く年少進士の榮冠を擔ふであらう」と、さうした期待に若い胸を躍らせてゐた。

結婚の當夜から十幾日も過ぎたのに、夫は彼女の部屋に積まれてゐる書籍に目をくれやうともしなかつた。

「きつと、自分の夫はこれらの書物を全部熟讀し盡し、その胸中に藏められてゐるのだらう」と彼女は心に思つたが、また「事によると、夫は新婚の暖かい夢から覺めずに歡笑を貪つてゐるので、書物を手に取らうとされぬのではあるまいか」と疑はずにはゐられなかつた。

それから又幾日か過ぎた或る夜夫は宴會から歸宅すると袖口から一冊の詩集を取出し燈下に朗吟しつゝ彼女を呼び寄せ肩を並べてそれに讀み耽つた。彼女はその時も羞かしさを感じ、問ふのも好くないと思ひ小一時間も一緒に辛抱してそれを見てゐた。それから寢に就いた。

翌日彼女は耐へきれなくなつて一枚の紅紙を取出し「身を修めて而して後家を齊ふ」との題目を書き、侍女の采蘋を呼び

「お前これを日那樣の處へ持つて行き、一篇の文章をお作り下さるやうにとお賴みして來ておくれ」

と、書齋にゐる夫のところへ持たしてやつた。彼はそれを受取ると、

「私は斯樣な事は心得てゐない。それに此處に來てからまだひと月にも滿たず、二つの風雅のことをせねばならず、この樣な俗事は煩に堪へない」

と一笑に附して侍女を追ひ返した。そして彼は心の裡で自分の今言ふたことを極めて雅趣あるものと思つたが、それが彼女の機嫌を損ねることには氣付かなかつた。

滿洲日報　關東州版

映畫と同樣に徹底的に取締る
關東局令を設けて
レコード

【新京電話】從來滿洲國內で販賣頒布されてゐる蓄音器レコードに關しては僅かに內地當局者との連絡によつて取締り、特定の取締規則はなかつたので最近に至り滿洲國の健全なる發達を阻害するが如きいかゞはしいレコードが充滿し南支方面から支那のレコード、蘇聯方面から蘇聯の思想上どうかと思はれるものが續々と入荷し、既に滿人方面に國策上面白からざる影響を及ぼさんとする傾向にあり特に最近大連署においてレコード檢閱の申込みを斷つた事實もあるので、この際活動フイルム取締規則同樣蓄音器レコード取締規則關東局令を設け、レコードの取締に積極的に手を伸べることゝなり、檢閱制度の確立によつてこの種不良レコードを驅逐することゝなつた、目下研究中であるが立案と共に近く審議會にかけ、公布する模樣である

十六縣を指定 特別保甲制
奉天警務廳準備完了

【奉天】奉天警務廳では比較的管內治安の維持を見てゐる縣に對し特別保甲法の工作を實施することになり豫てより各縣狀況を調査してゐたが今回瀋陽、新民、本溪、遼陽、海城、營口、蓋平、復、鐵嶺、開原、梨樹、昌圖、遼源、淸原、海龍の十六縣を特別工作實施縣に指定し本年度末に一切の實施に關する準備工作を終了し次年度に本格的工作を實施することになつたが各指定十六縣に對しては次の如き指導要項の訓令を發した

1、縣指導監督機關の確立方策
2、一般民衆に對する義務的觀念の普及徹底
3、規約運用の指導監督
4、自衞團の訓練及統制

日本精神聯盟 大連支部結成

天長の佳節をトし旅順において發會式を擧げた日本精神聯盟の大連支部設置については去る十六日滿鐵社員倶樂部において之が支部發會準備相談會を開いたが引續き十七日午後五時からも委員會を開き日本精神聯盟大連支部結成式を來る二十三日午前九時より大連神社にて擧行する事となつた

結成式次第は司會者市會議員恩田明氏開會の辭につぎ國旗掲揚國歌合唱丸山第二中學校長の詔書捧讀、綱領並に信條朗讀を爲し小川市長主唱の帝國萬歲及び聯盟萬歲を三唱して盛大に擧行される

春蠶作柄良好

旅順管內本年の春蠶は掃立以來好天に惠まれ、桑葉生育期溫暖なりしため飼育容易にして蠶兒の發育も順調に進み一般の作柄は前年の春蠶に比し優秀であつた

上簇は去る十一、二日頃で既に大部分を了り、早きは收繭を終了昨年滿洲蠶糸會社に出荷せる數貫（管內王家店會の一部）の內上繭一貫二圓五十錢より二圓九十錢の間において取引されたが掛目は二十七、八掛見當で、（昨年は十三掛）ある、但し一般の桑園は施肥不充分のため葉質良好ならざる結果繭質は餘り優秀でない

天主教機關が土地家屋を賣却
基督教系も倣ふ？

【奉天】天主教、基督教系の各外國系宗教は布教以來五十餘年の歷史を經て滿洲人間に根深く喰ひ込み、また相當多數の土地家屋等不動產を所有し信徒に貸與してゐるが最近天主教機關は瀋陽縣內吳家溝、王家荒、陳家荒等の各部落に所有せる土地並に市內の家屋を賣却する模樣で、基督教系の各機關もこれに倣ふやう傳へられてゐるが、その眞意那邊にあるやは判明しないが時節柄注目されてゐる

職業が職業 健康第一
大連署の接客業者健康診斷

〝お客に接する職業人は先づ何よりも健康が第一です〟と云ふので大連署衞生係では大連飲食店聯合組合の後援を得て十七日より二十四日迄本署講堂にて接客業者健康診斷を行つてゐる、十八、十九兩日は飲食店、カフエー、バー從業員の健康診斷朝より續々と女給さん方がつめ掛け、大連署廊下に時ならぬあでやかな彩りを見せた（寫眞、その情景）

官吏及び鐵路局 消費組合設立確定
吉林商店街に大衝擊

【吉林】兩者の秘策愈々酣となり撤廢か設立か成行注視の裡に日一日と暗雲に閉されて居る官吏消費組合問題は在吉商人の必死的反對猛運動が却て官吏側の熱を煽り愈々消組設立は略確定した模樣で更に之に拍車を加へる鐵路局の消費組合も去る六月五日の最後的協議に依つて設立に決定した模樣で在吉商人の運命は愈々餘す處僅かとなつた百餘軒の同業者は果して如何なる活路を求むるか在吉僅か七千名の市民を相手に營業を續けて居る商店が鐵路局を始め官吏の消費組合が設立さるれば販路を如何なる方面に求むるか言ふ迄もなく共喰ひの外あるまい死活の境に臨んで如何なる態度を採るか今後の成行こそ重大視さるゝ

聯合大賣出し 旅順輸組參加

本月五日奉天にて開催せる全滿參加地代表協議會にて決定した全滿各商店聯合記念大賣出しに關し旅順輸入組合にても協議中の處大連との對抗上參加商店希望者のみを以て本大賣出しに加盟開催する事と決定したが

出し期日は來る二十五日より七月十四日迄二十日間にて永久廉賣を目的とし景品券は番號入五聯式景品券一買上金一圓に對し贈呈するもので當籤發表は七月二十日新京にて行ひ、景品引換期日は八月三十一日各地賣出し商店にて引換を行ふ、本景品の內譯は一等三千圓一本、二等五百圓五本、三等百圓二十本、四等十圓二百本、五等五圓五百本以下六等五十錢にて各地商品券を渡し有効期日は九月十五日迄とある

滿洲の隅々をあるかう會
在阪旅行團體の打合

【大阪特電十七日發】旅順戰跡その他足跡の到る處必ず大理石の六角標識を建てることで有名な探勝旅行クラブを筆頭にあるかう會、わらぢ會、津浦會など在阪旅行團體は大小數百を數へ數萬の會員を擁する發展ぶりであるが、既に日本內地の津々浦々まで歩きつくした猛者連はこれに飽きたらず、兄弟國でありツイお隣の滿洲國を識らなければ――といつた意見が有力に動いてその中、最も有力な三十餘團體の首腦部が集まつて滿洲旅行に關する基礎的打合せを兼ねて懇親會を二十四、五日頃開催することになつた

席上滿鐵大阪出張所の大森案內主任を招いて具體的な詳細意見を聽く筈で既に來年の滿洲博を目標に積立金をしてゐる遠大組もあり、これを機會に有力な旅行團體の新興滿洲國に對する關心が激發されんとしつゝあるのは注目に値する

5―2 滿倶再勝す
奉天の實滿野球第二回戰

【奉天電話】奉天における實滿第二回戰は十七日午後四時三十分より小雨降る國際球場において渡邊（球審）梶原、酒井（壘審）三氏審判の下に行はれた

滿倶先攻先づ第一回に二安打に一點を先取すれば實業も三回水田の二壘打に一點を加へ前半1―1の接戰を續けたが、七回に至り實業投手漸く疲れて滿倶更に一點、八回また一點、九回に二點を得て5―1とリードし實業最後の攻擊も二安打に一點を返したのみで遂に5―2で滿倶再勝し全國都市對抗州外豫選の奉天代表となる、閉戰六時五十分、バッテリー全奉天小島―今市、日滿實業日野―水田

奉天	100	000	112	=5
日滿	001	000	001	=2

なほ州外豫選會は來る三十日より三日間奉天國際球場において全奉天倶樂部以下全撫順、全鞍山、全安東、全四平街、全新京、全哈爾濱の七チーム參加の上行はれることに決定した

全滿鐵都市對抗軟式野球戰

滿鐵運動會軟式野球部では七月二十六日より四日間滿倶球場に於て本社及び同部共同主催になる第二回全滿鐵都市對抗軟式野球大會大連豫選會兼第三回色別對抗軟式野球大會を開催することゝなつた、參加規定左の如し

▽試合開始時間　七月二十六日午後四時入場式、四時半試合開始　二十七日午後四時、二十八日午後一時、午後二時の二試合、二十九日決勝戰、午後四時開始

▽色別　（1）黃組　總務部、計畫部、經理部、經濟調査會、消費組合、社員會　（2）綠組　鐵道部（同部中別記を除く）鐵道建設局　（3）赤組　地方部、商事部　（4）白組　大連鐵道事務所、大連驛、沙河口驛、列車區、機關區、檢車區、大連保線區、保安區　（5）樺組　大連埠頭、甘井子埠頭、吾妻驛、小崗子驛、入船驛、築港區、埠頭保線區　（6）海老茶組　鐵道工場

▽使用球　丸善及ラッキーボール

▽使用規則　昭和十年度軟式野球規則に依る

▽出場者資格　七月十日迄の社報に社員として採用されたる者

▽メンバー提出期日　七月十二日迄

▽申込方法　代表者、監督、主將選手（守備位置記入）氏名勤務個所明記の上滿鐵本社地方部學務課體育係氣付運動會宛提出のこと、提出後は變更を認めず選手は十八名迄とす

▽主將會議　七月十九日午後三時半より社員倶樂部にて

夜間の外出を禁止
演藝場等の無料入場をも嚴禁
在奉國軍の軍紀振肅

【奉天】第一軍管區司令部では從來動もすれば管下の兵士が營外において種々忌はしき不祥事件を惹起し世人の顰蹙を買ひ延いて國軍の名譽を汚すこと多かつたに鑑み屢々在奉部隊長會議を開き之が軍紀振肅方法につき方策研究中であつたがこの程左の如き新方針を決定即日實施することになつた

一、兵士の歸營時間は午後六時迄とし、歸營時間に遲れたるものは嚴罰に處す
二、夜間の外出は禁止す
三、演藝場、映畫館その他入場料を徵收する催し物への無料入場を嚴重禁止す

奉中生着旅
けふから由緣の野外演習

奉天中學校四五年生徒二百七十餘名は配屬將校境砲兵中佐以下二名の將校に引率され十八日午後一時四十五分着列車にて來旅、直に白玉山に參拜の後重砲兵大隊、無線敎習所へ分宿

十九日午前七時より舊市街水師營間にて遭遇戰を行ひ、十一時三十から會見所にて佐伯戰蹟保存會主事からの講話を聽取　午後三時から北堡壘の現地講話等を聽取攻防戰々鬪敎練を行ふ

黃金を積む
近江町に臭い賊

これはまた少々變態臭い泥棒――十七日午前四時頃近江町八二番地滿鐵機關區勤務手島一馬方の表入口が施錠してなかつたのを奇貨として侵入した賊があり、しきりに部屋の中を物色して三圓餘入りの蟇口一個を茶簞笥の抽斗から盜み出したが、主人は居らず妻女と子供のみがすや〳〵と何時までも眠つてゐるので、此奴何と思つたか母子の寢てゐる蒲團の眞ん中にしたゝか黃金を積み重ね、それを足先きにつけ更に妻女の鼻先きにつけ〝起きろ、起きろ〟とその足で搖り起し、臭氣と異樣な男の存在に氣がついた妻女か大聲で救ひを求めたので賊はそのまゝ立ち去つた

旅順防空 飛行演習
二十一日擧行

旅順防空演習の近づくと共に各關係機關が之が諸準備に忙殺されてゐるが、來る二十日午前九時より水交社において防空演習幹部、防護團、國防婦人會、學校職員等の第二回打合せ會を開き、演習當日の中心事項を協議決定する事になつたが

越えて二十一日午前九時には防護團員を昭和園前に集め役員その他分擔任務決定など防護團編成を行つた後、防空作業各般に亘る豫行演習をなし指導教育が行はれる

青島だより

◇宋子文氏避暑　宋子文氏は本月末青島へ避暑に來る事となつたが滯在中は當地の經濟狀況並に一般金融界を視察する

◇國術大會　青島にて華々しく開幕した市政府教育局主催の第三回國術大會は青島スタヂアムにおいて十六日から二日間盛大に擧行されたが、一千餘名の出場者によつて演ぜられる競技、國術に沈青島市長、韓山東省主席、李列鈞中央政府委員長等を筆頭に三萬餘の觀衆は手に汗を握り盛會裡に終了した

◇木炭自動車　ガソリン代がおそろしく高い青島では自動車が一般乘用に向かずとあり、山東の惡質木炭で走らせようと某自動車屋さんは旺んに研究を續けてゐたが此程完成し好成績を收めたので愈々滄口、青島間に關係諸氏を乘せて走る事になつたが木炭ガスに依れば費用も三分の一で濟むと

映畫と演藝
松竹蒲田の佳作『彼と彼女と少年達』
中央映畫館次週上映

男	上原謙
女	桑野通子
甲州屋	突貫小僧
床チビ	爆彈小僧
甲州屋の父	大山健二
同母	青木しのぶ
床チビの父	坂本武
同母	高松榮子

解說―ジョルジュ・メナールの「船で來た女」の飜案淸水宏の「東京の英雄」に次ぐサウンド版で「春儀」を延期してこれにかかつたキヤメラ青木勇とは初コンビ、新人上原謙が桑野通子と主演してゐる。

略筋―甲板で男から煙草の火を貰つた女。男もその港で船を降りた、男は勉強中の學生で甲州屋に宿つたが女は觀音裏の色街の女であつた、[illegible]な港、でも床チビと甲州屋はけんかのために生れて來たやうな子供達であつた、子供達は何時しか男と女に仲良くなつた、大人に倦いてゐた女は男の淡い戀を輕く受流し寧ろ子供の甲州屋を可愛がつてゐた、男は幾度かこの港を出發しやうと決心したが何となく女に心殘りがして出發を見合せた甲州屋は優しい女を獨占したいまでに親くなつた、けれども甲州屋も床チビも親の意見で色街の女と遊ぶことを許されなかつた、何にも分らない子供心にはそれがとても不平であつた、子供まで遠ざけられた女は自分といふものが情なくなつた、なびくやうに見えてなびかぬ女、男は遂に物さびしい別れの盃を女の前に空けて東京へ歸つた、癒されない女のさびしい姿が一人離れて出て行く船の男に高く手を上げてゐた

下加茂記念映畫「かごや判官」
豪華配役決定す

下加茂の十五周年記念お盆映畫「かごや判官」は冬島泰三監督で十五日から撮影開始されたがキヤストは左の如くオール下加茂總動員の豪華陣、カメラは伊藤武夫

大岡越前守（林長二郎）かごや權三（坂東好太郎）同助八（坂東橘之助）同助十（高田浩吉）小間物屋彥兵衞（井上晴夫）伴彥三郎（林敏夫）大家六兵衞（志賀靖郎）米屋一郎兵衞（高松錦之助）黑川勘十郎（澤井三郎）定齋屋（石原須磨夫）願人坊主雲哲（淸水快朗）八卦見良雲堂（石川玲）普化僧（竹內容一）浪人（新妻四郎）岡ッ引（坪井哲）與力（日下部龍馬）同（山路義人）大工（廣田昂）權三女房おかん（飯塚敏子）女中おこん（葵令子）越前守奧方（井上久榮）おはる（花岡菊子）

膠路植林計畫

山東一帶に亘つて荒山、砂地が多く風景健康上並に將來の林業促進から山東省政府と膠濟鐵路が合同で山東一般住民に對し大いに植林を奬勵しつゝあるが愈々本格的に第一期計畫を樹立し膠濟沿線の靑州、三舍人莊間及び章邱から長山に亘る一帶の砂地に大々的植林を實施する事となり目下樹種の選定研究に奔走してゐる

四洮沿線の大豆改良

【四平街】洮南鐵路局は同沿線に亘せる鐵路愛護村における大豆の品種改良並に收穫の增大を圖るべく曩に一般村民に對し大豆の優良種子を配付したが、此の善政に各村農民は歡喜して何れも前記の良種子を播種したので本秋の收穫期には豫想以上の成果を擧ぐるものとして期待されてゐる、從來同沿線の特產物として各方面に輸出さるゝ大豆は豆油原料に消費さる以外には殆ど他に利用の途なくその價値も極めて低廉なる劣等大豆であつたが今秋よりは優良大豆が同沿線一帶より輸出され從つて各農村は非常に殷賑を招來すべしと期待さる

鞍山鋼材工場 工事進捗

【鞍山】亞鉛鑛に次いで昨春當地に創立された鞍山鋼材株式會社に於ては昨秋來鋼軌條年產五萬噸のスケールを有する最新設備の工場を完成すべくかねて昭和製鋼所構內に右工場の建設中であるが、コンクリート基礎工事に次いで今春來建築鐵骨組立を開始してゐた處工事も作業豫想外に進捗して早くも本月末頃は建築工事完成を見ることゝなつたので、同社では七月早々より內部各機械の据付作業に取掛り八月中には全施設を完了試運轉等を行ふ豫定で目下上下大童となつて竣工を急いでゐるが、恐らく九月からは豫定通りに製鋼所の大型軌條と相對して鋼軌條の生產市場搬出を見るであらう

國防婦人會旗調製

旅順國防婦人會支部では團體の表徵たる會旗を持たなかつたが、今般いよ〳〵調製する事に決定、經費は市內朝日町加藤傳吉氏の寄附金に不足額を氏が追加して充當する事になつた

船員海に呑まる

去る十五日午前八時熊岳城沖合において蒔流網の發動機船春德丸の船員慶尙南道統營邑大和町二十一金啓道（二六）は同船より海中に墜落、驚いた乘組員一同は懸命捜査の手を盡したが十七日午前に至るも發見せず、船長中島德次郎氏は水上署に捜査願を屆出た、目下捜索中

交通事故二件

十七日午後四時半頃市內富久町四番地先電車道路上で沙河口方面より自轉車に乘つた大連管內海猫屯會蕉樹房三十五番戶王慶雲（二六）が日吉町停留所で電車をやり過し、電車路を橫斷しようとした時沙河口方面に向つて同停留所を發した滿鐵敷島廣場派出所四號系統電車（運轉手宋海峰（二六））が衝突し自轉車は大破、王は輕傷を負うた▲同日午後三時四十分滿電バス大一二六四運轉手久家信一（三二）が惠比須町停留場附近を進行中、小崗子管內北崗子十七番地荷馬車小第一四五號馭者苗永財（四一）の空荷馬車がその前方を橫斷せんとした際、馭者苗は制馭の自由を失ひバスも制動すると同時に左方に避けたが及ばず、その前輪にかゝり刎ねられ荷馬車は小破したのみで大した被害なく濟んだ

自殺者身許判明

十五日白玉山中腹で厭世自殺を遂げた邦人死體の身許は原籍熊本縣下益城郡米砥用村大字大井早住所不定無職田上章（二四）にて數ヶ月來滿した者、本紙上によつて同鄕の友人大連山城町澤田金藏が死體を引取つた

米內山氏寄附

大連民政署長に轉任した米內山內務部長は近く離旅するので、旅順商工協會へ金百圓、同靑年協會へ五十圓を寄附した

後藤愛助氏

【撫順】後藤組主後藤愛助氏はかねて病氣療養中のところ十六日遂に死去した、葬儀は十八日午後四時より福昌寺において執行された、同氏は撫順產馬組合長その他幾多の公職にあつて實業方面に重きをなしてゐた當地草分け人として各方面から惜まれてゐる

家庭

繪……江藤純平氏

子供の〝夏痩せ〟は病氣の徵候!?

一應反省の必要があります

お醫者さまは斯く語る

大人はすでに發育停止の狀態にあるから夏になればたいていの人は夏痩せするのが普通だが發育ざかりの子どもの夏痩せは何かよくない病氣の一徵候ではないか……と一應反省してみる必要があるといはれます。それは次のやうな理由によります。

子どもの夏痩せといふのは〝發育の狀態が一時的に止つて、たとへば體重にしてもその增加率がいくらか減つて來るといふのが普通健康兒の夏痩せ狀況だが、さうでなくて體重がぐんぐん減つて頰ぺたが目だつてこけて來るやうなのはどう見てもあたりまへとは申せません。

たい　ていの子どもは一年一キロは體重が增えるもので、これは秋から冬にかけてぐんと肥つて初夏から盛夏にかけそのパーセンテージが減つて來る。これは健康體でもあり得ることだが、さつき云つたやうに夏になつて增加はさておきパーセンデージが減るのでもなく、實際體重の減るやうなのは親ごさんの注意を要します。即ちそれが神經質、腺病質、貧血症、輕い結核、胃腸疾患などを意味することが多いからです。

病弱　兒の夏痩せは分るが健康兒までがどうして夏痩せするかと云ふと、夏は日が永くなつて運動が多くなるとゝもに、疲勞の度が一年中で最も甚だしい狀態になる。過勞に對して一番いゝのは睡眠なのだが、夏はどこの子どもも反つて睡眠不足の傾向に陷るところへもつて來て、胃腸を壞したり弱くしたりすることも少くないそれやこれやで子どもに必要な榮養素が充分利用されず新陳代謝の障害を招くにいたります。例へば榮養素は十だけしか入つてゐないのに運動その他に十二のエネルギーを使つてゐれば都合二だけの貧攫が多くなつて、體力出納簿に赤字が出て來る道理。

この　貧攫は健康兒にはさしたる影響はなくても、弱い子にはどんだ實攫になるから、傳染病など流行すればイの一番にやられる危險がある。つまり夏痩せとは抵抗力がマイナスであることを示すバロメーターだとも云へます。そんなわけだから夏痩せを撲らかでも防ぐためには冬の間から注意しないといけないので、冬のあひだあまり食物に對して消極的だと夏は殊に消極的にせざるを得ない狀態になる譯。運動にしたつて戶外の日光浴を冬の間からつゞけてゐれば、夏の太陽にもさしてへこたれずにすむわけでせう。このほか食べものを注意して胃腸を弱めないことはもちろん、睡眠をよくとるため夏は午睡をするのも效果的です。

ぜひ　注意して貰ひたいのは運動適度たるべきこと、殊に輕度の病氣があつて夏痩せするやうな子どもは水泳など絕對に禁止していただきたい、少くともそれには一應醫師の診斷を待つてからといふ愼重さがあつていただきたいものです。（大連醫院小兒科醫長・飯尾純三博士談）

〝外交辭令〟ご存じですか

近頃簡單な催しの案內狀に往復はがきを用ひますが鄭重を要する場合には葉書型厚手の白紙に案內狀を認め別に返信用はがきを添へ角封筒に封入するのが禮儀です。さて、その何れにしても心得おくべき禁句としては「萬障御繰合せ……」の一句です。これは甚だ自分勝手のいひ分で外交辭令としては拙劣です「御差支なければ」「何卒御都合の上」といふ意味の表現をなすべきであります。また案內を受けた方では、出席、缺席と印刷してある何れかに消線＝だけでなしに「御亂招にあづかり喜んで出席……」など、何か意思表示の言葉を添へる心がけが出ます「先約有之缺席」は大失禮、何とか簡單にその理由、例へば「大阪へ出張のため」の如き文字を記したいものです

小學校行事　【二十日・木曜日】△州內初等學校敎育研究會（松林において）△參觀授業（伏見臺）△學年會（同前）△講堂訓話（下藤）△職員運動（聖德・嶺前）△保護者懇談會（大廣場）△水泳實施豫定報告（嶺前・松林）

催し　◆大倉陶園新作品展覽會は（二十二日より二十八日まで三越三階ホールにて）

滿日婦人團の　南滿硝子工場見學

いよ〳〵けふ午後一時

集合場所　東關街（西崗子線、惠比須町の次の停留所）

南京虫や胡藤虫に刺された時の注意

＝忘れずに繃帶を卷くこと＝

大人　もさうだが殊に子供の皮膚は蟲の毒に負け易いから、これからさき夕方などは木の下へ近づかないことが第一です。また蟲の毒は土地によつて違ふので內地から來たての人は大事になりがちだし逆にこつちから內地へ行つた子がたいてい蚤や何かでひどいめに會ふ。例へば異人種の保有する菌を受けたとき特にひどい結果を招くのと同じ道理です。

そこ　で蟲にやられたら直ぐアンモニヤをつけるか、それがかりでは强いといふ人はアンモニヤを含むオボセルドツクをつけるかあるひはハブ草をもんでつけるか、その實を煎じてつけるのもよく、雪の下を採んでつけるのも效果ありと稱せられ傷口をよく吸つたあとヘメンソラの類を塗つておくのもよろしいやうですが更に大切なのは繃帶を卷くことで何にもつけなくても繃帶を卷いておくことはあとで搔き破る憂ひをなくす意味で特にお奬めしたく考へます虫に刺されること自體は大したことぢやないのだが、あとを引搔くためにいろいろな化膿菌に侵されそれからひどいめに會ふことが多いのです。

滿不の街（14）　村田治郎

◆建築規則……當地の市街地建築物法は日本より早く出來たゞけ、それだけ今となつては時勢に適合しないものとなつてゐる。何しろ十何年も昔のもの故、速かに現狀に卽したものに改正の必要があらう例へばアパート一つ建てるにも敷地一杯に建てるものだから、そこの住居人も充分な光線が得られなかつたり隣家の者がとんでもない不便を感じたりすることが少くないのである。

◆規則勵行……日本人には八釜しくいふのに滿人に對して特にルーズだと思はれるやうな事實がある。規則に抵觸するものが建築を許可されたり許可なくして無斷建築するものがあつたりするので忽ち乞食部落の如きものが諸方に出來上る始末だ。これらの整理取締りのためには警察と土木課との二元制を一元的なものに改めることも大切であらう

工夫して頂きませう　〝薄もの〟の着つけ

優美より涼味第一　肥つたお方＝痩せたお方

薄物を着る季節が參りました。薄物は體格がはつきり現れますからお着附けに一工夫して頂きませう先づ

肥つ　た方はガーゼ一反をお腹の邊から胸元に苦しくない程度にしつかり卷き、汗よけを兼ねます。ガーゼの嫌ひな方は和服用コルセツトをし、お腹とお臀の突出た部分を引締め十字を作つてから次にボイルの肌襦袢、長襦袢の順で着ます。肌襦袢と裾出しだけでは着崩れも早く、お姿を亂してしまひます。襟が開いて困る方は前身の襟元を幾分より氣味にして腰紐を締める時、呼吸を吸ひ、お腹を引き、骨盤の上でしつかり締めます。上半身はゆとりをつけ、裾も裾ひろにします。お人形式にしめては暑さうで見姿を臺なしにしてしまひます。腰紐の紐幅明の所三ケ所に洋服用スナツプをつけて置けば簡單で、紐の如く丸まるおそれがありません。帶の前に必ず帶芯を使ひ、脹ふとんを入れると帶の上のまくれる事はありません。

痩せ　た方は肥つた方と反對の意味でガーゼを肉づけるやうにそげた肩や胸元に女らしいふくらみを着けます。特に背の高い方は後姿を淋しくせぬやうお太鼓の形を高く、又丈も長くします。全體に夏分は派手にならぬやう、いやみのない暖り氣な風情もよいものです。肥つた方、背の低い方は明石縮緬のゴワ〳〵したものよりジョウゼツト、ボイル等の織の柔かいものを御奬め致します。襦袢の肩地のボイルを用ひても上品な感じりの御召物が出來ます。お仕立なさる時、衿で肩の方は袷形明を詰め加減にすると、自然と胸の丸味が出て丸味が出ます。恐り胸の方は衿幅明を袷より餘計にあけ縫込も充分につけて頸に衿がつかぬやう工夫致します。

單衣　帶は最初の折目が大やうにします。帶上げは淡色を少しのぞかす位にして、帶止はさゝな細か金具を少し紺にします。要は優美といふより涼しさ第一にして頂き度いものです。（德永千代子さんのお話）

洋裝辭典（アの部）

（遼東傳書鳩聯盟本部）

◇アンサムブル　アンサムブル・コステユム、またはアンサムブル・ドレスの略で、多く午後の服のコートとスカート、ジヤケツとスカート、或ひはオーヴアーやケープが共生地となりコートの裏とブラウスが共生地である等、元來「揃ひの」「一緖」のといふ意です。

家庭顧問　鳩具店を

【問】御手數ながら滿洲及び內地に在る鳩具店を敎へて下さい（市內・失名氏）

【答】新京日本橋通七九及川商店、東京神田元岩井町一六持田商店、東京麴町四島津治助、大阪東區安土町二西村商店尙當聯盟事業部では滿洲產の材料で經驗ある職人に重な鳩具を作らしてゐますが材料、運賃等の關係で內地より取寄せるに比し三分の二乃至半値、甚だしきは三分の一位で出來るものもあります、例へば最近のカタログによる步兵鑑六羽入七圓が三圓五十錢位で飮水器でも巢皿でも內地輸入より遙かに安價に出來ます

滿蒙の長蟲（三）　S・M生

いゝいゝさらさへびはその二です。これは鮮滿から西比利を經て遠く南露の裏海に注ぐヴォルガ河の流域までも棲み、北支那にもゐる可なり分布の廣い類ですが、朝鮮ではモク（墨）クロングイとかコムウン（黑い）ベアム（蛇）とかいひ、支那では烏蛇（ウシエ）黑花蛇（ヘイホアシエ）または烏梢蛇（ウシヤオシエ）として廣く知られてゐます。通身灰色がかつた黃褐の地に、濃く緣を取つた立菱の黑ずんだ更紗模樣が相當大きく出てゐてその更紗模樣の間々には矢張り同じ樣に緣取した小形の黑斑が、ちやうど橫ツ腹と思ふところにずつと並んでゐるのです。それで鳥渡目には黑い感じを與へますから、墨とか烏とかいふ因みの名が付いてゐることゝ思はれます。それから黑花蛇といふのは黑い模樣のある蛇と解きまして、南支那から我が臺灣にかけて棲む、いろわらしまへびの白花蛇と對照して考へなければ、十分にその意味が吞み込めません。

いろわらしまへびは本草綱目に黑質にして白花、脇に二十四個の方勝文あり、腹に念珠の斑あり、と見えてゐます。通身暗褐の地色に狹い黑の橫斑が散らばり、兩脇には頸筋から尻尾の端まで、黃ばんだ白縞が通つて、双方縫り交つて大體に立菱の更紗模樣が出てゐるのですから、黑質にして白花といつたものでせう。しかし、その數が二十四個に限られてゐるか、どうかは判然致しませんが、立菱形でありますから方勝文に適ひありません。腹に念珠の斑ありてチトどうかと思はれないでもありませんが、下面が灰白くて黑斑が兩側に散つてゐることだけは確です尙綱目には一に蘄蛇とも、また褰鼻蛇ともあります。蘄蛇の方は兎も角も、同じ地方には褰鼻蛇といふ鼻先が恐ろしく尖つて而も上にしやくれたすつぽんの首そつくりな毒蛇が別にゐまして、その色合から斑紋まで好くも似通つたものでありますから、流石の學者もこれをごつちやにして誤り傳へたものと思はれます。水滸傳中百八人の豪傑の中に、白花蛇楊春といふのがあるのを、皆さんは御承知でせうが、楊春は背にこの蛇の模樣のやうな繡があつたので、さういふ綽名を得たと見えてゐます。

餘談にわたつて恐れ入りますが北方產のさらさへびの黑花蛇は、南方產のいろわらしまへびの白花蛇と對照して考へなければなりません。白花蛇は頭尾各一尺は大毒があるといふので、これを切去り央程のところを臘乾にして酒に漬その汁を風邪の妙藥として支那人朝鮮人の間に飮用されてゐますが黑花蛇も矢張同樣の目的につかはれてゐます。俗に花蛇酒といふのはそれで、嚴密に別ければ白花蛇酒と黑花蛇酒の二通りあるわけです（つゞく）

あふれこ

おゝ！なんと　散髮は一年に一度、顏なんか年百年中洗つたことがないといふ定評だつた大宅壯一氏が何を感じてか近頃しきりにおしやれをし出した、この間も流行仕立の綠地の背廣に、五百圓もするライカのサツクを肩にかけて颯爽と銀座の鋪道をのし步いてゐると向ふから來かゝつた一列橫隊の東寶の生徒孃たちが氏の顏を見てクスクス笑つて通りすぎた、と、そのうしろから來かゝつたのが岡田三郎氏だ……「あの女の子たちは僕の顏を知つてゐるのかなあ?」と大宅氏、「どうして?」「だつて僕の顏を見て笑つてゐたぜ」に岡田氏ニタニタ笑ひながら、默つて大宅氏の股間を指したもので ある、おお、なんと、そこには一すぢの紐が——一尺ばかりも垂れてゐたではないか?。

ブック・レヴユウ　ネダーチン氏の近業　〝現代新疆〟を讀む（一）　田口稔

この六月初旬、エス・ヴエー・ネダーチン氏の新著にして中平亮氏により邦譯された「現代新疆」が私の机上に贈られた。

四六判三四二頁にみつちり詰められた豐富な內容は概觀、疆界、行政組織、地方及び都市住民、英露の暗鬪　ロシアとの關係、交通經濟、回敎徒の叛亂等に關する十二の章に分たれ、その目次の一瞥によつて本書が新疆の全貌を把握する上に最新精密な好資料を提供してゐることを知ると共に、同地方の政治的樣相の存在することをも先づ看取するのである。

私は個人的の興味から「新疆界に就て」なる一章に心を惹かれた。殊更に、この問題に對して一章を捧げられたことには興味深い理由の存するものがある。著者は新疆のバウンダリイの擴大化に對して二つの見解を下して居られる即ちその一は、國境線を形成するホルゴス河の河床が雪解け時に激流をなして移動したこと、竝にゴビが南方へ移動性のあることとの自然地理的要因を指摘し、その二は國內の政治、經濟上の特殊な要素を擧げて居られるのである。疆界線移動の研究上の生きた好テーマとして本章を讀むことは實に興深いものがあつた。（つゞく）

ブック・レヴユウ

易學通變（加藤大岳著）東京神田須田町紀元書房、六・〇〇錢

北方（北川冬彥著）當地出身の詩人北川氏の第一創作集で「古い鏡」以下九篇の近業が收められてある、橫光利一氏の序に曰く「この一卷には氏の純潔な個性が雪と氷に蔽はれた寒烈な北方の光線の中で嫋々として跳る奔放な自由な美しさをもつて滿されてゐる氏の健康な望郷の產である」と（東京蒲田女塚蒲田書房、二・〇〇錢

•決算書の作り方見方（松岡元三郎著）東京神田神保町同文館、一・五〇錢

•財務管理の仕方（濱谷源藏著）東京神田神保町同文館、一・六〇錢

•映畫敎育（六月號）大阪北區堂島大阪每日新聞社、一〇錢

•米の友（六月號）東京本所千歲町東京米穀硏究所、二〇錢

•北斗（六月號）東京品川東大崎三其社、一七錢

•謠曲新報（六月號）東京四谷大番町其社、三〇錢

•民衆時論（六月號）東京牛込簞笥町其社、五〇錢

•遼東詩壇（百十四號）大連星ケ浦黑礁屯同文社、三〇錢

•滿洲詩壇（六月號）大連山吹町其社、三〇錢

つり

◇キス釣り　十五日夜、夏家河子泊りのキス釣り連は雨の止むのを待ち、午前三時頃出帆は約三十隻、殆ど全部出揃つてゐたが、あの通りの天候で滿足な漁を得ず最も多い人で四十尾位で歸る（正隆・松本氏・報）

◇長山列島行中止　十五日夕、宇佐丸にて出帆豫定の長山列島行は濃霧を氣遣ひ、波止場にて同行三十名協議の結果殘念乍ら中止解散、翌日の天候は果して惡かつた、他日再擧の心算、時日未定。（市內・海老屋・報）

發熱　するのは皮膚の炎症のために體溫が腫れたときで三十八度から四十度にもなることがあります子供に多いけれど大人にだつて無いとは云へません。だから幾らかでもかゆみを止めるため就寢前に湯をくんだ盥の中にリゾール液十滴を滴下しそれでリゾール浴をするとい〻。たゞし化膿した時は入浴を避けた方が賢明です。（大連醫院・柳原英氏談）

洋書餘談【C】

書棚の國際色　喜多壯一郎

☆…運動方面のものは一般にアヴアレイヂされてゐるが我が國では未だクリケツトとポロに關するものは出ないやうである、この方面も亦或る運動が始めて輸入された場合、例へばレスリングとかグライダーとか最近ではアメリカン・フツトボールの如きものが紹介されると最初はそれに關する本が書棚へ飾られるや否や飛ぶやうに賣れるが、やがて漸減する傾向は趣味方面のものと同樣であるが、その中に所謂中興の云々といつた具合に著名な選手だとか事件が起ると亦再燃して店員は忙しくなる。

☆…丸善の階上を一巡すれば無言の書籍が我が國の文化的色彩を雄辯に物語つてくれる、昔は英文原書が多かつたが現在では英、米、獨は殆ど同樣であり、これに次ぐものは佛であるが、その內容を個別的に觀察するならば其處には各々異つた文化的カラーを顯はしてゐる、法學、醫學方面では斷然佛が他を壓してゐるが政治學經濟學方面では英米が優り、次に位するものに獨佛がある、然し藝術、特に美術方面においては佛が他を凌いでゐるのが目に付く、技術方面のものとしては英、獨であるが特に「ハンデイ」のものは米が多い。

☆…更に法學の分野においても國際法では英佛ものが多く、民法では佛、獨が優る、醫學の部門は前述の如く獨の獨占であるが齒科に關してのみは米の專賣である、これはアメリカ人がチヨコレートを多く食べるせゐであるかも知れない、文學方面も最近佛文學が問題の種を播いてはゐるが原文ものより英譯が多く讀まれてゐる。

☆…時代の推移と共に婦人の地位も向上し、かつては丸善の階上、時たま婦人の姿が見えれば、それこそ文字通り紅一點といふ所であつたのが街路における和服洋裝が半々になつた今日では服裝に關するもの美容に關するもの其他料理に就いての書籍雜誌が激增すると同時に店內もレフアインされた婦人が目立つて多くなつた、婦人の內で最も舊い洋書讀者で丸善の階上に來られたのは大山元帥夫人で、すでに明治卅年頃屢々訪れられたさうである、なほ津田梅子女史も早くから姿を見せられた一人であるといふ。（つゞく）

主婦之友
七月號いよいよ發賣
子供繪雜誌つきで大人氣
二大附録贈呈
吉屋信子先生の新小說愈々連載
男の償ひ
啞の娘さん七人の座談會
罪の女囚人が母性愛に更生した哀話
良人の愛を再び取り戻した妻の涙の手記
結婚難解決の秘鍵
緣結びの方法の座談會
三夫婦四博士で有名な竹內先生の家庭座談會
愛兒二人の死によって信仰を得た母の感謝の告白
大評判の重寶附録
魚の洋食一品料理
（約二百種作方發表）
素人にも上手に出來る按摩の仕方畫報
夏の不養生からお產に失敗した經驗
勤人向きの內職に成功した經驗
オリムピックの食堂經營苦心談
薄物の女單衣の上手な着附畫報
勸業債券割增金の番號發表
第二別冊附録
良人や戀人の愛情を試驗する法
指紋で運命を判斷する法
夏の生花の水揚法
肥滿した人が瘦せた方法
汗よけ下着の作方
夏の台所の座談會
夏の男子の誘惑
お伽童踊
拳鬪王デンプシーと會見の記
長篇小說 虹の故郷
長篇小說 人妻椿
小說 眞實一路
長篇小說 白梅紅梅
小說 女軍突擊隊
二大附録つき 六十錢
東京神田
主婦之友社

異人劍法（118）

伊藤行男
金子清之介畫

やくざの血（その二）

お袋さんも初音さんも、さぞ思ひ悩み嘆いて居られたであらう。心細い想ひをしてゐるのではあるまいかと、飛び立つやうに歸つて來た巳之助だつたが、釘づけになつたわが家の前に立つた時はいきなりさつと顏色が變つた。

信じられぬ氣持で、入口の戸にさはつてみた。押してみた。叩いてみた。

（空家だつ）

棲む人のない家といふものは、どことなく荒廢した感じをもつものだ。

夕暗の中に、物音もなく、まるで死人の家のやうに、ひそまり返つてゐるわが家……。

「しまつた……」

と巳之助が叫んだ。

不吉な豫感で、全身の血が逆巻いて來た。

「どうしたんだ、一體こりやアどうしたつてんだつ」

と叫びつつ、力まかせに、入口の戸を蹴破つて、氣狂のやうになつて、家の中へ飛び込んでゆく。

その一瞬の間に、巳之助の眼の前は、いきなり眞つ暗になつてしまつた。

憤怒にふるへる眼で、手で、脚で、巳之助はそこらぢうを探つた。

誰の仕業か家の中は、綺麗にとり片づけられてはゐたものの、襖に壁に生々しい刀傷……。

「畜生つ」

誰に聞かなくても、巳之助にはすべてが分つた。

巳之助は棒立ちになつた。するとキツと噛みしめた齒が、カチカチと鳴るのであつた。

寂しい蓮臺寺村の家々は、谷間に、まばらに散らばつてゐるのである。

やがて野を吹く秋風が、冷たく月明りに染め出された頃、村を見下す小高い墓地に、巳之助があがつて來た。

母がこゝに眠つてゐると、村人に聞かされて、線香をとり出すが早いか、驅けつけて來た巳之助なのだ。

巳之助は落葉にまみれた墓の前に、もろくもべたりと膝をついてゐた。

「おつ母さん……」

膝をそろへて、兩手をついて、巳之助は墓を見あげて、

「お母さん、巳之助、只今歸りました……」

云ひも終らず語尾がふるへて、巳之助はわれとわが言葉に咽んだ。

泪が一時にこみあげて來たのであらう、寒々と肩をとがらせ、しきりに手の甲で眼をこすり乍ら、

「すみませんお母さん、お母さんには小さい時から、苦勞に苦勞をかけ通しの、極道者のこの巳之助存じてをります。こんなやくざな伜でも、いとしんで下すつたやさしさは、決して忘れはいたしません。そのお情を忘れねばこそ、今度こそ御心配はかけまいと、歸つて來たのが仇となつて、とうとうこんなお姿に……。もし、もしお母さん、さぞ不孝者の巳之助と、草葉のかげで怨んでおゐでなさいませうが、今度こそは正眞正銘、甲州の親分にも親分乾兒の盃を立派に返して來ましたのに……」

巳之助は聲をあげて慟哭した。

「しかし、しかしもう何もかも、今となつては水の泡、これもみんなお母さん、やくざな伜から起つた事、どうか、どうかお許しなすつておくんなさい、巳之助の心はもう鬼でござんす。この怨みやアきつと……いゝえとめないでおくんなさい、叱らないでおくんなさい」

秋風にさらされて、白々とわびしい墓にさながら母の前にゐるかのやうに思ひなしつつ、

「巳之助、もうかたく心を決めましてござんす。やくざの道に踏み込んで、しでかした不始末は、やつぱりやくざの道に從ひ、片をつけたいと存じます。血が、やくざの血が、さうしなけりやアお母さん、どうしてもをさまらねえんでござんす」

滿洲日報 夕刊
發行人 本村武盛
編輯人 橋本喜代治
印刷人 南里順生
大連市東公園町三十一番地
發行所 株式會社滿洲日報社

河北、察哈爾問題の外 對全支重要方針協議

昨夜の關東軍幕僚會議

【新京電話】支那駐屯軍酒井參謀長、儀我山海關特務機關長、松井張家口駐在武官は何れも關東軍からの急電に接し、三氏打連れ十七日午後五時三十分着あじあで來京、河野參謀の出迎へを受け直にヤマトホテル新館に入り待合せ中の田中關東軍參謀と食事を共にしながら先づ今回の會議の下打合せを行ひ同九時一先づ打合せを終了、次いで一行は參謀副長官舍に赴き同九時三十分から正式會議が開かれた、而してこの正式會議は關東軍司令部から板垣參謀副長以下下村第一、石本第二、原田第三各課長を始め河野、田中、河邊各參謀全部參集、これに來京の酒井參謀長、儀我大佐、松井中佐を加へた重要幕僚會議で、會議は單に察哈爾問題に限らず、北支全般の問題について協議され、殊に第二段工作としての今後の技術的問題について相當具體的協議が重ねられた模樣で、會議は遂に深更に及んだ、斯くて來京した三氏はなほ兩三日滯在連日協議を行ふ筈で、協議される重要事項は

一、宋哲元軍の態度に亘る違反行爲は軍としても徹底的に解決を圖るが、一面全般的なる見地からすれば、これは支那全國的に行はれてゐる排日行爲の一現象であることは事實であるため、更にこれを機會に支那駐屯軍と協力、それ等運動の根源をなす中央政權の排擊について一層の努力と監視を行ふにつき十分意見を交換する

一、河北問題は何應欽の南下により最初の段階に一區切りを告げたため今後の問題につき關東軍、支那駐屯軍間に十分の打合せをなす

一、宋哲元又は宋哲元部隊が依然態度を改めず、反滿抗日行爲を續ける場合における軍としての解決方法及び支那駐屯軍との連絡方法

一、北支の現狀よりして緊急に處理すべき軍部としての北支對策

一、外務省と協力、全支的に眞の日支關係の整調を期するための現地軍部としての方針及び日本は支那民衆を敵とするものでないことを周知せしめるための方法

の諸事項と見られて居り、而してその中宋哲元問題の解決方法は松井武官の報告を主とし、北支全般の問題については酒井參謀長の實情説明を基礎として論議される筈で、酒井參謀長が支那駐屯軍を代表して述べる意見は相當注目に値するものがあり、從つて今回の會議は單に河北問題、察哈爾問題に限らず全支那に對する今後の軍の方針につき既定方針に從つて一層具體的に決定せんとするものであるが、勿論前記の如く宋哲元の違反事件は表面的に具體的に現れた日本及び滿洲國に對する挑戰行爲であるため、これについては依然強硬な態度で解決を進める筈で、今回の會議の決定により二、三日中に松井中佐は張家口に急行解決交渉の下打合せを宋哲元との間に行ふ筈で、その打合せにより土肥原少將又は松井中佐の正式活動に入ることになつてゐる

徹底的に排日芟除 北支問題はまだ序の口

新京にて酒井參謀長語る

【新京電話】急電に接し十七日あじあにて着京、直にヤマトホテル新館に投宿した支那駐屯軍酒井參謀長は記者團に語る

要するに今度來たのは河北問題に關してその後の動きを説明、關東軍側と爾後の方策について打合せに來たのだ、北支問題はまだ

序の口 だが、派生的に起るトラブルを一々取上げて正面切ることより、日本及び支那の兩立のために相互の存立を尊重し得るまでに支那を是正する必要がある、その意味から相手の不正を看過してまで親善を求める必要はないと信ずる、排日排外教育に專念する團體の全面的撤退が必要なので、それには十年、二十年一貫した方針の下に監視すべきである、從つて宋哲元に對する問題も所詮は根本を流れる一つの動きの續きだ、日本は民衆を敵とはして居ないその點に關しては支那民衆そのものが知つてゐる筈だ、國民黨が排日政策を放棄することはテロ政策がなくなることで、事實平津における色々な

排日の 息吹きのかゝつた諸團體の撤退によつて平津の民衆は實に平靜なものだ、殊に經濟方面には何等の動搖がなく唯國民黨政府を支持する浙江財閥が大騷ぎをしてゐるやうだ、しかしこれも身から出た錆で仕方あるまい、軍としては陸海軍並に外務當局とも對支政策に關しては一致した意見の下に、排日政策の打倒に關して十分監視の眼を離さない、我軍は飽まで正々堂々の態度で進むので、色眼鏡を以て見てゐた諸外國も我方の正しき要求に對しては漸次諒解することゝ思ふ、何れにしても今次の北支問題に對する日本側の要求は日本國民の

總意で あることを知らしめたい、自分個人の意見を云へば、現政權が支那自體にどれだけのことをしたかは歴史に徴しても明かな如く、この時代ほどだらしのない時代はない

松井中佐談

今回の來京は第二張北事件につき關東軍當局と打合せのためだ、今度の事件は第一張北事件に關する誓約を無視した宋哲元の背信行爲で、飽まで強硬に抗議する要がある、宋軍のこの種排日行動は今に始まつたことでなく、既に第一張北事件、察東事件があり、自分は天津にゐたので大灘事件はまだ詳しい報告を聞いてゐないが、兎に角今回の問題に對し今後如何なる手段を執るかは關東軍と打合せしてからだ、先方との交渉も土肥原閣下が當られるか、私がやるかも分らない、兎に角自分は打合せが濟み次第張家口に歸り、宋哲元に對し、わが要求事項につき下打合せをすることになるだらう

儀我大佐談

關東軍から出て來いとの命令があつたので來たのだが、要するに北支那をよくしやうといふ相談なのだ、だから勿論宋哲元の問題も出るだらうと思ふ

練習艦隊歡迎會

【ホノルル十六日發國通】我練習艦隊淺間、八雲の二艦は目下ホノルルに入港中であるが、十六日午前ホノルル日本領事館庭園にて在留邦人主催の下に大歡迎會が催された

百武司令長官 きのふ上海着

【上海十七日發國通】約一箇月に亘つて揚子江沿岸各地を視察中であつた第三艦隊司令長官百武中將は十七日午前十時旗艦安宅に坐乘上海に到着した、追つて佐藤海軍武官、磯谷陸軍武官と會見、今回視察の結果得た支那側の情勢、共產軍の狀、況各地における排日運動の取締狀況等詳細説明して今後の對策に資する筈である

內審第二回總會(十七日)

重要問題質疑 特別委員會設置決定

【東京十七日發國通】內閣審議會第二回總會は十七日午前十時より開會、岡田首相挨拶の後水野錬太郎氏より中央財政に關し質疑ありこれに對し

高橋藏相 中央の財政については議會において述べた通りで最も考慮を要する點は國家財政の歲入出が均衡を得てゐない事であつて、赤字公債の發行限度の如き目下の所見透しがつかない狀態で、公債消化力の問題と相俟つて頗る重大なる問題である

と答へ、次いで富田幸次郎氏と後藤內相問答あり、更に秋田清氏は農漁山村の一般經濟狀態につき質問し、富田氏は再び地方財政調整交付金に關し質問

藏相 交付金は現下の地方の情況に鑑み必要であると思ふがこれが實施に當つては町村不況の原因を研究した上にて交付するのが順序であると思ふ

と答へ、次に郷母木桂吉氏は國防と財政の調和に關し質問、大角海相の所見を質したに對し、大角海相は具體的には軍縮會議の結果を得なければ判然見透しは出來ないとの意見を述べ

林陸相 現在の陸軍裝備が世界各國に比し何の程度の間隔があるかと云ふ事を研究しなければならぬ、又滿洲國の治安維持の現在及び將來をよく考慮しなければならぬので、今茲に明言は出來ない故、この點については他の機會に詳細述べたい

と答へ午後零時二十分一旦休憩、午後一時二十分再開、自由討議後

馬場委員 審議の方法順序範圍を決定する必要があると思惟する故特別委員會を設置しては如何

と提議し全會一致之に賛成したのでその人員、銓衡は岡田會長に一任する事に決定、次いで

安達委員 林陸相の滿洲視察の御感想その他についての御説明を承りたい、又廣田外相からは北支那方面の情勢につき同樣説明を承りたいと思ふ

との希望意見の開陳あり、林陸相廣田外相より孰れ適當の機會において御希望に副ふやう致したいと答へ午後二時三十五分散會した

林陸相參內

【東京十七日發國通】林陸相は十七日午後一時三十分參內、天皇陛下に拜謁を仰せつけられ、滿洲及び朝鮮視察の結果を委曲奏上、種々御下問に奉答して御前を退下した

駐支交代部隊凱旋

十八、九兩日駐屯地出發

【天津十七日發國通】駐屯軍天津部隊交代兵は十八日午前八時及び九時に天津驛發、北平並に北寧沿線駐屯部隊は十九日午前十時二十分天津通過、孰れも塘沽へ向ひ愈々凱旋する事となつた

對滿國策強化策

關東軍の兵力一層充實必要

陸相、首相に進言

【東京特電十七日發】林陸相は十七日の閣議前、岡田首相を訪問、滿洲視察結果の詳細なる報告をなし、今後の對滿國策遂行方につき陸軍の所信を披瀝し、重大進言をなした、その內容は大體左の如きものと解される

一、今次現地を視察した結果、滿洲國の治安維持、國防保全には現狀をもつてしては不充分なる事判明せるにより、日滿議定書に基き軍責を擔ふ關東軍の兵力裝備內容には更に一層の充實を加へる必要がある

一、從つて平年化による事件費削減は不可能であるのみならず、關東軍の兵力裝備內容の充實のためには豫算膨脹は不可避的である

一、滿洲國の現狀は政治的に平常狀態に入つたとはいへ、經濟建設、產業開發はまだその緒に就いただけで、これが開發建設の促進に就ては一層の考慮を要す

一、殊に重要工業の統制を強化すると共に中小產業を援助する事は必要であり移民事業については相當の經費を惜むことなく、集團移民の徹底的移植を圖る必要がある

一、この意味において日滿經濟委員會は速かに開設し、その機能を發揮、日滿經濟の現狀に即し百年の大計を樹つべきである

一、滿鐵の組織を新情勢に適應するやう改めることは絶對必要で如何に改組するかは今後充分考究の要がある

關係大臣とも協議

【東京特電十七日發】林陸相は對滿國策の強化に資するため政治、經濟、產業、軍事、外交の一般に亘る基礎的根本研究を經へて歸京、今後は折に觸れ視察事項につき陸軍事當局、關係當局に對し更に綿密なる研究を命じ各方面、內閣審議會に重要進言するものと期待されるが、可及的早急に解決の必要ありとされてゐるもの、中重要なのは左の案件である

一、關東軍編制改組の研究
一、關東軍の交代制、常駐制問題
一、滿洲國を繞る對支、對露外交の調整
一、滿洲國產業開發のための內地資本流入と日滿金融統制問題
一、移民問題
一、滿鐵改組再檢討

而して關係大臣と協議すべき事項は左の如く觀測さる

一、高橋藏相に對しては現地視察の結果滿洲事件費の平年化は至難であること、又國防兵力と治安維持兵力とを分離するやうなことになれば更に一滿洲經費の膨大化する點を強調する

一、廣田外相に對しては支那駐屯軍、關東軍の觀る北支情勢を詳細説明し陸、外兩當局の對支政策步調が一層揃はんことを希望する

一、兒玉拓相に對しては移民問題や產業開發につき密接な連絡を執り斯業發展へ努力方を懇談する

三國中佐の視察談

陸軍省新聞班次長三國直福中佐は約二十日間にわたり北滿一帶の視察を終へ十七日午後十時半着はとで來連、左の如く語つた

濱綏線一帶は未だに匪賊が出沒し皇軍の警戒線を非常に惱ましてゐる、斯樣な狀態ではまだなかく治安維持にも氣が許せず警備兵充實の必要を痛感した、この分では軍事費も到底輕減は困難であらう、私は山海關まで行つたが、北支に行く事が出來なかつた、山海關で儀我特務機關長の説明で北支の大體の樣子を聞いたが、單なる口頭禪だけで對手を滿意なものと解する事は出來ぬ、我々としては一層監視の必要を感ずる、滿洲の新聞統制問題は關東軍でやつてゐるので何も聞く事がなかつた

なほ同中佐は遼東ホテルに投宿十九日出帆の吉林丸で歸任の筈

內蒙に安全農村

朝鮮總督府の新計畫

【京城十七日發國通】朝鮮總督府新京出張所では今回內蒙に四千百餘天地即ち八百二十萬坪といふ尨大な地域を入手したので明年度においてこの地方に安全農村を建設すべく總督府と折衝中であり內蒙の一角に我等同胞の新天地が開拓される事に非常な望みをかけられてゐる

簡閲點呼日割

關東軍管區內における昭和十年度簡閲點呼は左の日割で執行されることになつた

▲第一區 七月二十七日(鞍領小學校)二十八日(保原小學校)二十九、三十日(四平街小學校)三十一日(公主嶺小學校)八月一日范家屯小學校)三日(西安守備隊)

▲第二區 七月二十六日より八月十日迄(奉天春日小學校)八月十二日より同十四日迄(撫順守備隊)八月十六日(蘇家屯小學校)

▲第三區 八月一日(瓦房店小學校)二日(熊岳城小學校)三日(大石橋小學校)四日(營口小學校)五、六日(鞍山富士小學校)七日(遼陽小學校)

▲第四區 八月九日(本溪湖小學校)十日(橋頭小學校)十一日(安東大和小學校)十二、三日(鷄冠山小學校)

▲第五區 八月十五日(山城鎭日本小學校)

▲第六區 八月十、十一日(錦州日本小學校)

▲第七區 八月十三日(北票日本小學校)十五日(朝陽日本小學校)十六日(錦西日本小學校)二十日(平泉日本小學校)二十二日(承德日本小學校)

▲第八區 七月二十九日(貔子窩小學校)卅一日(普蘭店小學校)八月一日(金州小學校)八月二日より同十八日迄(大連第二中學校)同十九日(旅順中學校)

▲第九區 七月三十日より八月十三日迄(新京商業學校)同十五日(吉林日本居留民會)十八日(敦化守備隊)十九日(蛟河守備隊)二十日(新站守備隊)廿二日(鄭家屯日本小學校)廿四日(白城子滿鐵建設事務所)

▲第十區 八月三日より同七日迄(哈爾濱駐屯步兵聯隊)同九、十日(齊々哈爾博濟工廠)十二日(北安鎭駐屯步兵聯隊)十四日(海倫守備隊)十七日(五常守備隊)

尚本年度の點呼に參加すべき者は昨年度の不參者と大正十三、十五年、昭和三、五、七年徵集の既教育者並びに昭和三、六、九年徵集の未教育兵である

大連市參事會

大連市十年度新規事業中、山縣通市場改築、晴明臺小賣市場新築及び若狹町公設質舖改築は設計圖近く完成するので、各擔當課において諸般の準備を急いでゐるが、山縣通市場の處分、晴明臺市場敷地買收及び若狹町舊公設質舖處分に關し十七日午後二時から市參事會を招集原案通り異議なく可決、同三時過ぎ散會した

獨立政權樹立を阻止

南京政府の北支對策決定

【上海特電十七日發】汪精衞氏は十六日黃郛、何應欽兩氏を自邸に招き今次北支問題に關し何應欽氏より詳細なる報告を聽取した後今後の對策につき意見を交換した結果北支問題に關しては今後も親日的方針の下に北支における非中央的政權の獨立を阻止することに意見一致した、即ち今次の北支問題は中央政府の直接管轄外にある黨部、一部の軍隊その他の反日的策動の結果惹起されたものであることを認め今後北支においては飽くまで親日的方針の下に右の如き反日策動を出來るだけ北支より排拭することに努めると共に更に黨部及び中央軍等の撤退により北支の一部には各種の非中央系政權樹立の策動が起されてゐるに對しては、この際中央として可及的速かにこれが處置をとつてこれらの新政權の獨立を阻止することゝなつた、而してこれがため北平政務整理委員會及び北平軍事分會の存廢についても意見を交換したが大體これを廢止する方針を決定、右の方針を蔣氏に傳達して諒解することゝなつた模樣である

宇佐美總局長

【滿洲里特電十七日發】北鐵接收後の濱洲線視察中の鐵路總局長宇佐美寬爾氏一行は十七日午後四時特別列車で來滿、直に各機關に挨拶廻りした、一行は列車內に一泊十八日朝飛行機で歸路に就く筈

往來(十七日)

汽車【到着】(午後六時半)遠藤貞次郎氏(滿鐵第二輸送課長)▲鈴木悅二郎氏(本社營業局顧問)▲(十七日午後十時半)三國直福氏(陸軍步兵中佐、陸軍新聞班次長)▲藤澤中佐(電々囑託)▲楢崎觀一氏(大每滿洲總局長)

小觀

北支獨立とか四省自治とかは總て策動家のデマであると片づけてゐる向がある▲固より我軍部の關知するところでないことは明瞭であるが軍部の意圖でないといふことが直にデマであるとは限らない▲若しそれが北支自然の情勢であつたならば強ひて抑壓すべき限りでないのみならず所謂緩衝地帶として寧ろ適當の形態といふことが出來る▲但し殺到する利權屋、策動屋を排除する軍部の用意を多とすべきである▲親日方針は一貫するが北支には中央政權の息の掛かつたものを派遣するとのことである▲問題は南京政府の誠意の如何にあつて北支に飾られるロボットの如何ではないことを銘記する必要がある▲宋哲元の亡狀は于學忠のそれ以上のものであつて一片の抗議ぐらゐでは引込みさうに見えない▲察哈爾あたりにゐると野郎自大となり一切がお先眞暗となつて強がりも出るのであらう▲軍は正當なる要求と當然なる手段によつて貫徹する上において寸毫も躊躇すべきでない▲それが大局から見て彼等に對しても親切なる所以である▲要するに不自然を匡し歪曲を直すだけの事であつて必ずしも重大化と見るを要しない

愛戀十字街 (103)

淺原六郎
橋本八百二繪

危險線 (十二)

「明さん、あたし今からだつて遲くないと思ふのよ」

街子は、明子が木の葉のやうにふるへてゐるのを、愉しさうにながめながら、しかし友情にみちた言葉づかひで話しかけた。

「あんたさへ、はつきり決心するなら、少しも心配することなんかないと思ふわよ」

「どんな決心?」

「簡單なことよ。こゝを出て、お家にお歸りになれば、それで萬事解決されるわ」

「まア、そんなことが」

「何んでもないことぢやないの、正式に結婚したわけぢやなし、今の生活は友愛的な同棲ぢやないこと?だから、青柳さんが、あなたの期待にそむいた男だつたらさつさと解消した方が、正しいと思ふわ」

「あたしにはそんな事出來ない」

明子ははげしく頭をふつた。

「では、あなたは、あの老獪な色魔と、いつ迄も同棲なさるつもりでゐらつしやる?そしてあの女にたいしては惡魔のやうな青柳が、いつ迄も飽きもせず、あなたと同棲してゐると思つてゐらつしやる?」

「あたし、青柳の過去は知らなかつたの。でも、今の青柳は信じてゐてよ。本當に信じてゐてよ。だから、あたし達の今の生活にそんな烈しい批判はあたへられたくないわ」

「批判ぢやないことよ。事實を御話して、あなたの苦しむのを救つてあげたいと思ふからよ」

「街子さん、もう何も云はないで。青柳のことも仰言らないで。わたし少し位の氣持の動搖で、すぐ贈れられるやうだつたら、青柳は愛しもしなかつたと思ふし、青柳と一緒になりもしなかつたと思ふわ。そして青柳を惡魔とも色魔とも思つてゐないの。青柳にはもつと苦しむことの出來る魂があるわ。過去の青柳にいろいろ汚らはしい女の話があつたのは、青柳が結局求める女に逢はなかつたからだと思はれてよ」

「オホホホ……」

街子は甲だかく笑ひだして、

「しよつてるわね。すると、青柳さんの求めてゐた女はあなただつたと仰言るのね」

「冷笑しないで。あたし今必ずしも、さうだとは思つてゐないけれど、きつとさうならうと思つてるるのよ。きつと、さうなる日がかくると思つてゐてよ」

それは街子だけ言つてゐる言葉ではなかつた。自分自身の、ともすれば光りを失はうとする暗い心にむかつて、云ふやうに云つた言葉でもあつた。そしてこの言ひの心を、青柳の歸るまで、懸命に勵まし、育んでもきたのだつた。明子は、人間のもつどんな汚辱の世界でも、眞實と誠心さへあるならば浄められると信じてゐた。これは多少彼女の母のキリスト教精神によつてあたへられたものだつたかも知れないが、明子のやうな性質の女にとつては、それは一番ふさはしい考へ方にちがひなかつた

彼女の肉體は異性を魅惑する豐麗なものを示めしてゐたにしても、彼女の精神は、母型的で、また浪費的であるよりも建設的だつたからである。

そしてあらゆる惱みを押へ、心を明るくして、青柳を迎へたのだつたが、青柳の打つて變つて、皮肉と冷嘲にみちた態度に接し、突きはなされた自分を感じたとき、明子は惡ぎはに蒼然とたたずんだまゝ、寒雨のなかを行くやうな淋しさに陷つてしまつた。

屑屋に變裝し暗躍 某大官をねらふ

隱家に雷管やダイナマイト 一味十三名逮捕さる

大連憲兵分隊では過般天津〇〇機關より五月初旬藍衣社系統ノ遊擊隊陰謀團が大連へ侵入し某大官暗殺の計畫ありとの情報に接したので、時節柄重大視し極秘裡に内偵中のところ最近市内小崗子露天市場を中心とし擧動不審の屑買ひ商人團が盛んに暗躍し居る奇怪な事實を探知するに至り、さらに追求探査の結果、右一團は屑屋買ひであることが判明重要證據を握るに至つたので、突如十六日夜十時を期し司法憲兵總動員で同人等が根城とする市内能登町六十一番地王蔭和方を襲ひ密談中の王蔭和(四二)槐玉堂(四二)蔡某(六二)等十三名を一網打盡に逮捕、家宅搜査の結果、床下より英國製品のデトレールキバツク附雷管二百個、英國製一號ダイナマイト七本その他日本火藥會社製黑白導火線等多數を發見押收した、彼等は王を團長とし槐が副團長となり多數の部下を屑屋に變裝せしめ盛んに暗躍してゐたもので、彼等の第一目的は日滿官憲の嚴重な警戒網のため遂に果さず、さらに第二段の目的に向ひ活躍してゐた形跡がある、なほ逮捕の犯人については目下嚴重取調べ中であるが固く口を緘して何事も語らずその執拗さには取調べの係官も驚歎してゐる(寫眞は首魁の王とダイナマイト)

實滿定期野球觀戰記

滿倶の敗因は何? 豫想さる、次の力戰

平田次郎

この點に氣のつくことの遲かりしは不思議であつた

そして滿倶としても五十嵐の一、二回兩試合に示したあの成績を絶

▽…發表された滿倶のラインアツプ中、阿部が三浦に代つて捕手の大役を買つて出たのは意外とする處であつたが、前第三回戰に守備の要を緘ねばならぬ三浦が暢間なる爲に、四つの盜壘を實業に敢行されて、苦戰に導き、この大きな穴を補ふために主戰投手を、思ひ切つて棄て、捕手に廻した滿倶のこの配陣は、貴重な棄石であると共に、是が非でも本日の試合を得んとする堅き決意が現はれ、同時に滿倶の守備の缺點を公に發表したやうなものであつた、然し捕手は肩のみの力にてその任務を完ふし得ざる事は本日の試合で再三示された

たゞ滿倶にありては三浦と阿部を捕手に用ひた場合、兩者がバットを握つて、立つて實業を脅威するその打力を比較する時、懸隔があまりにも大なるため、阿部をベンチに置くに忍びざる處は充分察する事が出來る、これが滿倶の第四回戰における作戰部の最も惱む問題であらう

▽…實業は五十嵐の球をよく打つた、そして滿倶は餘りにも岩瀬に封ぜられた、本日の實業の勝利は記録にも示す通り安打十一本で殆ど毎回走者を壘に繰り出し、全く五十嵐を沈默せしめたが、實業の打力は第一、二兩回戰に見た如き劣勢なものでなく、過日記述せる通り五十嵐の成績が全く驚異に値する好投であつた

本日の實業の各打者のスウイングは一、二の者を除き非常にシヤープになつて、總體に本壘より前方で打つてをつたのが、本日の結晶となつたもので、寧ろ

(實業)	打數	得點	安打	犠打	盜壘	三振	四死	刺殺	補殺	過失
6 内田	3	1	0	1	0	1	1	0	1	1
8 岡見	5	1	2	0	0	0	0	0	0	0
4 井上	5	2	2	0	1	0	0	5	1	0
3 松木	4	0	1	0	0	0	1	5	1	0
2 野田	5	1	3	0	1	0	0	4	0	0
7 宇多村	4	0	1	0	0	1	1	4	0	0
5 鈴木	3	0	2	2	2	0	0	2	1	0
1 岩瀬	3	0	0	0	1	0	1	1	3	0
9 稲田	3	1	0	0	0	0	1	6	1	0
計	35	6	11	1	5	2	5	27	8	1

(滿倶)	打數	得點	安打	犠打	盜壘	三振	四死	刺殺	補殺	過失
8 汐崎	5	0	0	0	0	1	0	2	0	0
6 柴原	4	0	0	0	1	1	1	1	2	1
4 本田	2	0	0	0	1	0	3	3	4	0
3 高橋	4	0	1	0	0	1	0	11	0	0
7 高須	4	0	0	0	0	0	0	4	0	1
9 水谷	3	1	1	0	2	1	1	1	0	0
1 五十嵐	1	0	1	0	1	0	3	0	3	0
2 阿部	3	0	0	0	0	0	1	2	1	1
5 小池	4	0	0	0	0	0	0	3	1	0
計	30	1	3	0	5	4	9	27	11	3

△併殺—實業1(稲田—内田—井上)△試合時間—2時間32分

本格的應援團長

けふの實業側は自稱團長〇〇入りで是に代つた本格的應援團長現れ、開會前より先づ應援の合圖を盛んに敎へる、勢頭實業の好成績にフレー〳〵〳〵を始めたが、却々力のこもつた名團長振りに同選手に拍手するのか、新團長に拍手するのか分らない、滿場四萬の顔がこれにすひつき八萬の手が拍手の嵐

またか〳〵と首が長くなる——やつと探した揚句打ちました〳〵二點獲得! 鈴木君はつとして〝さん〳〵水を入れたこのバットよくも當つて呉れよつた〟とバットを見てニヤリ

有難やバツト

三回表實業軍二死ながらランナー二壘、三壘、此の機に立つバツター鈴木君がなか〳〵此れない、日頃持ち馴れたよく當るバットを探してゐるらしい、實業のベンチも總立ちで探してやる、滿倶軍一同

えず彼に要求する事よりも、もつと岩瀬を粉碎する事に配意せねばなるまい

▽…滿倶の敗因の一つは全回を通し、六、八、九の三回を除き、各回實業は一打者を壘に出し、

▽…守備にかけては稲田が再三安打性の飛球を捕へて實業の危機を救つたが、あれが安打となれば、滿倶はもつと明快なる攻擊力を發揮し得たに違ひない、實業の放つた安打の中に幸運的のものが多かつたに反し滿倶は甚だ不運なものであつた、然し餘りにも反擊力なき本日の滿倶のこの打力では、どう考へても勝てなかつた。

▽…四回の試合によつて兩軍とも敵投手の球質に充分慣れた筈だ次の試合は壯烈なる打擊戰が展開される事が豫測されるが、この反面に、今まで以上に徹細な注意と作戰を要求され、特に投手に誰を送るかゞ大きな勝敗の分岐點になると思はる。

實業の強く盛り上つたこの迫力を、五十嵐又は阿部を如何にして抑へるか、チエンヂオブペースに、より以上細心せずして速球のみに頼る時は、思はざる破綻を生ずるに非ざるか、實業の打棒で水谷が出場して、實業の打棒を鈍感するに非ざるか、恐らくこの四回戰が一番の力戰となることが總ての點から綜合して想像さる。

▽…試合前及試合中實業團應援團長の名指

ベスト・テン

(十七日まで)

最高打數の半數に滿たざる者は除外す

	試合回數	打數	安打數	打擊率
1 野田(實)	3	10	4	.400
2 井上(實)	4	16	6	.375
3 岡見(實)	4	17	6	.353
4 高橋(滿)	4	15	5	.333
5 柴原(滿)	4	15	4	.267
6 汐崎(滿)	4	17	4	.235
7 鈴木(實)	4	13	3	.231
8 水谷(滿)	4	14	3	.214
宇多村(實)	4	14	3	.214
10 本田(滿)	4	11	2	.182

◇訂正 十六日附第三回戰個人戰績表中野田打數1安打0とあるは打數2安打1の誤記に付訂正す

【寫眞】一回表實業内田二壘より本壘を衝く

5—2 滿倶再勝す

奉天の實滿野球第二回戰

【奉天電話】奉天に於ける實滿第二回戰は十七日午後四時三十分より小雨降る國際球場において渡邊(球審)梶原、酒井(壘審)三氏審判の下に行はれた

滿倶先攻先づ第一回に二安打に一點を先取すれば實業も二回水田の二壘打に一點を加へ前半1—1の接戰を續けたが、七回に至り實業投手漸く疲れて滿倶更に一點、八回また一點、九回に二點を得て5—1とリードし實業最後の攻擊も二安打に一點を返したのみで遂に5—2で滿倶再勝し全國都市對抗州外豫選の奉天代表となる、閉戰六時五十分、バツテリー全奉天小島—今市、日滿實業日野—水田

奉天 100 000 112=5
日滿 001 000 001=2

なほ州外豫選會は來る三十日より三日間奉天國際球場において全奉天倶樂部以下全撫順、全鞍山、全安東、全四平街、全新京、全哈濱の七チーム參加の上行はれることに決定した

擧振りは動もすれば荒れんとするこの實滿戰の空氣を非常に和やかなものにした事は一つの美しき功績として認めてもよいと思ふ。

米國總領事館

……奉天の卷(G)……

未完成美を讚仰

スキヤキが何よりも好きと言ふ

領事 チエース氏

一九三五年×月×日午後四時街に唉かひどかつた、けふは日曜ではあるがこの喫では彼氏自宅に「籠城」してゐるかも知れない、記者はかうねらひを定めて三經路のカイニングホテルの蹴殿を踏んで行つた、そして彼氏の部屋を覗いたとき何と記者の推定のシヤロツクホムス的に正確なることよ、彼氏はたしかに自室に「籠城」して居たのだ

カラもタイも

も外してホリデーらしく打ち寛いで居たのである、彼氏とは米國總領事館領事ミスター・チエースのことだよう、いらつしやい、よく分りましたね

ミスター・チエースは快活でその癖慇懃な愛嬌者である、部屋は小ぢんまりした二間つづきの洋室、窓は南に明けて赤い滿洲の夕陽が幻想的に室内を彩る、窓際のテーブルに「新撰日本語讀本卷一」が開いたまゝなのは、サイタサイタの勉強最中だつたと見える、これは飛んだお邪魔をしたものであるしかし……

とミスター・チエースはいつた、何か考へて居たことがあつたのだらう、それがここへ來て

一轉語を下す

衝動に驅られたものであらう、が、しかし……

と二度いつて少しく首を傾けた、私は音樂を愛し演劇を愛する、だのに長い三年二月の間樂劇に親しむ機會を奪はれて居た、それが何より淋しいことです

ミスター・チエースは最初記者に〝日本語がむづかしい〟とか〝日本文字の讀みにくさ〟とかを訴へるつもりであつたかも知れぬ、ところがミスター・チエースはそのことは今更ことあげしても詮なしと途中で觀念したものらしい、そこで〝が、しかし〟と一轉語を下して怨ち

オペラを語る

方に飛躍したものらしい

そこへ行くと東京はさうした機會にふんだんに惠まれて好いけれども僕は完成されたものより未完成の未發達のもの、持つ美を讚仰したい、さういふ點から考へるとムクデンは決して實瀬でないことを發見します、それは未開の地方の生活を特色づける野性的生活力、活動力を持つてゐるからです、文化人に取つて、それは又大きな魅力でもあり興味でもあると思ふのです

青年外交官は

情熱があり敎養がある

こんなことを語つて紅茶を啜つた、ミスター・チエースのムクデンライフはもう三年二月になる、しかもその三年二月の一日一日をモストインタレストを以て暮して來たといふ、オペラのない奉天も大して住み憂しは思はない。

オー、イエス。僕は結婚してゐる、ベビーもある、ことし二歳だ、細君のヘルガ・フオン・アーベルヒと共に九月にはムクデンへ來ます

青年外交官といふにしては既に卅八歳のミスター・チエースであるが、どうしたつて

二十八歳以上

には見えぬ若やかさだ

ニユーヨークに近いコンネクチカツトに生れ一九二〇年エール大學を卒業、暫く本省に居たが二六年北京を振出しにベルリン青島を經て三三年奉天駐在となつたもの、スポーツはテニス、ゴルフ、水泳何でもござれであるが、奉天クラブに於けるミスター・チエースのクロールは知る人ぞ知る

外交官に珍しい餘技として

天文學を勉强

してゐるが天文學が外交に及ぼす影響について聞くことを迂濶にも記者は忘れたのである、その代りミスター・チエースが大へんなスキヤキ黨であることを紹介して置かう。寫眞(オーガスト・サビン・チエース氏)

レコード

映畫と同樣に徹底的に取締る

關東局令を設けて

【新京電話】從來滿洲國内で販賣頒布されてゐる蓄音器レコードに關しては僅かに内地當局者との連絡によつて取締り、特定の取締規則はなかつたので最近に至り滿洲國の健全なる發達を阻害するが如きいかゞはしいレコードが氾濫し南支方面から支那のレコード、蘇聯方面から赤化思想上どうかと思はれるものが續々と入荷し、既に滿人方面に國策上面白からざる影響を及ぼさんとする傾向にあり特に最近大連署においてレコード檢閲の申込みを斷つた事實もあるので、この際活動フイルム取締規則同樣蓄音器レコード取締規則關東局令を設け、レコードの取締に積極的に手を伸べることゝなり、檢閲制度の確立によつてこの種不良レコードを驅逐することゝなつた、目下研究中であるが立案と共に近く審議會にかけ、公布する模樣である

旅中が優勝

全滿中等庭球

十六日の降雨のため延期中であつた南滿工專庭球部主催の全滿中等學校庭球大會は十七日午後一時より工專コートにおいて大連一中、二中、商業、旅順中學、撫順中學の五校參加の上リーグ戰を以て舉行したが旅中十勝を以て第一位となり優勝盃を獲得した、閉戰四時半戰績左の如し

大連二中3—0大連一中
大連商業3—0大連一中
旅順中學3—0大連一中
撫順中學2—1大連一中
大連二中2—1大連商業
旅順中學2—0大連二中
大連二中2—1撫順中學
旅順中學3—0大連商業
旅順中學2—1撫順中學

右リーグ戰の結果順位左の如し

1、旅順中學 十勝
2、大連二中 八勝
3、大連商業 六勝
4、撫順中學 五勝
5、大連一中 一勝

インフレで勞働爭議減る

【東京十六日發國通】近時軍需工業の勃興と輸出貿易の進展等によつて所謂インフレ景氣に見舞はれ勞働爭議は漸減の傾向にあるが、内務省社會局の調査に依れば昭和十年に入つてからの勞働爭議は件數五百二十三、關係人員二萬五千二百五十八名で多い地方は東京の七十四件、愛知の六十二件、大阪の五十八件、神奈川の三十八件である、更に全然爭議を見なかつた地方は新潟、福井、石川、鳥取、沖繩の五縣に達し從來に見ない成績とされてゐる

更に爭議の内容に就いて見るに賃銀減額反對五十二件、増額要求百四十二件、公休制設定勞働時間短縮五件といふが如きは景氣向上期における勞働爭議の特徵を如實に現はしてゐる

内地臺灣飛行

十月八日開始

【東京十七日發國通】明年一月から實施の豫定であつた内地臺灣飛行は豫定を二ケ月繰り上げて此秋十月八日から決行することになつた

右は此の秋臺北市で舉行される臺灣始政四十周年記念大博覽會のため促進されたもので、年内は郵便飛行機で行ひ、往航は十日連絡、復航は第一日沖繩縣那覇に着陸二日連絡で、ダイヤグラムその他は目下遞信省航空局竝びに郵務局その他關係各方面と打合せ中である

ドイツ勝つ

【ロンドン十六日發國通】デ杯庭球歐洲ゾーン準決勝戰たるチエツコ對南阿試合はチエツコの勝利に歸し、更に濠洲對ドイツの試合はドイツ二對一とリードの跡を承けて十六日ベルリンで舉行、フオンクラム對マツクグラスの一戰は勝敗の分岐點なので少年マツクグラス必死となつて迫つたが遂に敗退クロフオードも意氣沮喪してか新人ヘンケルに敗れドイツ四對一で豆濠洲を破つた、かくてドイツはチエツコと歐洲ゾーンの覇を爭ふこととなつた

新潟地方酷暑

【新潟十七日發國通】新潟地方は梅雨期に入つても一向降雨を見ず南風が熱氣を吹き送つてゐるが、特に新潟縣高田地方は十七日朝來猛烈な南風襲來、暑氣強く最高三十四度(華氏九十三度二分)に達し例年より八、九度高く實に同地方としては驚異的な暑さであつた

親鸞聖人（245）

女人篇

吉川英治作　山村耕花畫

吉水夜話（二）

暫、つゝましく唇をむすんでゐた。然し、この無言はいたづらな空虚ではなかつた。誰も聲は出さないが爐のまはりの者はこれで充分に語り合つてゐるのである。

ぢつと、爐の中の美しい焔に眼を落した儘――。

外には落葉の音がする。

冬の夜の訪れが、しきりと、禪房の戸をがた／＼搖すぶつてゆく

「綽空どのは、頰のあたりがすこし肥えられた」

蓮生房が呟くと、爐をかこんでゐる心寂や、辨長や、念阿や、禪勝などの人々が、そつと彼の顔を見まもつて、

「ほんとに」

と云ひ合つた。

綽空は、うなづいて、

「こゝにゐて、肥えなければ嘘でせう」

「初めて、お見かけした時は、瘦てをられた」

「あの頃の私は、形骸だけでしたから――今はかうして爐に向つてゐても、魂までが、ほた／＼温もるのを感じて來ます」

心寂が、まるくしてゐた背をのばして、

「誰にも、一度はそれがあつたのだ――わしなども」

恥しさうに何か回顧する。

「さう／＼」

と、念阿がそれを話した。

求菩提の心にもえてゐた頃の心寂にはかういふ俗縁や市塵の中にゐては常に心が亂されて、ほんとの往生境には入り難い。――かう彼は考へて、上人に、遁世を願つた。上人はゆるされた。心寂は、草鞋をはく時、

（いづれ、再會は極樂で）

といつて、立ち去つた。

それから彼、河内の讃良にながれてゐた。そこの奇特な長者の後家が、まことに信心のふかい善尼なので、彼の望みをかなへてやらうと、林の中に、一つの草庵をつくり、食物はあげるから、思ふさま念佛してお暮しなさいと云つた

心寂は、

（こゝぞわが菩提林）

と、鳥の音に心を澄まし、三昧に入つてゐたが、やがて、三年、四年とたつうちに、同門の人々はどうしたらうかとか、上人は御無事でをられるだらうかと、やたらに、人間のことばかり考へられて來て、朝夕、長者の住居から食べ物を運んでくれる小さい子供にまで話しかけてみたくなつたり、雨ふるにつけ、風ふくにつけ、心は却て、世間にばかり囚はれてしまつて、まつたく最初考へて來たやうな繫累なき俗縁なき清澄な菩提は求められなくなつてしまつた。

あわてゝ四年目に草鞋をはいてふたゝび都の上人の許へ歸つて來て、面目なげにその由を云ふと、上人は、

（よい體驗をなされた。學問があつても、智者でも、道心のない者には、その迷ひは起らない。菩提へ一足近づかれたのぢやから）

叱られるかと思ひのほか、上人

えんげい

白熱的前人氣の 丹下左膳 愈々近く封切

日活が六月の黄金篇として製作した山中貞雄監督、大河内傳次郎主演の「丹下左膳」は今や全國的に人氣を呼び、特に滿洲においては本紙に原作が連載されたため一段と待望されてゐるが、いよ／＼近く入荷、大連日活館を封切館として順次、奉天新京において上映されることになつた、日活館ではユーナイトの大作「巖窟王」と組んで絶對的な大衆プロを組む筈である

16ミリ ニュース

●…矢田挿雲氏新興訪問　新興京都が製作中の大作「太閤記」の原作者矢田挿雲氏は十一日午後入洛、新興京都撮影所を訪問、同夜嵐峽溫泉で撮影關係者と一夕の宴を張つた

●…第一新人松山美江　六月一日附で第一映畫へ入社した新人重松吉美（一七）はこの程藝名が松山美江と決定し、石本監督が傳明、月田、中野等で撮影中の「名物三人男」にデヴューした

●…蒲田「夢うつゝ」　蒲田お笹トーキー花嫁シリーズ北村小松原作脚色「夢うつゝ」は田中絹代主演と決定「君を夢みて」を中止した野村浩將監督で着手される

●…五所監督「膝枕」　蒲田お笹トーキーの一つ、御前樣シリーズ第二篇「膝枕」は近日「あこがれ」を完成する五所平之助監督が着手するが、主演は齋藤達雄、高杉早苗

私語線

十六日の日曜は實演戰の物凄い人氣にあふられて大連映畫街は完全にノツクアウトと豫想されてゐたが▲早朝からの降雨は時ならぬ救ひの神となり反動的に晝間からお客がワンサとつめかけて各館共に超滿員の盛況▲中でも「ルムパ」と「うら街の交響樂」を上映中の日活館は午前十時の打ち込み四回興行と八十錢一圓の入場料といふ率のよさから勝負が早く午後四時までに七百圓突破▲倉重支配人堀田宣傳部長以下事務所に集まつてニヤリ／＼「十時頃から雨が止んでゐたならもつと稼げたのになア……」は慾が深い▲中央館の特別プロ「理想鄕の禿頭」「これがアメリカ艦隊」も好評晝夜共に久々で活氣を見せてゐた

〃羽左〃一行演藝會
讀者申込券（一人二枚）
二十日午後四時締切
主催 滿洲日報社

哈爾濱市場でも大豆、俄に反撥
京濱沿線の降雹で

【哈爾濱特電十七日發】十五日午前九時頃より約一時間に亙つて陶賴昭を中心として京濱線一帶に直徑八分の雹が物凄い勢ひで降り續け恰も發芽期に當る植付大豆に一大損害を與ふるに至つた、これがため暴落に暴落を重ね十五日先物九月限七十三錢の安値を見せてゐた大豆相場は休日明けの十七日俄然強氣に轉じた、手持滿商筋の一齊買進みに大反撥を呈し同日後場は一擧に八十六錢の高値を見せた

新京の國幣 強調

【新京電話】永らく百四圓臺の保合を持續して居つた新京の國幣相場は十七日の休日明けに至り久し振りに百五圓臺を示し百五圓二十錢と強調を告げた

……灣部大阪駐在員鶴岡嘉吉民は語る　現在の石炭、雜貨兩棧橋の中、雜貨の方を六十六メートル繼足してこれに必要な敷地二千三百平方米坪の埋立を行ふもので、大したものではない、正式出願書類は五月下旬提出したが各方面の審査を完了するには三、四ヶ月を必要とするから順調にみて九月初めに着工出來るやうにならう

鑄物用銑鐵建値 次期据置と決定
十七日の共販會社協議會

【東京十七日發國通】銑鐵共販會社では十七日午後丸の内本社にて販賣業者、鑄物業者との協議會を開き、次期(七月より九月)鑄物用銑鐵建値につき協議した結果、現行建値一噸につき四十七圓、ロシア銑四十六圓五十錢据置と決定した、なほ同期の供給數量は二十萬噸外銑六二セント 日鐵九五、滿洲銑四二と決定した

奉天土木建築業
相互保證組合創立總會開催

【奉天電話】奉天土木建築業相互保證組合創立總會は十七日午後四時より奉天ヤマトホテルにて開催、小黑土建協會長代理 中村、小島、滿銀各代表會員多數出席、先づ上木分會長を座長に推薦し組合規約保證規則、組合費徴收內規など成案につき逐條審議可決十年度收支豫算も亦原案通り可決、理事長に上木仁三郎氏以下各役員を決定、上木理事長就任挨拶をなした後意見の交換を遂げ五時半閉會引續き午後七時より在奉各機關代表を招待披露宴を張つた

ニラの新機構
十六日、ル大統領決定

【ワシントン十六日發國通】國家產業復興法は六月十六日を以て滿期失效するに至りル大統領は十六日產業復興法延長に基きN・R・Aの新機構竝に新陣容を決定した既に聯邦大審院の判決に基き復興法は完全に骨拔きとなり今後九ヶ月、僅かに殘骸を止めるに過ぬ事となつたが大統領は出來る丈けN・R・Aの全般的機構維持を期待し、新復興委員長にはギヤランテイ・トラスト社の副社長として財界に令名あるジエームス・オニール氏を起用し新に產業協調局、監督局竝に諮問評議會を設置した、產業復興院新機構の內容次の通り

復興院委員長ジエームス・オニール、產業協調局長プレンテイス・クーンレー監督局長、レオン・マーシヤルで諮問評議會は資本、勞働、消費三階級の代表各々二名を以つて構成する

川崎雜貨棧橋 九月初旬着工
滿鐵港灣部鶴岡氏談

【大阪特電十七日發】滿鐵川崎埠頭の工事用務を帶びて滯在中の港……

事業資金運用には特別會計を設ける
滿洲輸入會社定欵案

滿洲輸入組合聯合會によつて計畫されてゐる滿洲輸入會社設立案は既報の如く滿鐵重役會の承認を得て愈々設立の運びとなり十九日の聯合會定時總會において輸入組合定欵改正案に關連議題に上せられ會社定欵案と共に各地輸入組合對輸入會社との內部的關係、即ち出資契約、仕入業務手續等も最後的決定を見る筈である、而して輸入會社定欵案の內容、竝に各組合との內部關係は對外的影響を慮り極秘とされてゐるが

確聞 するに左の如き內容を盛つたものである

一、名稱　滿洲輸入組合株式會社とす

二、目的　(1)各種商品賣買の仲立竝に保證行爲(2)各種商品賣買、委託竝に保證行爲(3)資金の貸付(4)貿易館及共同店舖の經營竝に貸付(5)問屋、運送、倉庫、通關代辨及び代理(前)各項に附帶する事業

三、資本金　金四十萬圓とす

四、本支店　本店を大連市に置き必要に應じ出張所を日滿兩國主要都市に置く

五、役員　本會社に取締役三名以上、監査役二名以上を置く、取締役の任期は三年監査役の任期は二年とす

而して資本金四十萬圓の出資は聯合會の事業資金として保有する正隆、滿銀の預金三十萬圓竝に倉庫建設資金として滿鐵會社に償還延期の十萬圓を充て

現實 には出資せず、たゞ前記聯合會の四十萬圓を新會社への投資の形となす筈でこれに伴ひ聯合會定欵第三條に「滿洲輸入會社に對する投資」の一項を加へ、特別會計に分離獨立せしめ、これによつて生ずる損益も一般の損益とは切離し特別會計とし、また今後滿鐵への借入金償還金も一切この特別會計に繰入れられ會社の事業資金として運用される筈である

この出資關係を明白ならしめるため輸組聯合會と輸入組合との間に契約書を取交し、更に仕入手續に就ても會社、組合間の圓滑なる連絡提携を期する爲め契約書を作成組合より仕入依賴擔保として組合の有する缺損補償準備金全額を會社に提供することを約する筈である、組合對輸入會社との仕入業務に關する連絡は左の如く行はれる

一、組合員の組合經由仕入は總て組合保證の下に輸入會社經由にて行ふ

二、仕入に關しては會社と組合間に別に定むる契約書を取交す

三、注文は次の如き方法によりて行ふ(イ)組合理事は組合員の依賴により所定の樣式により會社宛書類を送付し仕入方を依賴す(ロ)會社は右注文書を調査し直に出張所々在地又はその附近都市に對するものは出張所に、その他のものは賣主に對しこれを送付す(ハ)急を要する注文にして會社に移牒する餘裕なきものに限り組合理事は直接注文を發し事後承認を求むることを得

四、注文品の受渡　注文品竝に貨物引換證及仕切書は出張所經由のものは出張所の指圖によりその他のものは輸入會社の指圖により賣主をして指定の箇所に發送せしむ、組合理事は着荷後三日以內に現品の受渡を行ひ、同時に現金仕入の場合は出張所經由のものに對しては出張所へ、その他のものに對しては賣主に直接送金、またサイド付のものは所定の樣式と共に組合理事振出、會社宛の約束手形と共に會社に送付す、會社はこの約手に裏書の上出張所又は賣主に交付す(この約手金額は組合手數料を控除したものを記入するものとす)

五、代金決濟　現金仕入は組合手數料及送金實費を差引き支拂ひ手形發行のものはその支拂期日に指定銀行に支拂ふ

六、地場仕入　地場仕入の場合組合理事は急を要する註文に準じ直接處理しその都度副書を輸入會社に送付す、但しサイドは地場仕入最高額は各組合毎に豫め聯合會により滿鐵の承認を得た限度以內とす

七、手數料　當分の間左記の標準により徴收す

▲組合手數料　(イ)斡旋手數料一步(ロ)保證料一步

▲輸入會社手數料　(イ)他地仕入—組合取得手數料の二割(ロ)地場仕入—同一割

內國稅徴稽獎勵規則
滿洲國財政部公布

【新京電話】財政部では稅制整理の傍ら內國稅徴集機關の整備に努めてゐるが、更に徴稅成績を擧げる目的を以て十八日附左の如く內國稅稽徴獎勵規則を公布した

第一條　稅務監督署長は內國稅に關する犯罪事件を密告したる者及びその檢擧につき特に有效なる援助をなしたる者に對し、本令の定むる所により內國稅稽徴獎勵金(以下單に獎勵金と稱す)を支給することを得

第二條　獎勵金の支給額は當該犯罪事件につき反則者をして納附せしめたる罰欵額及び沒收品換價格、または沒收品の代償として納付せしめたる金額を基準として左の割合による

一、反則事件を密告したる者、基準金額の一割以上二割以內

二、反則事件の檢擧につき特に有效なる援助をなしたる者、基準金額の一割以上二割以內

第三條　同一の反則につき密告者又は援助をなしたる者數人ある場合にける獎勵金の分配方法は、第二條に規定する支給金額の範圍內にて稅務監督署長適宜にこれを定むることを得

第四條　獎勵金の支給を受くべき者支給を受くる前死亡したる時はこれをその遺族に支給す

なほ本令は康德元年度に於て檢擧したる反則事件に對する獎勵金よりこれを適用す

東京電氣大連工場增設
八月中旬に竣工

東京電氣會社大連工場では自働式電球製作機二臺を以て電球製作に當つてゐるがこれまでは電球ガラスを內地から移入使用してゐたところ今回、右電球の完全製作に依つて滿洲電球界制覇の計畫を強化すべく準備中で、その工場設備は八月中旬頃完成する見込である

外務省通商局擴充案

【東京十七日發國通】外務省通商局擴充案は近く幹事會に諮つた上、明年度より實現を期するが案の內容は左の如きものと確聞する

一、新通商局、通商政策貿易助長の二部制とする

一、その長官には通商關稅政策の最高決定權を附與するが政策の實施は依然として商工貿易局、大藏關稅課遞信管船課の權限とする

一、關稅商務官を大擴充する

大同產業借入金成約

【東京十七日發國通】大同產業では豫て東拓に借入金交渉中の處十七日左の如く契約成立した

一、總額六十萬圓

一、二ヶ年据置十ヶ年月賦償還

哈爾濱交易所上旬市況
大豆は軟調

【哈爾濱發】哈爾濱交易所六月上旬の商況左の通り

普通大豆　六月一日八限一〇一、七五に寄付き一〇二、〇〇を本旬中の高値として漸落歩調を辿り遂に一圓の大關門を突破し大連安と手仕舞の賣物續出に九四、〇〇の安値を見せ低迷裡に端午節休日に入つた、休日明け七日市況は撥物一巡と對ソ大豆大量成約說に寄鼻九八、〇〇の高値を現し、尙昂騰を豫想されしも大連反落と歐洲の不況に新規賣物殺到急轉直下激落を來たし當限遂に九〇、〇〇臺割れを演じ先限も本年の新安値九一、〇〇に暴落、跡利喰ひと輸出筋の現物買進みに反撥を見たるも引續き歐洲の買氣更に擡頭せず、民賣人氣濃厚と先安見越にマバラ筋優勢賣となり再落を來たし九二、〇〇を大引として軟調裡に本旬を終つた

小麥　六月一日八限一四一、五〇に寄付き端午節休日を控へ利喰ひ續出に本旬中の高値一四三、〇〇を見せたるも、大豆安と江麥出廻旺盛に人氣惡化し製粉筋の一齊賣に軟調を呈し、引續き休日明け市況は大豆の大暴落と天候順調に賣人氣益々旺盛となり弱氣筋の猛進賣進みに大崩落を演じ七月遂に昨年十一月以來の安値一三一、〇〇を現したが、跡利喰買戻と強氣筋の新規買に反撥を來たし大豆安を眺めながら一三六、〇〇に大引けした

國幣　六月一日先限(六月二十七日限)一〇四、〇〇に寄付いた市況は海外銀市場の大勢に遊離してまた幣制改革問題の前途見通し付かず保合狀態を持續し、三日上海標金及び滙申の反落に本旬中の高値一〇五、〇〇を見せたが、明け七月大連鈔票安を移して一〇三、七〇に寄付き跡一〇三、四五を本旬中の安値として保合商狀を續け一〇三、九五を大引として閑散裡に推移した

枇杷入荷待

長崎、鹿兒島物は上場なく伊豫物七十籠の僅少に拘らず大した高値取引も見せず保合ひで現在入荷待風情

梨甦り

滿洲人に非常に歡迎されてゐるので荷主は內地の消化不良にこれが荷捌きを大連市場に求めて來るが上場毎に市況強調を呈し十五日は前市に比し七百個減少し、四百個入荷、なほ終末期に直面し好人氣を呼び買氣旺盛、甦商狀を辿つた

馬鈴薯下押す

連日の入荷に仲買も買氣薄く相場は下押し目先なほジリ安を辿ると見られる

西瓜軟調

西瓜の大連入荷は昨年より五日程早く高知物三貫試賣されあと臺灣物の入荷を控へ貫八十錢摑みと軟調

正誤

十八日附經濟面冒頭の「滿洲國の國債收支」とあるは「國際收支」の誤りにつき訂正す

特產

後場市況(十七日)

銀價強調に大豆反落

後場大豆は銀價強調と南支筋賣に反落を呈し、豆粕は賣もの薄に強調、豆油は外商の現物買に強保合高粱は買氣薄く思惑筋賣に軟調を告げた

◇定期(銀建)

▲大豆(反落)單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
六月末	三六〇	三九五〇	三六〇	三九〇
七月末	三九五〇	四〇三〇	三九四〇	三九五〇
八月末	四〇三〇	四〇九〇	四〇一〇	四〇一〇

▲豆粕(強調)單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
七月限	一二〇	一三〇	一三〇	一三〇
九月限	一三〇	一三〇	一三〇	一三〇

出來高　四千枚

▲豆油(強保合)單位錢

限月	寄付	高値	安値	大引
七月限	一二五	一二五	一二五	一二五
八月限	一二五	一二五	一二五	一二五
九月限	一二四〇	一二四〇	一二四〇	一二四〇

出來高　四千五百箱

▲高粱(軟調)單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
六月末	三七〇	三七〇	三七〇	三七〇
七月末	三八〇	三八〇	三八〇	三八〇
八月末	三六〇	三六〇	三六〇	三六〇
九月末	三五〇	三五〇	三五〇	三五〇
十月末	三一〇	三一〇	三一〇	三一〇

出來高　四十一車

▲包米　出來不申

◇現物(銀建)

混保(袋込)大豆(裸物)　寄付三九〇〇　大引三九〇〇
普通大豆　出來高三百車
豆粕　一三七〇　出來不申　一三七〇
出來高　五千枚
豆粕　一一三〇　一一三〇
出來高　五千箱
高粱　出來不申
包米　出來不申

株式

新東、日產甦り

後場は內地市場の日產新東甦りを眺め、當市日產、新東も甦り商狀を呈したが、新鐵、大新は內地軟弱を入れ四十錢乃至三圓低落、他地株は保合ひであつた

◇定期(單位十錢)

銘柄	當限	先限
五品 寄	一六八	一六九
五品 引中	一六八	一六九

◇延取引

銘柄	寄値	高値	安値	大引
五品	二一三	二一三	二一三	一
新豆	二〇二	二〇二	二〇二	一
錢鈔	三三三	三三三	三三三	一
氷新	一六一	一六一	一六一	一
電々	一三五	一三五	一三五	一
電乙	六三五	六三五	六三五	一
滿鐵	二三六	二三六	二三六	一
同新	一七八	一七八	一七八	一
土木	八四	八四	八四	一
大新	一三三	一三四〇	一三三	一三七
東新	二一六	二一六	二一六	一
鐘新	七三	七九	七三	七九
日產	二四〇	二四〇	二四〇	一
朝取	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

錢鈔

大臺乘せ

後場は三十錢方小高く寄付き跡、定期、現物とも遂に三十圓臺を突破し強調裡に大引

◇定期(單位錢)

六月二十八日限	寄付	高値	安値	大引
	一三〇〇〇	一三〇三五	一二九九五	一三九〇

出來高　二百八十四萬圓

◇現物(單位錢)

	銀對金	銀對洋	金對洋
一時	一二九六〇	一〇九九〇	八二六〇
二時	一三〇一〇	一〇八一〇	八二六八
三時	一二九六〇	一〇六一〇	八二五

出來高(銀對金)二十萬五千圓(銀對洋)三萬圓

商品

先限昂騰

綿糸　後場は先限一圓方昂騰したが滿商內であつた

銘柄	約定月	値段	梱數
福助	十一月	二〇五八	二〇

出來高　二十梱

麻袋　出來不申

軟調

人絹　後場は內地人絹の低落に伴ひ當市は各限一圓方低落した

▲現物取引　出來不申

▲延取引

銘柄	約定月	出來値	數量
天橋	六月二十五日	六三五〇	六五
同	七月十日	六三五〇	四〇
同	七月二十五日	六三五〇	七五
同	八月二十五日	六三七五	二〇

出來高　二百函

▲東京人絹(單位十錢)

限月	一節	二節
六月	五九八	一
七月	六〇九	一
八月	六一一	一
九月	六一八	一
十月	六二三	一

▲大阪人絹(單位十錢)

限月　一節　二節

奧地市況

▲奉天國幣對金票　一〇五、四〇　一〇五、二〇
▲奉天金票對國幣　九四、六〇　九五、〇〇
▲奉天鈔票對國幣　[illegible]

市場電報

株式(單位十錢)

大連卸相場(十七日)

市況　果實は頃合の入荷に高安からず保合商狀に推移し野菜類はトマト、茄子を除き下押傾向を見せた一方地元は茲許活潑な取引を示してゐる

▲內地物　伊豫枇杷二貫五石入(大特)……

▲地物　……

滿洲日報
朝夕刊共十四頁
大連市東公園町三十一番地 發行所 株式會社 滿洲日報社

今後の具體策につき 幕僚會議の意見一致

來京中の三武官昨日離京す

察哈爾問題は 關東軍が解決

【新京電話】酒井支那駐屯軍參謀長、儀我山海關特務機關長、松井張家口駐在武官を迎へて板垣參謀副長官邸における關東軍幕僚會議は十七日午後九時三十分から十八日午前二時卅分に及んだが協議事項は既報の如く會議は極めて圓滑に運ばれ殊に現地軍部としての根本方針は全支的排日運動の根絶を目的とすることに不動の指導精神を置いて居るため、協議された種々の具體的問題についても、如何にしてこの目的に合致するやう處理すべきかについて意見が交換されたもので、今後の具體策については同日の會議において關東軍、支那駐屯軍との完全な意見一致を見、十七日來京の三武官は何れも十八日中に離京することゝなつた、而して察哈爾問題に對する解決策については、表面化した宋哲元の排日行爲として徹底的にこれを解決する方針の下に河北問題とは全然別箇のものとして關東軍の手でこれが解決策を講ずることに決定、具體的な要求及び交渉方法は松井中佐がこれを携行十八日午前十時發特急あじあで離京したが、今次の會議において既報の諸重要事項の對策を決定した外特記すべき重要な收穫は

一、察哈爾問題に對する關東軍と支那駐屯軍との協力について根本的意見の一致を見たこと

一、關東軍は土肥原少將が北支に赴いた後は單なる文書の往復によつて北支問題の情報を交換してゐたのみであるため兎角細部の點で十分な諒解を得られなかつた點があつたが、今回の會議によりこの點についての疑惑が全部一掃されたとの二點で今後も問題の推移により一定の時期に支那駐屯軍代表又は關東軍から現地に派遣された代表を新京に招集幕僚會議を開いて今後の對支政策遂行の聯絡につき萬全を期することゝなつた

松井中佐、宋と會見 下交渉を開始せん

その結果により土肥原少將出馬

【新京電話】關東軍幕僚會議に出席した松井張家口駐在武官は察哈爾問題解決の具體案を携へ十八日午前十時發特急あじあで

離京 したが、錦州又は山海關で儀我大佐と今後の問題について打合せを行つた後、一先づ天津に赴き土肥原少將に會議の結果を報告、更に張家口に急行宋哲元と會見、我が要求事項について下交渉を開始し、宋哲元の眞意を確かめ、その結果により愈々土肥原少將が關東軍を代表して交渉に當る筈である、而して關東軍から宋哲元に

要求 される事項は、根本精神においては河北問題の當時と同じく、即ち最近勃發した個々の問題の徹底的解決は勿論今後再び斯かる不祥事を起さぬやう不法行爲の根源をなす所謂中央政權の二重外交政策の放棄について徹底的解決を要求する筈である

酒井參謀長と 儀我大佐動靜

【新京電話】支那駐屯軍酒井參謀長、山海關特務機關長儀我大佐は十八日午前九時三十分關東軍司令部を訪ひ南軍司令官と會見約二十分に亘つて北支その後の狀況を說明し、終つて石本第二課長、河野參謀と前後の會議の補足的問題について一時間餘に亘つて種々協議し、次いで參謀長官邸で西尾參謀長に同じく北支狀況を說明、儀我大佐は十八日正午發のはとで出發、酒井參謀長は尚第二課方面との打合事項が殘されてゐるため午後八時發列車で出發する事になつた

二重外交放棄を 目標に進む

出發を前に 松井中佐語る

【新京電話】出發を前に松井中佐は語る

要するに南京政府の對日二重外交政策を放棄せしめる事を目標に進むのだ、宋哲元問題に就いては徹底的な解決を要求する、土肥原少將に報告してから直に張家口に行くが交渉代表としては、土肥原少將が當られるであらう、勿論此の問題を外交問題に移すやうな事はなく、現地軍部として解決する事にならう

察哈爾問題は 切離すが當然

＝儀我大佐語る＝

【新京電話】離京に先立ち十八日儀我山海關特務機關長は語る

今回の會議は北支並に察哈爾問題に對する打合せで文書の上では徹底しないからお互ひに膝を交へて語り合つたに過ぎない、今朝先發した松井中佐とは錦州で落合ふことにしてゐる、松井中佐は天津で土肥原少將に會ひ關東軍の意志を傳へ察哈爾問題に對する今後の對策を協議する事にならう、察哈爾問題に對する正式交渉は松井中佐が土肥原少將に會つてから決定される筈である、兎に角河北問題と察哈爾問題は切離して別個の問題として取扱はれるのが當然だ、自分は一先づ山海關に歸る

松井中佐過奉

【奉天電話】松井張家口特務機關長は新京における幕僚會議を終へ十八日午後一時三十八分着の列車で來奉少憩後、同二時發の奉山線直通列車で天津に赴いたが驛頭にて語る

昨日から今朝二時までかゝつて協議が行はれた、やるだけのことはやるといふことに決つたので、その指令を携へて歸る譯だ、自分が新京へ行つたのもこれから天津へ歸るのも謂はゞ第一回の使といふ所で、後から又別の使が往來するかも知れぬ、何れ

新京會議の結果は在天津の土肥原少將に報告するが、これからは交渉相手を今までのやうに于學忠とか、宋哲元とかいふ下僚に選ばず直ちに何應欽なり蔣介石を相手に解決に邁進する方針でこれに對する決心は我が方で夙に一定してゐる、酒井、儀我兩大佐の新京發は少しく遲れる筈である

憲兵第三團の 殘留分子活動

高橋武官から抗議す

【北平十八日發國通】撤退を終つたと稱する憲兵第三團並に政治訓練所の活動的分子が尚は北平市內に變名潛在し地下運動を續けたること明かとなり高橋武官は十六日何應欽代理鮑文樾を招致嚴重警告を發したが十八日再び右分子の具體的撤退を實行するに非ざれば我方は實力を發動するも亦已むなしとの斷乎たる決意を通達した

因に殘留分子中には排日滿の元兇とも目すべき第三團特務將校憲兵中佐丁昌も混りをる由である

何應欽の北上 全く絶望

【北平十八日發國通】何應欽の荷物百餘梱は十七日午後八時北平前門西驛より南京に向け積出されたが之に依り彼の北上は軍事分會數度の招電にも拘らず望みなきこと明となつた

我軍の眞意を 板垣副長から闡明

某國領事の質問に答へ

【新京電話】奉天駐在某國領事は十五日軍司令部を訪問、北支情勢に關し軍當局の今後の方針等に及びわが軍司令官に會見したき旨申入れたので軍司令官に代り板垣參謀副長これと會見した、右會見において某領事は北支を今後如何にする方針かと質問したに對し板垣副長は

わが軍としては支那側が要求を全面的に承認した以上今後はたゞ支那側の誠意ある實行を注視するのみである

と答へ、更に停戰協定を擴大してその地域を北平、天津にまで及ぼす方針なりや否やの質問に對しわが軍にはその意思全然なきことを明かにし、最後に北支住民の自治運動に關しては

這は北支自體の問題であつてわが方の關知する筋合でなく、北支の事態は商震、萬福麟の現在執りつゝある努力によつて今後改善さるべく憂慮することなかるべき旨を述べた

右會見においてなした板垣參謀副長の應答はわが軍當局の眞意を披瀝したものとして注目さる

林陸相の報告

來廿七、八日頃

【東京十八日發國通】林陸相は十八日閣議開會に先だち岡田首相と會見、滿鮮視察の經過については目下材料整理中であるから近く拜謁を仰ぎ上奏した上閣僚にも報告したいと述べたが、陸相が上奏する時期は多分二十五、六日頃となる模樣で政府は二十七、八日頃第三回內閣審議會總會を開き陸相の說明を聽取する豫定である

谷參事官進言

【東京十八日發國通】歸朝中の谷駐滿事務局參事官は十八日午前十時外務省に登廳、引續き首腦部會議に出席北支那問題察哈爾問題の眞相及びその發展性滿洲國の治外法權撤廢の具體的措置北滿洲各地における領事館分館增設等につき重要進言を行ひ引續き約一時間半に亘り懇談を遂げた

國境紛爭防止

日滿ソ三國間に交涉進捗中

【東京十八日發國通】十七日の內閣審議會總會で蘇滿國境問題に關聯して廣田外相は國境の不侵略問題について大田大使から交渉を進めてゐる旨を述べたが右は豫て傳へられる不侵略條約締結交渉ではなく日滿蘇共同委員會設置に關するもので國境における紛爭の發生せる場合局地的折衝を以つて事態の擴大を防止せんとするものであると

佛國文相後任

【パリ十七日發國通】去る十四日閣議中急逝せる前文相フイリップ・マルコム氏の後任人事異動は十七日左の如く決定した

海事相 マリオルスタン 任文相

ウイリアムベルトラン 任海事相

北支問題の前途 豫斷を許さず

英外相下院で說明

【ロンドン十七日發國通】十七日午後開會された英國下院において劈頭新外相ホーア氏は英政府の對北支方針につき長文の聲明を發表就中北支の新情勢について左の如く言及した

最近二週間北支における情勢は險惡を告げ事態憂慮すべきものあり政府は東京および南京駐剳各大使より情報を徵し各大使を通じ日支兩國政府と接近、眞相の把握に努力し情勢の推移を注視中である、いづれにせよ現在のところでは情報區々で歸するところを知らず、然も情報は刻々變化するものと思ふから成行きについて早急な豫斷を許さない現地にある日本軍當局は塘沽停戰協定の違反、停戰地區內反日行爲の廉を以て責任者に抗議を提出し、支那地方當局は日本側の要求を容れ、その對策を講じてゐるものと見られる、しかし問題はなほ今後とも現地日支代表者間の折衝に俟つものと見ねばならぬ

宋に誠意なくば 斷乎たる措置を……

板垣參謀副長語る

【新京十八日發國通】拂曉に及んだ重要會議後板垣參謀副長は語る

本夜の會議は松井中佐の報告を聽取し之に基いて宋哲元問題の對策を協議した此の外酒井、儀我大佐からも北支那問題其後の現地情勢を聽いた宋哲元の抗日意識に基く各種不法行爲、殊に度重なる滿洲國領土侵犯事件に至つては軍として到底看過し難いところで充分に彼の責任を問ふ積りである、而して彼にして誠意の認むべきものなきに於ては軍としては或は斷乎何等かの措置に出づるやも計られずこの問題については現地において土肥原少將及び松井中佐が直接宋哲元と充分談判するであらう、宋哲元の問題は北支問題とは別個の問題であるから今後とも責任者たる宋哲元を相手に交渉を進める積りである

北支問題の對策 英米間で打合せ

英大使・米長官代理懇談

【ワシントン十七日發國通】ワシントン駐剳英國大使リンゼー氏は十五日國務省を訪問北支の情勢につきフイリップス長官代理と協議を遂げたが更に十七日再びフイリップス長官代理を訪問して北支の時局につき情報を交換對策につき重要打合せを遂げた、右に關し國務省當局は特に次の諸點を強調してゐる

一、英國大使とフイリップス長官代理との會談は非公式で主として現實の情勢に關する情報の交換の範圍を出でない

一、從つて會談の結果明確な外交的處置を決定するに至らない

米との提携を中心に 英極東政策の再檢討

マック樞相を華府に派遣の計畫

【東京特電十八日發】ロンドン來電によればホーア外相は十七日下院において外交方針を聲明したが右聲明中に、從來の極東政策を再檢討すべき必要ありとし、その政策に於いてアメリカとの提携に重點を置いてゐることは注目を要するところで首相、外相は或特殊の目的を以てマクドナルド樞相をワシントンに派遣せん事を計畫して居り、マクドナルド樞相は今後移動大使として英國の高等外交を擔任するものと期待されてゐる

尚英國は海軍軍縮會議にドイツを參加せしめ曩の日、英、米三國海軍會議におけるマクドナルド前首相の折衷案、即ち締約國は其の建艦案の內容に關し締約國に通告する義務を有する事とし斯くて日本には理論上のみ均等量を與へるも實際上には比率主義を押付けんとする老猾な戰法に出でて來るべき海軍會議の活路を求めんとするものゝ如し

秘境內蒙古 (二)

◆…蒙古人は墓を持つてゐない、死ねば高原の草の上に捨てられるのである、蒙古を旅行して若し墓を見たならば、滿人かロシア人の墓であると思へばいゝ。

◆…夕陽丘に沈めば餘暉僅かに西の空を染めて、大草原は將に暮れなんとする、加ふるに今宵は嵐か……雨か……雷雲大空にむらがり擴がつて、手をのばせばとゞかんばかりに低く垂れ籠める。

◆…その密雲の下に見る十字の墓標が、うすら寒げに淋しく立つてゐる、この風景……ドイツ風象徵派の名畫を見る感じではないか……。

◆…寫眞は達賴諾爾湖の近くにて撮影したものであるが恐らくはロシア人漁夫の墓標であらう。

寫眞 山口晴康
文 島田一男

蛇角

◇氣壓配置面白からず、北支の天候不穩なり、されど雨か風か、それとも曇か、俄に豫斷し難し。

◇これが問題の英外相の重大聲明とやら、賴ないこと、何處やらの天氣豫報によく似て居る。

◇日本の豫想は、明らかに曇後晴である、風よ吹け吹け、暗雲忽ち晴れるであらう。

◇目標は于學忠、宋哲元、何應欽などの浮雲ではない、背後の山姿の禿鷲を窺ふのみ。

◇昨今、現職警官の暴行沙汰頻々と傳はる、而も被害者の多くは泣き寢入りとなる者が多い。

◇人民保護の名はいづれに浮流するか、關係當局の自戒を望む。

往來(十八日)

汽車【到着】▲(午前八時)忠清南道警察官視察團十一名(代表武藤警部)▲高木二郎氏(ドイツ・ユンケルス日本總代理店營業部長)同上ヤマトホテルへ▲(同八時四十分)中里龍氏(關東地方法院長▲福榮眞平中佐(關東軍交通監督部々員)雲水ホテルへ【出發】▲(午前九時あじあ)大內成美氏(大連市會議長)哈爾濱へ▲白井喜一氏(奉天鐵道事務所長)▲岡村金藏氏(滿洲電業取締役新京電業局長)▲市原善積氏(滿鐵々道部技師)新京へ▲西尾茂氏(同上)同上▲(正午はと)池田武大佐(關東軍司令部囑託)撫順へ

船【出港】▲金子隆三氏(大藏省預金部長)▲傷病兵相原一等計手外八十二名

社説

全支排日解消の機

河北問題に次で察哈爾問題が起つたが、何れも問題そのものは局地的性質を帯びるものである。併しながら單に此問題だけの解決では、日支國交の建て直しには役立たないといふ見地から、日支國交の全面に渉る問題として解決せねばならぬと考へらるゝに至つた。これは固より當然なことで、誰しも始めから左樣に考へることであるが、當初之を露骨に云ひ出す者のなかつたのは、問題を餘り大きくしては却つてよくなからうとの遠慮心があつたからだ。然るに今日では、日本方面にては全面的問題として之れが解決法を講じなくてはならぬと主張する者が出て來た。軍部方面にてその主張が多く且つ早かつたが、外務省でもその他でも此主張を唱へらるゝに至つた。而して之れは必ずしも日本方面ばかりでなく、支那側でも同樣の考へ方に向いて來たことゝ思ふ。恐らく蔣、汪、黄、何の諸氏の如き日本の實情を多く知る政治家は、その對日政策を全面的に改更するにあらざれば、到底日支間の本然的關係を樹立することの困難であり隨つて支那それ自身の建て直しも困難であることを覺つたであらう。

◇

全面的解決とは全支に渉る排日政策、排日教育を絶滅し國民全體の排日感を拂拭せしむべく、支那官憲が努力することである。曩に蔣氏が對日親交の告示を出したが、それを表面だけの事にして、内密には尚排日的政策を續けるといふやうなことでは、到底兩國の國交建て直しの目的は達し得られないことを心密かに覺つたであらう。併しながら、惰性があり情實があつて、その確實な實現を示す能はざる間は、日本側としては手を緩めずして押し詰め／＼して行かねばならぬ。

◇

元來日本の從來の對支外交は支那の實情並びに當局者の窮狀に同情する餘りに、我主張を通すことに遠慮勝ちだつた。その爲めに交渉事件が山積して毫も解決を見なかつた。その中に日本の實情並びに眞意を知らざる人達が、對日輕侮の念を生じ、多數國民に侮日心を吹き込み、その排日感を煽揚した。それが奏効して侮日排日が國民多數に擴充さるゝに及んで、斯る一派が政權を操ることにもなり、國策としての排日が行はれた。

◇

之れに對する我政府も國民も彼國内部の混沌たる情勢を知るが故に、努めて寛容し同情して嚴格な對策を執らず、機を見て是正を圖らんとしたのである。併しながら斯る時代に於て支那側が自覺せずして更に侮日排日を強調するならば、その結果の必ず宜しからざるべきは、吾人の屢々指摘した所であつた。然るに張學良之れを覺らずして滿洲問題を起し、南京政府之を覺らずして先の北支問題を起した。

◇

此の北支問題發生の時に、南京政府が徹底的に自覺して翻然對日政策を改更すべき筈であつたが、不幸にしてそれを覺らなかつた。その爲めに今回の河北事件が起り、察哈爾事件が起つた。之れによつて見れば、河北事件、察哈爾事件は、その外形に於て地方問題であるも、その眞因は支那全面に吹き込まれた侮日排日感にあるを知る。隨つて之れを日支間の全面的問題と認識し、その眞因たる排日侮日を全支の全方面に渉りて絶滅する事が兩國の國交建て直しのためには是非共必要であることが分る。

◇

日本が從來遠慮勝ちであつたのに、今回の河北問題、察哈爾問題を機として、その問題の單純な解決に止らず、日支關係の全面的改善を企圖せねばならぬと主張するものが出るのも自然の成行きである。思ふに從來の如く、徒らに事件の擴大を恐るゝといふだけでその眞因に觸るゝを避けてゐては、日支關係の建直しは何時出來るか分らない。吾人は我國にても一日乘り出した以上は、之れを機としてその眞因を衝きて根本的改善に進む可く、支那側にありてもその自覺の下に、根本的に日支兩國關係の改善に鋭意努力せんことを望まざるを得ない。之れ蓋し東洋平和の爲めに、日支兩國民の永久の幸福の爲めに、避くべからざる成行きであらう。

日滿經濟統制委員會 七月中に實現を見ん

來る七月三日樞府本會議可決か

【東京十八日發國通】日滿經濟統制委員會設置に關する協定の御諮詢奏請の件は十八日の閣議において可決、即日樞府に御諮詢奏請の手續きを執つたが樞府の審議は大體二週間を以て終了の見込みであるから七月三日の樞府定例本會議において可決される見込みである 依つて廣田外相は右協定案の御下渡しを俟つて直に南大使に訓電を發し張國務總理との間に正式調印を行はしめ、即日委員會を設置する方針であるが日滿經濟ブロックを強化し日滿相互の經濟依存關係を根本的に規定すべき委員會の設定は七月中に實現を見る筈である

謝駐日大使の特任式はけふ擧行

川崎宣化司長は參事官に

【新京電話】滿洲國政府では駐日大使館設置に伴ふ日本國駐在外交官官制改正に關する件並に駐日大使館初代大使任命の件を既報の如く十八日參議府の諮詢を經て十九日公布するが初代大使として赴日する參議府參議謝介石氏の特任式は十九日午前十時半宮内府において擧行されることゝなつた、右に伴ふ決定人事は左の如くであるが川崎宣化司長の後任は當分神吉政務司長の兼務となる豫定

參議府參議　謝介石
特任駐劄日本國特命全權大使

外交部宣化司長　川崎寅雄
轉任駐劄日本國大使館參事官
敍簡任二等

任外交部理事官　原武

外交部理事官　田中正一
轉任駐劄日本國大使館一等秘書官

外交部理事官　葉堯公
轉任駐劄日本國大使館一等秘書官

任外交部理事官　際彪

外交部翻譯官　俞曉嵐
轉任駐劄日本國大使館三等秘書官

なほ謝大使一行は二十四日午前十時あじあにて離京大連に一泊の後二十五日熱河丸にて赴任の筈

憲法制度調査委員に長岡廳長を任命

【新京電話】憲法制度調査委員に關する任免は左の如く十九日發令を見ることゝなつた

憲法制度調査委員　鄭孝胥

憲法制度調査委員を免ず　遠藤柳作
　　　　　　　　　　　　阪谷希一

國務院總務廳長　長岡隆一郎
憲法制度調査委員に親補す

なほ長岡隆一郎氏の特任式は十九日午前十時半より擧行する筈

入京した兩大佐　十七日午後五時半あじあで入京した關東軍幕僚會議に參列のため儀我（右）酒井兩大佐（新京驛にて）

外交工作を進めて國防費減少を圖れ

内審總會で　高橋藏相說く

【東京特電十八日發】高橋藏相は十七日午後の内閣審議會總會で左の如く述べて注目を惹いた

滿洲國の國防費につき滿洲國が擔保附公債を發行して支辨すれば日本の財政難も餘程緩和されるとの意見もあるが、日本軍隊の建て前から見てこの問題は外交工作で解決すべきものと思ふ又現在滿洲國の軍備は對内的と對外的の兩者に分れ、前者は匪賊討伐の進行につれて漸次常態に復するものと思はれるから問題は後者にある、ロシアは滿洲事變以來日本の態度に疑念を抱き國境軍備を充實してゐるが、我が外交工作によりその無意味なることを感知すれば漸次軍隊を國境から引揚げるであらう、日ソ間に直ちに不侵略條約を締結することは困難かも知れぬが現在の國際情勢がこのまゝ持續すれば國防費も嵩む一方で、財政的見地から不都合を來すから追々と外交工作を進めて緩和することに努めたいと思ふ

兎も角高橋藏相が外交第一主義を強調してゐるのは、國防費に對する牽制とも見られ、内閣審議會の動向を示唆するものとして注目に値する

特別委員會は週末迄に開會

内審への政府諮問第一號審議　九月中には完了か

【東京十八日發國通】内閣審議會では十七日の第二回總會に於て政府諮問第一號に關し審議の範圍並に方法については特別委員會を設置して調査せしめ之を第三回總會に附議して愈々重要國策審議の本舞臺に入ることゝなつたが特別委員會は遲くも今週末には開會原案を可及的速かに調整を了し來週中頃開會の第三回總會に間に合はす意向であるが先づ恒久的財政々策につき審議する事となるべく地方財政調整農村更生の問題が第一に取上げられる事とならう

かくて審議會は地方財政問題に對する資料を整備し調査局では内務、農林兩省と聯絡をとりつゝ對策樹立の諸工作に全力を傾注、九月中には總會を開會して問題の具體化を圖り明年度豫算編成に間に合ふやう答申をなす事とならう

内審特別委員　昨日發表さる

【東京十八日發國通】吉田調査局長官は十八日午前内審の正副會長たる岡田、高橋兩相と會見し特別委員指名につき諒解を得て左の如く發表した

安達謙藏、馬場鍈一、水野錬太郎、川崎卓吉、秋田淸

新帝展總會

十七日やつと終了

【東京十八日發國通】難航四日間揉めに揉め拔いた新帝展總會は十七日遂に終つたがその結果第一部は參與十名、指定二十六名、第二部、第三部は參與六名、指定十八名、第四部は參與三名指定十名 その他無鑑査級の人選を決定、二部（洋畫）の人選は來年に持越すことゝなつた、展覽會開催期は明春早々の總會において決めることになつたが、大凡二月頃の見込みである

旅順繁榮策

當局に極力運動　州廳移轉阻止斷念　市會協議會で決定

【旅順】州廳移轉に關し旅順商工協會は去る十五日、旅順振興會は十六日飽まで移轉反對續行を申合せ、米岡市長に通告したが市會協議會は十七日午後二時より米岡市長、村上議長、高山助役その他市會議員參集、市會議室において三時間の長きに亘つて協議を重ね結局左の如き決定を見た

旅順市會としては州廳移轉問題の發生した當初より南大使、關東局等に向つて種々陳情して來たが、その趣旨は州廳移轉には反對なるも、事情已むを得ざる時はこれに代るべき旅順繁榮策について考慮されたしといふにあつた、爾來市首腦部が各方面との折衝によつて得た結論は州廳移轉不可避の一語に盡きる、從つて市會の運動は當然第二の段階に立ち至つたもので、旅順繁榮策の具體案を練つて、これが實現を當局に極力要請し責任ある確答を得るまで猛運動を續行する

而して更に二十日各機關代表聯合會の席上、市當局より傳達し強硬なる移轉阻止方針の轉向を極力勸說する方針であるが、旅順全市民が協力一致して市の方針に從ふか否かに今後の問題が懸つてゐるが漸次冷靜に歸る市民により此の方針が支持されんとする形勢にある

于上將着任

【奉天電話】這般の内閣異動に伴ふ一部軍管區司令官の異動に依り第一軍管區司令官に補せられた前第四軍管區司令官于琛徵上將は十八日午後一時三十八分着あじあで晴れの着任をなしたが、軍管區司令部を始め滿洲國諸官廳の代表多數驛頭に出迎へた

因に于新司令官は吉林省双陽縣の人、字は陰舟、陸軍速成學校の出身で舊政權時代吉林第十六師長を勤め一時下野したが昭和六年滿洲建國運動起るや之に參畫後吉林剿匪司令官兼北滿鐵路護路軍司令官となり、昨年七月國軍の改編と共に上將に昇進、哈爾濱第四軍管區司令官として今日に至つた人で、本年五十七歲の働き盛り、夫人はロシア人である

于上將の談　商埠地三經路凱寧ホテルに入つた于上將は語る

淺學菲才の本職が當地司令官に任命されたことは恐縮に堪へない、各方面の援助で前任地で大過なく任務を果して感謝してゐるが奉天においても各機關官民の援助によつて同樣無事大任を果せるやう希望致します

總局西川工務處長一行赴羅

【羅津特電十八日發】總局西川工務處長、建設局田邊次長一行五名は北鮮の培養線たる圖寧線視察の歸途十八日午前九時來羅し新興羅津の建設狀況を審に視察した、西川工務處長は語る

假營業中の圖寧線が愈よ七月一日から本營業を開始するに當り建設局から總局に本線を引繼ぐ下調べを双方立會つて精査したが、本營業開始に際し萬遺憾なく建設されてあつた

滿洲里會議

蒙古側の非妥協的態度に　何等進展を見せず

【滿洲里特電十七日發】第六次滿洲里會議は十七日午後一時より開會、外蒙代表はトクトム氏病氣のため缺席、サンボ、ダンバ兩氏出席、劈頭滿洲側代表は從來の所論を文書でまとめ提出するから受理してくれと述べたところ、外蒙側は頑る非妥協的態度を示し、會議の本論に入らぬ以上、これを受理する事は出來ぬと述べた、次に會議の範圍に關する問題に關し兩代表間に活潑な應酬があつたが、外蒙側は飽まで從來の主張を枉げず結局會議は何等の進展も見ず午後三時終つた、第七次會議は十九日以後に行はれる筈である、なほ最近外蒙代表には疲勞の色が看取され、毎會議ごとに病氣のため缺席者あり會議の進捗を妨げてゐるが不自由な列車生活が健康を損ねたものらしく會議進展の見透しつかぬ狀態にある

松平、武者小路兩大使賜暇歸朝

七月四日倫敦を出發

【東京十八日發國通】松平駐英大使は過般歐洲各地を巡歷しパリにて全歐洲大使會議に出席したが賜暇歸朝の武者小路駐獨大使と同道七月四日ロンドン發歸朝に決定した、兩大使はカナダ經由橫濱に入港の靖國丸で歸朝、直に廣田外相に歐洲新情勢並に軍縮に對する七ケ國の態度を報告の上軍縮對策、外交方針を重要協議する事となつた、なほ兩大使は三週間の豫定で滿洲國、支那を視察の上十月か十一月歸任の豫定である

八相

（投書歡迎　五十行以内）

馬鹿にしてる

◇外務省は何してるンだい、青島代々の總領事共の眼はどこについてるンだ、そこの副領事に六七年の間、二十萬圓からの多額な公金をクスネられ、やつと今になつて犯人自ら名乘つて出るまでボンヤリしてゐるとは何て態だい。

◇思つても見ろ、茂木の掠ひ込んだ金は國民からしぼり取つた血だぞ、俺達はもう外務省にやる多額の豫算はイヤだよ、世間にア五十八十の端た金で學校の校長さんが馘になつたり、警察官が赤い着物を着たりしてるぢあないか、こちとら仲間ぢや、百兩の金で首くくつて死んだ奴さへあるンだぞ。

◇貧しい中から一圓二圓と國防獻金してる國民の氣になつても見ろ、涙がこぼれらア、腰拔けが多い癖に平常はイバリくさつていざ鎌倉つて時に腰のある奴があつたかい、滿洲事變の時はどうだつた？南京事件の領事はどうだ、又先日の南京領事館の雲隱れはどうだい、今度の茂木はどうだ？。

◇外務省の豫算は半分に減らすンだ、そうすりアちつと金のありがたさが分つて、大孔の明く迄ボンヤリはしてゐられまいから。（憂國生）

共同墓地

◇奉天の商埠地にある日本居留民共同墓地の現狀は實に寒心に耐へない、此の墓地に眠る人々は東北政權當時からあらゆる壓迫に抗して苦心慘憺我々同胞の權益擁護に奮鬪した人々で有形無形の功績に對して後輩として充分の敬意を拂ふべきである。

◇然るに今は墓參の人影、供花、線香の跡全く稀で、周圍の鐵線は破れて人犬の出入に委し、物貰滿人の橫斷は申すに及ばず、滿人の便所と化するに至つては誠に悲憤の至り、子弟教育上に及ぼす惡影響亦恐るべきものあらん、茲に同胞諸氏並に當事者の奮起を乞ひ少くとも日本人の墓地らしい境域たらしめられん事を切望する。（奉天一市民）

滿鐵總會準備整ふ

在京重役會議

【東京特電十七日發】滿鐵では十七日午前九時半狸穴社宅に林、八田正副總裁以下在京各理事參集、重役會議を開き、二十日の總會に對する最後の打合せをなしたが、特に今回は滿鐵今後の資金、計畫配當並に改組問題等の重要質問が豫想されるので、これ等の答辯打合せその他萬端の總會準備を行つたが、更に十八日正午より社宅に臨時重役會を開き九年度決算並に總會附議事項の諒解を求むることゝなつた

株主會意見書提出

【東京特電十七日發】滿鐵株主會幹事並に評議員は十八日午後三時狸穴社宅に林、八田正副總裁を訪ひ過般株主會で決定した數箇條よりなる意見書を提出し、これが實行を要望することゝなつた

英獨海軍專門家會議

【ロンドン十七日發國通】英獨海軍專門家會議は十七日午後開かれる筈の兩國代表全體會議に先だち同午前十時三十分より英國海軍省において開かれたが、兩國代表は今週中に會議を終了することを希望してゐる

英政府覺書に佛政府の見解

英大使へ傳達

【パリ十七日發國通】ラヴアル佛首相は十七日駐佛英國大使クラーク氏の來訪を求め、英獨海軍會談に關する政府の見解を正式に傳達すると共に十二日附英政府の英獨會談經過通告書に對する回答を手交し本國政府へ傳達方を要請した

伊政府の回答

【ローマ十七日發國通】去る六月七日英獨海軍會談に關する英政府の覺書に對し伊政府は佛政府と同樣十七日その回答を發した、内容左の如し

伊政府は獨政府の海軍問題に關する提案を他の海軍問題と別に檢討することは出來ぬ、華府條約以來の諸海軍條約に照合して研究すべきものであると思惟する、然し乍ら伊政府は獨政府の要求に關して開かるべき如何なる會議にも參加する用意がある

田中理財司長東上

【新京電話】田中財政部理財司長は三週間の豫定にて日本に出張のため十八日午前七時發ひかりで朝鮮經由東上したが、今回の目的は今秋初め行はれる北鐵買收公債の第二回募集に關する日本シンジケート銀行團との交渉並に伊藤駐日財務官との事務打合せであり旁々滿洲金融諸問題に關し日本大藏省對滿事務局並に金融團體等と隔意なき意見の交換を行ふものとして注目されてゐる

行政視察團歸任

【安東電話】奉天、安東、錦州、吉林、間島各省下縣長、參事官一行十一名の關東州及び朝鮮行政視察團は二週間の日程を終へて十八日午前十一時過安奉線で歸任した

東京小賣物價

【東京十七日發國通】東京小賣物價指數は前月より八厘低落の一四八・三である

大奉天の眞ン中に〃埋藏〃された財寶
大會戰の當時露軍が隱匿 大金庫發掘を出願
露軍參謀の記録にも載る

【奉天】埋藏金の傳説をたどつて黄金の夢を追ふ人々は古今東西に亘つて幾多の悲喜劇を殘してゐるが大奉天の眞ン中から金銀財寶在中の金庫を掘り出さうと大連に居住する西浦某氏の代理人として有川辯護士から領事館を通じて發掘願が滿洲國監督當局に提出され、〃金銀狂〃時代の渦中にセンセイショナルなトピックを提供してゐる（別圖は問題の埋藏箇所と傳へられるもの）

北市場　西塔　小西邊門　奉天郵政管理局　三經路　現米國總領事館

話は三十年前の奉天大會戰當時に遡る——脆くも一敗地にまみれたロシア軍が保管してゐた

軍資金在中 の金庫を數箇、現在の小西邊門外から西塔に至る間に隱匿して退却した、戰後ロシア人も數名來奉して、その所在を捜索したことがありその後滿洲事變の際大遼河のあたりで匪彈のため斃れた安達大人も西塔一帶の土地を發掘したが遂に發見されず、以來單なる傳説に過ぎぬものとして世人の記憶から抹消されてしまつたが、西塔に永らく居住してゐた西浦某氏が小西邊門外郵政管理局附近に件の金庫が三個、埋藏されてゐることを嗅ぎつけ今回の

發掘願提出 となつたものである、右につき奉天琴平町に代理出願人有川辯護士を訪ねると朗かに語る

出願したことは事實です、自分は知らぬが西浦氏は所在を確信してゐるやうです、金庫の大きさは縱四尺、横五尺位のものが一個で他は小さいものだらうです、從來發掘を試みた人も澤山あつたやうでしたが正式に發掘願を出した西浦氏が最初の發見者となるでせう

願書は最初 市政公署に

一方直接監督官廳たる省公署實業廳に升巴總務科長を訪へば語る

提出されたのですが市政公署では採決がつかず當方に回附されたものです、併し鑛脈等に關するものなら本廳で取扱つてもよいが、物が物なので民政廳で取扱ふことになつてゐますが同廳でも採決に苦しみ目下中央部に申請中のやうに聞いてゐます、事實そんなものが埋つてゐるかどうか、併し實際に見たやうなことを言つてゐるものですから………

問題の埋藏を傳へられてゐる小西邊門外から西塔に至る

地域の昔を 知つてゐる

奉天居留民會の吹野氏は語る

それは何かロシアの參謀の記録にも載つてゐるとかで屢々發掘を試みる人があつたやうですが皆失敗のやうでした、昔あの邊一帶は今の北市場にある皇寺の境内になつてをり二緯路の米國總領事館の近くに當時のロシア領事館があつて地理的にはさうしたこともあり得る恰好の地であつたと言へるでせう

吉林大平原に〃樂土の捨石〃として 開拓の第一鋤
家族を殺害、放火され雄圖挫折 模範農村出現せん

【吉林】事變以來、我對滿移民事業の興隆と共に吉林省は滿洲の農業地帯として重要視され、特に、京圖線は全滿唯一の水田地帯として、あらゆる好條件を具備して居るので邦農移民にも最適地だといふので注目されてゐるが、其の農業移民としてのトップを切つたのは石川縣出身の一青年道下才一君であつた——

昭和七年初春、年齒僅かに廿二歳の身を以て滿蒙開拓の意氣に燃え

妻女を 初め一家四人を率ゐて敦化に程近い黄泥河に二十八町歩の土地を商租し、輝かしき開拓の第一鋤を下したのだつた、見はるかす曠原に訪れるものは匪賊の群と物凄い銃聲、訴へるやうな猛犬の吠える響きのみ、而も明日への希望に生きる道下君の意思は強かつた、あしたに曉雲を眺め夕に星を頂くまで開墾に努め幾度かの匪襲にも撓まず農耕にいそしみつゝあつた、大同元年十月、東部滿洲には早くも降雪しきりに酷寒骨を刺す嚴冬が訪れたころ二十餘名の匪賊團に襲はれ、よき伴侶であつた妻女をはじめ同居人を慘殺され

家財を 強奪された上に放火され遂に雄圖は挫折するの他なかつた、世人は武裝なき個人が匪賊地帯に居住して農耕するの無謀さを嘲笑した、だが道下君の努力は豐倉地帯の開拓に尊い捨石となつたものである、同年十一月、拓務省は此の沿線に大量移民を計畫し一ヶ月間に亘つて移民適地の調査を行ひ更に大同二年九月中旬には農耕適地の再調査を行ひ新站地區を始め才雅河地區、黄泥河子地區等を候補地と決定した、併し山岳重疊、千古斧鉞の入らざる密林鬱蒼として匪賊の出沒間斷なき有樣なので容易に移民を入植し得ず治安確保を待つことゝなり

今日に 及んだ、この間鮮農は早くも間島方面から或は南滿方面から續々居住し建國三年の今日、既にその大半を耕作してゐる狀態で同沿線は殆と自由移民に占められ邦人の若干は最も有望なる地部の買收しつゝあり茲數年内には滿洲唯一の模範農村として偉大な發展を遂げるものと期待されるに至つた

隨一の移民地帶 洋々たる京圖沿線

而して今後の移民は如何なる方面に進出すべきか——廣汎に亘る東部吉林の大平原は

開拓の 餘地なほ多數にある、參考までに京圖沿線における各縣の作付並びに既耕面積を示せば左の如し

▲永吉縣總面積二、九二九、六五二、熟地四二九、一二六、荒地七五、二二二、其の他二、四二三、二〇四、昭和九年度作付地及び廢耕地、作付地四二七、一七六、回復地一五〇、新墾地三〇〇、廢耕地一五〇〇

▲額穆縣總面積八五五、〇〇〇、熟地七一、〇〇〇、荒地七八四〇〇〇、その他七〇五、六〇〇〇、九年度作付地四二、五七〇、回復地一、〇四〇、廢耕地二七、三八六

▲敦化縣總面積一、一五一、二八〇、熟地七四、六〇〇、荒地五八七四三〇、その他四八九、二五〇、九年度作付四二、五二二、廢耕地二二、〇七八

右の數字上から見ると沿線各縣共

莫大な 未墾地を有し開拓を待つてゐるわけで右の内特に移民の最適地は先づ敦化新站蛟河一帶であらう、中にも蛟河附近は最も水田農業移住地として河川が縱横に流れ其れが比較的急なる勾配をなして居るから水田に引水が容易である、四週は崗と山があるが所謂蛟河平野をなして東西南北に足を延ばした樣な水流と水田耕作地が廣く尚地味肥沃である、土地は旱害が少く水害がない、地價が比較的安價で現に水田にて小作料三割内外の利廻りを有し交通便利である、農産、鑛産、林産が豐富である、水田耕作に巧な鮮人自由移民が多い

附近農林産生産豫想籾五萬石、大豆二萬五千石、木材五萬噸、石炭十五萬噸、葉煙草十萬斤、大豆五萬石、木材五萬噸、石炭五十萬噸、葉煙若二十萬斤

其の他 藥材、畜産等豐富と言ふ實に好條件に惠まれてゐるから第一の移住農民は先づこの地に鍬を下すべきであらう、これで進出方向は略々明記したが次に如何なる方針を採るべきかに就いて經驗者の談に依ると邦人移民は最低二十町歩の水田地主たることである、右の二十町歩を全部小作となし一町歩より小作料籾六石を得、一石十圓として一年に一千二百圓の收入が有る、これを若し自ら指導の意味で三町歩を自作すると籾六十石を得純益四百圓を收得することが出來る（以上は自由移民）併し團體移民の場合は多少これと相違することは言ふ迄もない何れにせよ京圖沿線は地味豐饒河川の

清流に 富み山水の絶景なると共に全滿唯一の移民地帶として既に近くは某機關において極秘裡に此の地を補助移民の指定地に決定し、目下着々準備中の模樣で京圖沿線の前途は洋々たるものである

日滿經濟關係者 情報交換に會合

【チチハル】在齊日滿經濟關係諸機關では緊密なる聯繫を執つて情報蒐集にあたり、チチハル經濟界の向上發展に資すべく、毎週水曜日に龍江省實業廳に會合することゝなつたが、參加機關は實業廳、市政局、總商會、鐵路局、中央銀行等である

田植も朗らか 惠雨來る！

見渡す限り青々と繁つた水田も、つい一箇月前までは旱魃續きに水爭ひから雨乞ひとまで大騷ぎを演じたが、梅雨季を前に珍しい昨今の降雨續きと豐富になつた渾河の水流に鮮農もホツと一息、田植ゑも朗かにモダン鮮農は卷煙草で一寸一ぷくの態（寫眞）

洗濯を樂しむ

【安東】十五、六兩日の雨に水量增した鴨綠江岸には夏陽の直射が桃色のパラソルにさえぎられてさまよふ、パラソル翳して滿洲女は江岸で半日を働きつ遊びつ斯うして過ごす（寫眞は夏陽をさへぎるパラソルの陰でせんたくする江岸の滿洲女）

國都市政整備に 臨時豫算復活を要求
せめて半分の百萬圓でもと 國庫補助殆ど全滅

【新京十八日發國通】新京特別市康德二年度（六ヶ月分）豫算は經常部は昨年の赤字編成を改めて歳出入のバランスをとつた健全編成を目標にし臨時部事業費も一地方都市から首都に早變りした爲に起つた所謂帝都の體容整備に主點を要するものゝみに止めたが、併し財政難の折柄主計處では臨時部豫算に大削減を加へた、即ち一般會計にたては經常歳出入共市提出の四十七萬七千四百餘圓が承認されたが臨時部に於ける市提出の三百四十五萬五千六百餘圓中國庫補助要求の記念公會堂、市立病院、小學校、土木建設費が大削除を蒙り市政豫算に大異常を來したが帝都市政を一日も速かに整備する上に最も緊急を要し且最も取殘されてゐる社會公共施設殊に小學校建設病院建設土木建設公會堂建設等必要に迫られた各事業に對する國庫補助の削減丈けに市當局では之が復活を切に希望し民政部並に主計處當局に夫々猛烈に復活要求を開始したが事業豫算として主なるものは

一、土木費八十三萬圓（國庫補助要求四十七萬圓削減）
一、市立病院建設費七十六萬圓（國庫補助費要求四萬圓削減）
一、小學校建設費三十萬圓（國庫補助費要求三十萬圓削減）
一、記念公會堂建設費二十五萬圓（國庫補助費要求二十五萬圓削減）

で國庫補助金要求は全滅の形で市政上大支障を來す爲め少くとも右の半額百萬圓の復活實現を期してゐる、尚この他事業費の主なるものは市營バスの分離新會社創建費十二萬圓、興運路大經路街路照明費二萬二千圓、基本財産造成費二萬七千圓、門牌設置、人口調査、撒水車增設費一萬圓等がある

吉林名物〃缸窰の壺〃
復興を省當局で研究

【吉林】過去三百年來の歴史を有して吉林省唯一の名物たる吉林省舒蘭縣缸窰の壺は事變以來匪賊の妨害に依り漸次業績不振に陷り遂に昨年頃全く沈衰狀態に陷つたので省當局では何等かの工夫を凝らして之を復興せしむべく過般來實地調査の上諸種の具體案を研究中であつたが其の後研究の結果として左の二點が今後の復興上に重大なる研究事項たる事を發見された其の一は燃料である、過去燃料は柴を使用して居たが此の柴は永續性のものではないので之を石炭に轉向すべく過般同地附近の滿鐵所有の炭礦を研究の結果火力がない上に窰製造上に餘り適しない事が發見され又其の二として土質が果して適するか否か問題となり、目下當局では之が二點の研究を急いで居る

談天說心
生水飲む可らず
滿鐵安東保健所主任技師 小池謙三氏

◆…傳染病の期節に入るが其の豫防には生水を飲まないといふ事が第一である、私の所では病氣に罹らない樣にいろ〳〵注意するので罹つたのを癒やすのは病院の方の仕事だからやり方も少し違つて來るかも知れないが人の健康である事は病氣に罹る前の注意が一番大切だ

◆…其處で日本人特に内地で生れた人は生水を飲む習慣がついて居り從來むしろそれが獎勵されさへして來た、滿洲は事情が違ふといふ事を皆さんにハツキリ知つて頂きたいのだ、滿洲の水は「まだ惡い！」と云はねばならないので絶對に生では飲まぬといふ事にしてほしい

◆…生で飲んでいゝ樣になれば私達の方から飲んでよろしいと申上るからどんなに注意しても傳染病が傳播し易い樣になつて居るのだから、それから野菜果物類も消毒する事を原則としてもらひたい見た處きれいでも汚い水で洗つたりしてある場合が多いのだから安東の人々は最近餘程注意される樣になつて傳染病患者が尠くなつた樣だがまだ〳〵安全とは云へない

◆…せねばならぬ事は誰でも知つて居るのだが「衞生」といふ事になるとどうも日常の事であり平ら注意を怠り勝であるから氣の付いた小さいことを實行する樣主婦の方に御願ひしたいのだ、早い話がゴミ箱の蓋は「あけたらしめよ」といふを蠅の防止のために實行してもらつて居る、これさへ却々實行されないのだから公衆衞生といふ事にみんなが協力するといふ點ではまだ〳〵低い水準にあると云はねばならない

◆…折角産んだ子供をドシ〳〵殺す樣な云はば不注意な親達を見受けるが大抵之等は衞生的に不注意だからと思ふ、傳染病から人類を守るといふ意味からうんとみんな注意して頂きたいと思つて居る

團體往來（十七日）

▲東京都染支店招待團二九名 一四列車にて新京より來奉、八列車にて平壤へ
▲大阪旅好會鮮滿視察團二二名 三三列車にて大連より來奉
▲福井市鮮滿實業視察團三九名 奉撫往復四列車にて平壤へ
▲奉天中學生二七〇名 二〇列車にて金州へ
▲忠清南道警察官視察團一四名 同上大連へ
▲衆議院滿洲國派遣議員團一行一五名 新京より一列車で哈爾濱へ
▲縣立女子師範學校生徒一行二二名 新京より二〇一列車で吉林へ
▲哈爾濱特別區立第一女子中學校一行二〇名 新京より三列車で哈爾濱へ

小說 儒林外史（六六）

原作 吳敬梓　翻譯 瀨沼三郎　挿畫 河野久

蘧少年は魯家の女婿に迎へられてから、妻の美貌にすつかり心醉してゐたが、彼女が才女であることには少しも氣付かなかつた。

彼女は尋常の才女ではなかつた。魯編修公には息子がなかつたので公は彼女に男の子同樣の敎育を授けたからであつた。彼女は五六歳の頃から、家庭敎師について四書五經の手ほどきをうけた。十一二歳の頃には書を講じ、文章に專心した。公は彼女に先づ王守溪の文章を熟讀暗記させたばかりか、王守溪に請うて「破題、破承、起講、題比、中比」等八股文體の各篇を作らせた。

家庭敎師の敎育の仕方もまた極めて嚴格で、男の學童に臨むと同樣であつたが、彼女は資性優れ、記憶力もよく、王唐瞿薛始め諸大家の文や、歷次の進士の文章並に各省における舉人秀才の優秀なる答案など、三千餘篇を記憶してゐた。また彼女自身の文章も理論整然として、手に入つたもので、美麗な辭句に富んでゐた。

編修公は時折り獨り言のやうに「若し男子であつたなら幾十個の進士狀元（進士の最優秀者）の榮冠を獲得したであらう」と歎稱した。また閑暇のときなど彼女を捉へて

「八股體の文章を能くしたならばお前の意の如くにどんなものでも作ることが出來る。詩を求むれば詩を、賦を求むれば賦を、すべてが打てば響くそれのやうに容易に作り得る。若し八股文章の講究を缺いてゐたなら、お前が何を作らうとも、それは却て野狐禪邪道の文章に外ならない」

と語り聽かせた。

彼女は父のこの敎訓を聽いてからは、鏡臺の上にも、刺繡臺の傍らにも、文章に關する書籍が堆く積み重ねられ、その一卷一卷に朱筆を採つて圈點を打ち、註を書き添へ、それに沒頭してゐるといふ調子であつた。それで、人々から送つて來た詩詞歌賦などには全く目をくれなかつた。家にも千家詩とか解學士詩とか東坡小妹詩話などの詩集もあつたが、自分は手にもとらず、侍女の采蘋、雙紅などにそれを讀ませて、閑暇の折りに侍女達に詩を戲作させて打ち興じた。

彼女が今度迎へた夫は門閥の出であり、才貌もよく、眞に「才子佳人の好一對」であつた。彼女は「夫は學業も十二分に治め擧げてゐるのであるから、近く年少進士の榮冠を擔ふであらう」と、さうした期待に若い胸を躍らせてゐた。

結婚の當夜から十幾日も過ぎたのに、夫は彼女の部屋に積まれてゐる書籍に目をくれやうともしなかつた。

「きつと、自分の夫はこれらの書物を全部熟讀し盡し、その胸中に藏められてゐるのだらう」と彼女は心に思つたが、また「事によると、夫は新婚の暖かい夢から覺めずに歡笑を貪つてゐるので、書物を手に取らうとされぬのではあるまいか」と疑はずにはゐられなかつた。

それから又幾日か過ぎた或る夜、夫は宴會から歸宅すると袖口から一冊の詩集を取出し燈下に朗吟し彼女を呼び寄せ肩を並べてそれに讀み耽つた。彼女はその時も羞かしさを感じ、問ふのも好くないと思ひ小一時間も一緒に辛抱してそれを見てゐた。翌日彼女は耐へきれなくなつた。それから粧に就いて一枚の紅紙を取出し「身を修め而して後家を齊ふ」との題目を書き、侍女の采蘋を呼び

「お前これを旦那樣の處へ持つてゆき、一篇の文章をお作り下さるやうにとお賴みして來ておくれ」

と、書齋にゐる夫のところへ持たしてやつた。彼はそれを受取ると、

「私は斯樣な事は心得てゐない。それに此處に來てからまだひと月にも滿たず、二つの風雅のことをせねばならず、この樣な俗事は煩に堪へない」

と一笑に附して侍女を追ひ返した。そして彼は心の裡で自分の今言ふたことを極めて風趣あるものと思つたが、それが彼女の機嫌を損ねることには氣付かなかつた。

スポーツ

建國體操（第二操）紙上コーチ（二）

これは日滿聯合體操は勿論、各種體育大會等で行ふものであります

五、臂側上擧、胸後屈（兩臂側上擧胸後屈）

第一動―第二動　直立の儘臂を側より斜上後方に擧げ乍ら、掌を外に反へし胸を後に屈げる（直立兩臂由側斜上後擧同時掌向外反胸後屈）

第三動―第四動　體を起し直立の姿勢にかへる（兩臂還原）聯絡最後の（四）を輕く跳んで臂側擧開脚姿勢となる（於最後（第四）兩臂側擧輕跳成開脚姿勢）

六、體捻轉下屈……開脚臂側擧（體轉屈……兩臂側擧開脚）

第一動―第二動　左臂を後上方に引き、右手を左足先に接近させ（出來得れば左足につける）體を左下に捻轉する（左臂後上擧右臂左前斜下垂…右手觸於左足脊柱體左下轉）

第三動―第四動　元の姿勢（開脚臂側擧）に返す、右方に同樣の動作を行ふ（還原、兩臂側擧開脚、右於北作與前同）

優勝校として申分ない 均整の法政軍

六大學リーグ戰の總評（上）

伊丹安廣

二季振の復活のため昨年に比し遙かに活氣を呈し多くの熱戰をみた事は喜ばしかつた。

◆

昨年の優勝校法政は若林を失つたが、依然強く最後に早大と王座を爭ひ、遂に優勝した。早大の若原の好調と六大學中最も優れた打力によつて好成績を收め次位となり、期待された明大は早大に敗れて以來意氣揚らずして漸くAクラスの末席に止り、立敎は苦戰して最後に敗れ、慶大は投手力、打力に不振を極めて帝大に一勝したのみ、慶應以下の名手を失つた帝大は相當の打力を持ちながら投手力に惠まれずして、連敗を重ねたが最後に慶大に一勝した。

◆

法政は若林を失つたが伊藤、劉、鶴澤、田子よく奮闘して早大をやぶつて優勝の位置に立つた事は偉とせねばならぬ。久しく存在を忘れられてゐた伊藤の復歸は、劉、鶴澤の危機を救ひ、今春法政チームの好成績の一因をなしたが、投手力は決してチームの信賴を受ける域には達してゐない。大過なく運んだ裏には藤田捕手のよき女房役、中村、鶴岡、熊城の好守を見逃してはならない。華美にして過失なき鶴岡と、地味にして守備範圍の廣い中村の好守は鐵桶の如く我球界の生んだ最大プレイヤーであらう、攻撃陣をみれば戸倉、藤田、原口、鶴岡、秋山等の強打者を有し早大の一回戰及び二回戰の前半は、若原を痛打し驚くばかりの打力を示したが次第に衰へを見せた。然し各打者巧に適時安打を放ち原口、秋山などの殊勳者出でゝゲームを逆轉したこと兩三回、中にも原口主將の働きは素晴らしきものがあつた。相手のリードを後半に於て逆轉する反撥力は法政のゲーム巧者を如實に物語るものである。走壘に於ても取るべき時は必ず取り、止るべき時は無理をせずしてゲームを通して凡走の見られなかつた事は、藤田監督の指導宜しきを得た賜であらう。投手力に難はあるがよく均整のとれた好チームであつて、優勝チームとして申分なきものである。

◆

早大は劈頭の法政第一回戰を失つたほかは遺憾なく打力を發揮し連勝を重ね若原の好調と相俟つて遂に久しく實現出來なかつた王座を爭ふこととなつた。若原は法政の第一回戰に滅打されて敗れたがこの敗戰こそ彼にとつてスローボールの眞價を會得せしめたものであつた。今まで用ひた彼のスローボールはスピードに難があつて、反つて打者の好餌となつたが、この一戰に於てスローボールの運用法を知つた。制球に惠まれた彼はこの新しい武器を得て心ゆくばかり明、立の打者を翻弄し、六大學隨一の名投手となつたが、彼を輔佐する好投手なきため連投の重荷を負はし、同情に堪へぬものがある。内野の三壘遊撃手方面の守備に幾分の缺陷は見出せるが、若原の好投と揃つた攻撃力によつてこれを補ひ、竹谷より太田に至るまで當よく打つて、相手投手をして力をセーブする餘裕を與へない、特に高須の活躍は目覺しいものであつた。

◆

早大はリーグ戰には珍しきスクイズプレイを用ひてよく成功したが、投手力に優れた事を物語るものである。味方投手不振の時は到底この戰法は用ひられぬものである「萬年優勝候補」の稱ある早大は、今春こそ優勝を得る最も可能性のあるチームではあつたのだ。

◆

明大は最も期待されながらAクラスの最下位に甘んじなければならなかつた。その原因は吉田投手の不調がその一因であつた。昨年に比べて球速は加つたが、制球に缺けて四球によつて自滅し遂に一回の好投もみられなかつた。投球法を改めると同時に失はれた自信を付けることは肝要で、今一段の修行を積まなければならない。山脇投手は若原に次ぐ好投手であるが、球の配合に注意を要する。餘りに自己の武器を用ひ過ぎてピンチに球威を缺ぐ憾きがある。好投の日も味方の打力不振によつて、敗戰投手となつたが氣の毒であつた。田所は昨秋に變りなく重味ある球を以て相當の成績を收めたが投手守備の缺陷によつてピンチを招いてゐた。投手を補佐する宅井捕手は優れた打力の持主ではあるが、捕手に就て研究せねばならない。岡田監督をして豪語せしめた「百萬ドルの攻撃陣」も慶大、帝大の投手以外には猛打を振はず龍頭蛇尾に終つたが、現在の明大の打法は改められねばならぬ。打撃は單に腕力や偉大なる體軀の所有者が強打者ではなく緻密な頭腦の選手によつてなされる合理的な打法によつて始めて猛打を揮ひ得るものである「正球を前で打つ」これが打撃の鐵則であつて、岩本、坂田に適時安打少く、水澤、村上に好打がみられたのをみても明かである。優れた選手を多數持つ明大は一致協力秋の活躍が望ましい。

塚田・建部 三番將棋（第三局の八）

平手　先　九段 塚田正夫　五段 建部和歌夫

【圖は一七步迄の局面】

（持駒 塚田氏 桂歩）

△六一桂成　▲同金
△二七香　▲四四角
△八六龍　▲六五桂
△四八銀　▲一七角成
△二三香成　▲二六馬
△六六龍　▲四四馬

累計九十二手

講評　土居八段

△塚田君は二七香と打つて危險を拂ひ、右翼より攻勢を採れば。

▲建部君は今更成角を作つて居ては機會を逸する惧れあると思ひ、四四角と退却して玉頭を狙ふたのであらうも、以下敵に八六龍と退かれ豫防されて見ると戰鬪力が續かないから矢張り一七角成、二三香成、四四馬と指し、馬の威力を發揮する方が後と味がよい。

▲續いて二六馬は作戰の誤りで、直ちに四四馬と指し、大事な六六歩を保護する處である。

觀戰記　七段 荻原淳

◇二六馬の過失は甚大

塚田氏二七香と打つて次に二三香成の先手を狙へば建部氏七五桂打を含みに四四角と引いて決戰を狙ふ。

塚田氏二三香成は七五桂の決戰策があつて危險故、八六龍と自重して指切りを圖る。

建部氏は六五桂と極力肉薄の方針を立てれば塚田氏は反對に四八銀と極力防戰に出る。六六銀では七四桂と打たれて惡い。

建部氏の二六馬は敵に三七銀とさして手順に四四馬引を含んだのであるが、塚田氏の六六龍の强手に遭つてはこの貴重な手懸りを取られて棋勢を損じた樣である。

次に四四馬で四八馬は、同金、同龍、一五角で惡い。それで四四馬の已むなきに至つたが、これは大きな過失であつて、折角の力鬪が惜しまれる。

日本棋院 大手合戰譜【四十二局】

先　四段 小島春一　二段 高川格

制限時間各八時間（但し一分以内は切捨）

●九一りノ十八（3分）　○九四るノ　九（3分）
●九五ぬノ　十　○九八ぬノ　八（2分）
●九九ちノ十五（70分）　○一〇二へ十四
●一〇三ほ十五　黒五時三十八分

對局者の言葉（高川）

十一とハネて眼を取つたのは、九十六と單に九十八だと黒（ち十八）と眼を奪つて來られる惧れがあり、それから九十六では黒（ち十六）と當てゝ來られるのは後に（へ六）と引く狙ひが多分に含まれて居るのです、然し少し重かつたかも知れません、單に百に押して黒九十九に備へて居る意味もありました

（黒）その時は直ぐ（り七）と出て三目を取つて居る積りはなかつた

（白）黒九十九のハネ出しは、きびしい手でした

戰の跡

◇黒九十一とハネて白己の眼形に資し、敵のそれを奪取して居るところに、高川君の強味が認められる◇白九十二のツケは、黒九十一に對する淺きの手筋、兩々相讓らぬ手順の妙用、味ふべきである◇黒九十三は白の急所を抉つた辛辣なノゾキ、これで中の白にも攻めが加はつたが、黒九十五の引きに從つて白九十八と急遽ツギを施さなかつた用意の周到さは、白の感想に徹きて居る◇白九十八と三目惜しんだのは、三目それ自身に未練があるのではなく、後に（へ六）と引いて二十九以下の黒に狙ひを持つ意味なのだが、隱さず黒九十九のハネ出し、白百一のノビによつて、その策謀は看破される結果になつては、この白九十八のツギが重苦しかつたのではあるまいか、單に白百と押して打ちたかつた、諦の黒百一となつては九十二、九十六の白の二子切らば切れの放膽なる態度を示して白へ（へ六）の引きの狙ひが著しく薄弱なものになつてしまつて居る

滿日敗退聯珠（第二局 の二）

先番 初段 淺野政治
後手 四段 齋藤政吉
（淺野氏二人勝二人目）

對局者の感想

淺野初段曰く「前回白十さんに此の九珠で戰つてをりますので、又この九珠を打つことは何となく氣がさしましたが、自分で良い手だと信じてをりますので、敢て他に求める必要がないと思ひましたので、また斯うして打ちました」

齋藤四段曰く「前に此の九で白土君に勝つてをるので、淺野君その味が忘れられないと見えますね。それでは私の方で十珠を變則に出て見ませう」

解説　六段 川口直衞

黒の九珠までは前回白十君の時と寸分の變りのない同一珠形である。が、齋藤四段、淺野君が此の九珠を打つたのを見て「ほゝう、淺野君、何時も御の下に鰌は居ないよ。はゝゝ」と愉快に笑つたものだ。淺野君眼をパチクリさせて「いゝや、そんな意味ではありませんよ」と辯解すること頻。とても明らかな對局氣分ではある皆齋藤さんの打たれた白の十珠は？（説明は次に）

ラヂオ　十九日

新京百キロ（MTCY五六〇KC）（午後六時―同十時迄）

六・〇〇（東京）ニュース
六・二〇　政府公報（滿語）
六・三〇（哈爾濱）國民の時間「日滿兩大民族於協和的途徑」北滿特別區高等法院長程某

◆交通文化の夕◆

七・〇〇（東京）ラヂオ・バラエティ「陸の卷」解説古川綠波、三遊亭萬橘、三條商太郎外
七・三〇（東京）合唱「水の卷」A、ヴオルガの船曳唄（無伴奏四部合唱）B、船唄（二部合唱）C、水夫の合唱D、サンタ・ルチア（二部合唱）合唱東洋音樂學校合唱團、絃樂合奏東洋音樂學校合奏團、指揮杉山長谷夫
八・〇〇（東京）ラヂオ風景「空の卷」伊馬鵜平作並演出、御橋公、伊藤智子、井口靜波、山野一郎、堀越節子、小杉義男、丸山章治、生方賢一郎、英百合子
八・三〇　時報、ニュース
八・四五　ニュース、經濟市況、氣象通報、番組豫告（滿語）
九・〇〇　演藝（一）古城會（二）哭靈牌（三）鬧新子＝大鼓金香、絃子李少軒、胡琴陳寶祥、老生金花、胡琴何景武
九・三〇（大連）演藝
一〇・〇〇（哈爾濱）北滿の時間（滿語）一、講演「今昔觀」ベルグラードフ二、詩の朗讀三、ニュース

大連（JQAK 六五〇KC）

午前の部

六・〇〇（新京）ラヂオ體操「建國體操」（滿語）
六・一五　ラヂオ體操、入港船のお知らせ
六・三〇　初等滿洲語講座、滿鐵學務課秩父固太郎
七・〇〇（奉天）初等日語講座、奉天南滿中學堂近藤壽助
七・二〇　氣象通報
七・三〇　朝の音樂（レコード）一、ウイーンワルツ集二、A燕B熱情の誕生三、A支那劇場でB東洋的な行進曲四、Aソーレントへ歸れB伊太利の唄
八・三〇（東京）經濟市況
九・四〇　經濟市況（日滿語）
一〇・〇〇　料理獻立
一〇・二〇　經濟市況（日滿語）
一〇・四〇　經濟市況、時報、公設市場値段

午後の部

〇・〇〇　時報
〇・〇一　經濟市況（日滿語）ニュース、レコード、浪花節「次郎長外傳秋葉の火祭」廣澤虎造「侠客國心の梢」木村忠衛「水戸黄門」東家三樂
一・〇〇　滿洲戲劇（滿語）一、捉放宿店二、南陽關＝（唱者）桂珍（胡琴）滿洲樂（月琴）張寶富
一・二〇（新京）ニュース（滿語）
二・〇〇（東京）經濟市況
二・五〇　經濟市況（日滿語）
三・〇〇　ニュース
三・三〇　經濟市況
四・〇〇　實業對滿俱樂野球第五回戰實況（滿洲日報社主催）大連中央公園内滿倶球場より中繼
五・〇〇　子供の時間、滿洲童話

九・三〇　滿洲戲劇（大連奥町宏濟大舞臺より中繼）＝アナウンサー耿

新京・奉天

定時放送を除き晝夜間とも新京百キロ並に大連と同じ

海外小話　記念物保護の協約

新世界の二十一ヶ國が科學、藝術に關係ある歷史的記念物並びにインステチユートを戰時においても保護しようとする協約に調印したロシア生れで現にニューヨークに住んでゐる畫家ニコラス・ロエリツヒは、すべての國家がこの協約に調印し得られるといつてゐる、ルーズヴエルト大統領はアメリカを代表して、それに調印した。

大連汽船出帆　大阪商船出帆　日清汽船出帆　阿波共同汽船　山下汽船出帆　近海郵船　日本郵船出帆

家庭

子供の〝夏瘦せ〟は病氣の徵候!?
一應反省の必要があります お醫者さまは斯く語る

繪――江藤純平氏

大人はすでに發育停止の狀態にあるから夏になればたいていの人は夏瘦せするのが普通だが發育ざかりの子どもの夏瘦せは何かよくない病氣の一徵候ではないか……と一應反省してみる必要があるといはれます。それは次のやうな理由によります。

子どもの夏瘦せといふのは〝發育の狀態が一時的に止つて、たとへば體重にしてもその增加率がいくらか減つて來るといふのが普通健康兒の夏瘦せ狀況だが、さうでなくて體重がぐんぐん減つて頰ぺたが目だつてこけて來るやうなのはどう見てもあたりまへとは申せません。

たい ていの子どもは一年一キロは體重が增えるもので、これは秋から冬にかけてぐんと肥つて初夏から盛夏にかけそのパーセンテージが減つて來る。これは健康體でもあり得ることだが、さつき云つたやうに夏になつて增加はさておきパーセンテージが減るのでもなく、實際體重の減るやうな

病弱 兒の夏瘦せは分るがのは親ごさんの注意を要します。即ちそれが神經質、腺病質、貧血症、輕い結核、胃腸疾患などを意味することが多いからです。

健康兒までがどうして夏瘦せするかと云ふと、夏は日が永くなつて運動が多くなると共に、暑熱の度が一年中で最も甚だしい狀態になる。過勞に對して一番いゝのは睡眠なのだが、夏はどこの子どもも反つて睡眠不足の傾向に陥るところへもつて來て、胃腸を壞したり弱くしたりすることも少くないそれやこれやで子どもに必要な榮養素が充分利用されず新陳代謝の障害を來たすにいたります。例へば榮養素は十だけしか入つてゐないのに運動その他に十二のエネルギーを使つてゐれば都合二だけの損が多くなつて、體力出納簿に赤字が出て來る道理。

この 營養は健康兒にはさしたる影響はなくても、弱い子にはとんだ障害になるから、傳染病など流行すれば一番にやられる危險がある。つまり夏瘦せとは抵抗力がマイナスであることを示すバロメーターだとも云へます。そんなわけだから夏瘦せを幾らかでも防ぐためには冬の間から注意しないといけないので、冬のあひだあまり食物に執して消極的だと夏は殊に消極的にせざるを得ない狀態になる譯。運動にしたつて戸外の日光浴を冬の間からつゞけてゐれば、夏の太陽にもさしてへこたれずにすむわけでせう。このほか食べものを注意して胃腸を强めないことはもちろん、睡眠をよくとるため夏は午睡をするのも效果的です。

ぜひ 注意して避けたいのは運動過度たるべきことに輕度の病氣があつて夏瘦せするやうな子どもは水泳など絶對に禁止していただきたい、少くともそれには一應醫師の診斷を待つてからといふ愼重さがあつていただきたいものです。(大連醫院小兒科醫長・飯尾純三博士談)

發熱 するのは體のために汗疹が腫れたときで三十八度から四十度にもなることがあります子供に多いけれど大人にだつて無いとは云へません。だから幾らかでもかゆみを止めるため就寢前に湯をくんだ盥の中にリゾール液十滴を滴下しそれでリゾール浴をするといゝ。たゞし化膿した時は入浴を避けた方が賢明です。(大連醫院・柳原英氏談)

〝外交辭令〟ご存じですか

近頃盛大な催しの案內狀に往復はがきを用ひますが御臨席を要する場合には葉書體裁手の白紙に案內狀を認め別に返信用はがきを添へ角封筒に挿入するのが禮儀です。さて、その何れにしても心得おくべき禁句としては「萬障御繰合せ……」の一句です。これは甚だ自分勝手のいひ分で外交辭令としては拙劣です「御差支なければ」「何卒御都合の上」といふ意味の表現をなすべきであります。また案內を受けた方では、出席、缺席と印刷してある何れかに消線=だけでなしに「御鄭招にあづかり喜んで出席……」など、何か意思表示の言葉を添へる心づかひが出ます「先約有之缺席」は大失禮、何とか簡單にその理由、例へば「大阪へ出張のため」の如き文字を記したいものです

サロン

小學校行事 【二十日・木曜日】△州內初等學校教育研究會(松林において)△參觀授業(伏見臺)△學年會(同前)△講堂訓話(下藤)△職員運動(星濃・嶺前)△保護者懇談會(大廣場)△水泳實施豫定報告(嶺前・松林)

催し ◆大倉陶園新作品展覽會は(二十二日より二十八日まで三越三階ホールにて)

滿日婦人團の 南滿硝子工場見學

いよ〳〵けふ午後一時
集合場所 東關街(西南子線、惠比須町の次の停留所)

南京虫や胡藤虫に刺された時の注意
―忘れずに繃帶を卷くこと―

大人 もさうだが殊に子供の皮膚は蟲の毒に負け易いから、これからさき夕方などは木の下へ近づかないことが第一です。また蟲の毒は土地によつて違ふので內地から來たての人は大事になりがちだし逆にこつちから內地へ行つた子がたいてい蚤や何かでひどいめに會ふ。例へば異人種の保有する菌を受けたとき特にひどい結果を招くのと同じ道理です。

そこ で蟲にやられたら直ぐアンモニヤをつけるか、そればかりでは强いといふ人はアンモニヤを含むオボセルドツクをつけるあるひはハブ草をもんでつけると、その實を潰してつけるのもよく、雪の下を揉んでつけるのも效果ありと稱せられ傷口をよく吸つたあとへメンソラの類を塗つておくのもよろしいやうですが更に大切なのは繃帶を卷くことで何にもつけなくても繃帶を卷いておくことはあとで搔き毀る憂ひをなくす意味で特にお奬めしたく考へます虫に刺されること自體は大したことぢやないのだが、あとを引搔くためにいろいろな化膿菌に侵されそれからひどいめに會ふことが多いのです。

満不の街 (14)
村田治郎

◆建築規則……當地の市街地建築物法は日本より早く出來ただけ、それだけ今となつては時勢に適合しないものとなつてゐる。何しろ十何年も昔のもの故、遙かに現狀に即したものに改正の必要があらう例へばアパート一つ建てるにも敷地一杯に建てるものだから、そこの住居人も充分な光線が得られなかつたり隣家の者がとんでもない不便を感じたりすることが少くないのである。

◆規則勵行……日本人には凡て嚴しくいふのに滿人に對して特にルーズだと思はれるやうな事實がある。規則に抵觸するものが建築を許可されたり許可なくして無斷建築するものがあつたりするので忽ち乞食部落の如きものが諸方に出來上る始末だ。これらの整理取締りのためには警察と土木課との二元制を一元的なものに改めることも大切であらう

工夫して頂きませう 〝薄もの〟の着つけ
優美より涼味第一
肥つたお方=瘦せたお方

薄物を着る季節が參りました。薄物は體線がはつきり現れますからお着附けに一工夫して頂きませう

肥つ た方はガーゼ一反を先づお腹の邊から胸元に苦しくない程度にしつかり卷き、汗よけを兼ねます。ガーゼの嫌ひな方は和服用コルセツトをし、お腹とお胸の突出た部分を引締め土臺を作つてから次にボイルの肌襦袢、長襦袢の順で着ます。肌襦袢と衿出しだけでは着崩れも早く、お姿を崩してしまひます。衿が開いて困る方は前身の衿先を幾分より氣味にして胸紐を締める時、呼吸を吸ひ、お腹を引き、胸骨の上でしつかり結ひます。上半身はゆとりをつけ、裾も窮屈にします。お人形式にしめては暑さうで見姿を臺なしにしてしまひます。窮屈の裾は襟明の所二ヶ所に洋服用スナップをつけて置けば簡單で、紙の如く丸まるおそれがありません。帶の前に必ず伊達卷を使ひ、薄いふとんを入れると帶のまくれる事はありません。

瘦せ た方は肥つた方と反對の意味でガーゼを胸につけるやうにそげた肩や胸元に女らしいふくらみを着けます。殊に背の高い方は後姿を淋しくせぬやうお太鼓の形を高く、又丈も長くします。全體に薄分は派手にならぬやう、いやみのない限り派手な模樣もよいものです。肥つた方、背の低い方は明石縮緬のゴワ〳〵したものよりジョウゼツト、ボイル等の線の柔かいものを御勸め致します。襦袢は上品な絽地のボイルを用ひても上品な感じの御召物が出來ます。お仕立なさる時、裄で肩の方は袴明を詰め加減にすると、自然と肩の線が出て丸味が出ます。猶り肩の方は袴明を裄より餘計にあけ縫代も充分につけて猶に裄がつかぬやう工夫致します。

單衣 帶は最初の折目が大切ですから前に芯を入れ皺のつかぬやうにします。帶上げは薄色を少しのぞかす位にして、帶止はさゝなだ細か金具を少し斜にします。要は華美といふより涼しさ第一にして戴き度いものです。(徳永千代子さんのお話)

家庭顧問 鳩具店を

【問】御手數ながら滿洲及び內地に在る鳩具店を敎へて下さい(市內・矢名氏)

【答】新京日本橋通七九及川商店、東京神田元岩井町一六持田商店、東京麹町四番町津治助、大阪東區安土町二西村商店 尙當滿鐵農事業部では滿洲產の材料で經驗ある職人に適當な鳩具を作らしてゐますが材料、運賃等の關係で內地より取寄せるに比し三分の二乃至半値、甚だしきは三分の一位で出來るものもあります、例へば最近のカタログによる步兵籠六羽入七圓が三圓五十錢位で飲水器でも巣皿でも內地輸入より遙かに安價に出來ます(滿東傳書鳩協盟本部)

洋裝辭典(アの部)

◇アンサムブル アンサムブル・コステユム、またはアンサムブル・ドレスの略で、多く午後の服のコートとスカート、ジヤケツトとスカート、或ひはオーヴアーやケープが共生地となりコートの裏とブラウスが共生地である等、元來「揃ひの」「一緒」の意です。

滿蒙の長蟲 (三)
S・M生

さらさへびはその二です。これは新疆から西比利を經て遠く裏海に注ぐヴォルガ河の流域までも棲み、北支那にもゐる可なり分布の廣い類ですが、朝鮮ではモク(墨)クロングイとかコムウン(黑い)ベアム(蛇)とかいひ、支那では烏蛇(ウシエ)黑花蛇(ヘイホアシエ)または烏梢蛇(ウシヤオシエ)として廣く知られてゐます。通身灰色がかつた蒼褐の地に、濃く緣を取つた立菱の黑ずんだ更紗模樣が相當大きく出てゐてその更紗模樣の間々には矢張り同じ樣に緣取した小形の黑斑が、ちやうど櫛ツ腹と思ふところにずツと並んでゐるのです。それで烏蛇とか烏とかいふ因みの名が付いてゐることゝ思はれます。それから黑花蛇といふのは黑い模樣のある蛇と解きまして、南支那から我が臺灣にかけて棲む、いわゆるしまへびの白花蛇と對照して考へなければ、十分にその意味が吞み込めません。

いわゆるしまへびは本草綱目に黑質にして白花、脇に二十四個の方勝文あり、腹に念珠の斑あり、と見えてゐます。通身暗褐の地色に狹い黑の橫斑が散らばり、兩脇には頸筋から尻尾の端まで、黃ばんだ白緣が通つて、双方綺り交つて大體に立菱の更紗模樣が出てゐるのですから、黑質にして白花といつたものでせう。しかし、その數が二十四個に限られてゐるか、どうかは判然致しませんが、立菱形でありますから方勝文に違ひありません。腹に念珠の斑ありてチトどうかと思はれないでもありませんが、下面が灰白くて黑斑が兩側に散つてゐることだけは確かです。荷綱目には一に蘄蛇とも、また褰鼻蛇ともあります。蘄蛇の方は兎も角も、同じ地方には褰鼻蛇といふ鼻先が恐ろしく尖つて而も上にしやくれたすつぽんの首そつくりな毒蛇が別にゐまして、その色合から斑紋まで好くも似通つたものでありますから、流石の學者もこれをごつちやにして誤り傳へたものと思はれます。水滸傳中百八人の豪傑の中に、白花蛇楊春といふのがあるのを、皆さんは御承知でせうが、楊春は背にこの蛇の模樣のやうな痣があつたので、さういふ綽名を得たと見えてゐます。

餘談にわたつて恐れ入りますが北方産のさらさへびの黑花蛇は、南方産のしろすぢしまへびの白花蛇と對照して考へなければなりません。白花蛇は頭尾各一尺は大毒があるといふので、これを切去り中央部のところを臘乾にして酒に漬その汁を風邪の妙藥として支那人や朝鮮人の間に飲用されてゐますが黑花蛇も矢張同樣の目的につかはれてゐます。俗に花蛇酒といふのはそれで、嚴密に別ければ白花蛇酒と黑花蛇酒の二通りあるわけです(つゞく)

あふれこ

お〻!なんと 散髮は一年に一度、頭髮なんか年百年中洗つたことがないといふ定評だつた大宅壮一氏が何を感じてか近頃しきりにおしやれをし出した。この間も流行仕立の綠地の背廣に、五百圓もするライカのサツクを肩にかけて颯爽と銀座の鋪道をのし歩いてゐると向ふから來かゝつた一列横隊の東寶の生徒孃たちが氏の顔を見てクスクス笑つて通りすぎた、と、そのうしろから來かゝつたのが飯田三郎氏だ……「あの女の子たちは僕の顔を知つてゐるのかなあ?」と大宅氏、「どうして?」「だつて僕の顔を見て笑つてるたぜ」に飯田氏ニタニタ笑ひながら、黙つて大宅氏の股間を指したものである。おお、なんと、そこには一すぢの紐が―一尺ばかりも垂れてゐたではないか?。

つり

◇キス釣り 十五日夜、夏家河子泊りのキス釣り連は雨の止むのを待ち、午前三時頃出て七つの舟まで、總船數は約三十隻、殆ど全部出揃つてゐたが、あの通りの天候で滿足な漁を得ず最も多い人で四十尾位で誇る(正隆・松本氏・談)

◇長山列島行中止 十五日夕、宇佐丸にて出帆豫定の長山列島行は濃霧を氣遣ひ、波止場にて同行二十名協議の結果殘念乍ら中止解散、翌日の天候は果して惡かつた、他日再擧の心算、時日未定。(市內・海老屋・談)

學藝

書棚の國際色
喜多壯一郎

洋書餘談 【C】

☆…運動方面のものは一般にアヴアレイヂされてゐるが我が國では未だクリケツトとポロに關するものは出ないやうである。この方面も赤或る運動が始めて輸入された場合、例へばレスリングとかグライダーとか最近ではアメリカン・フツトボールの如きものが紹介されると最初はそれに關する本が書棚へ飾られるや飛ぶやうに賣れるか、やがて漸減する傾向は趣味方面のものと同樣であるが、その中に所謂中興の云々といつた具合に著名な選手だとか事件が起ると亦再燃して店員は忙しくなる。

☆…丸善の階上を一巡すれば無言の書籍が我が國の文化的色彩を雄辯に物語つてくれる。昔は英文原書が多かつたが現在では英、米、獨は殆ど同樣であり、これに次ぐものは佛であるが、その內容を個別的に觀察するならば其處には各々異つた文化的カラーを顯はしてゐる、法學、醫學方面では斷然佛が他を壓してゐるが政治學經濟學方面では英米が優り、次に位するものに獨佛がある、然し藝術、特に美術方面においては佛が他を凌いでゐるのが目に付く、技術方面のものとしては英、獨であるが時に〝ハンディ〟のものは米に多い。

☆…更に法學の分野においても國際法では英佛ものが多く、民法では佛、獨が優る、醫學の部門は術語の如く獨の獨占であるが齒科に關してのみは米の專賣である、これはアメリカ人がチヨコレートを多く食べるせゐであるかも知れない、文學方面も最近佛文學が同趣の種を播いてはゐるが原文ものより英譯が多く讀まれてゐる。

☆…時代の推移と共に婦人の地位も向上し、かつては丸善の階上、時たま婦人の姿が見えれば、それこそ文字通り紅一點といふ所であつたのが街路における和服洋裝が半々になつた今日では服裝に關するもの美容に關するもの其他料理に就いての書籍雜誌が激增すると同時に店內もレフアインされた婦人が目立つて多くなつた、婦人の內で最も古い洋書愛好者で丸善の階上に來られたのは大山元帥夫人で、すでに明治卅年頃屢々訪れられたさうである、なほ津田梅子女史も早くから姿を見せられた一人であるといふ。(つゞく)

ブツク・レヴユウ

ネダーチン氏の近業 〝現代新疆〟を讀む (一)
田口稔

この六月初旬、エス・ヴエー・ネダーチン氏の新著にして中平亮氏により飜譯された「現代新疆」が私の机上に贈られた。四六判三四二頁にみつちり詰められた豐富な內容は概說、境界、行政組織、地方及び都市住民、英露の暗鬪、ロシアとの關係、交通經濟、回敎徒の叛亂等に關する十二の章に分たれ、その目次の一瞥によつて本書が新疆の全貌を把握する上に最新精密な好資料を提供してゐることを知ると共に、同地方の政治的特相の存在することをも先づ看取するのである。

私は個人的の興味から「新疆の境界に就て」なる一章に心を惹かれた。殊更に、この問題に對して一章を捧げられたことには興味深い理由の存するものがある。著者は新疆のバウンダリイの擴大化に對して二つの見解を下して居られる即ちその一は、國境線を形成するホルゴス河の河床が雪解け時に激流をなして移動したこと、更にゴビが南方へ移動性のあることとの自然地理的要因を指摘し、その二は國內の政治、經濟上の特殊な要素を擧げて居られるのである。境界線移動の研究上の生きた好テーマとして本章を讀むことは實に興深いものがあつた。(つゞく)

ブツク・レヴユウ

易學通變(加藤大岳著)東京神田須田町紀元書房、六・〇〇錢

北方(北川冬彥著)當地出身の詩人北川氏の第一創作集で「古い譜」以下九篇の近業が收められてある、横光利一氏の序に曰く「この一卷には氏の純潔な個性が雪と氷に蔽はれた寒烈な北方の光線の中で嬉々として跳る奔放な自由な美しさをもつて滿されてゐる氏の健康な望郷の產である」と(東京蒲田女塚蒲田書房、二・〇〇錢

●決算書の作り方見方(松岡元三郎著)東京神田神保町同文館、一・五〇錢
●財務管理の仕方(濱谷源藏著)東京神田神保町同文館、一・六〇錢
●映畫敎育(六月號)大阪北區堂島大阪每日新聞社、一〇錢
●米の友(六月號)東京本所千歳町東京米穀研究所、二〇錢
●北斗(六月號)東京品川東大崎三其社、一七錢
●謠曲新報(六月號)東京四谷大番町其社、三〇錢
●民衆時論(六月號)東京牛込箪笥町其社、五〇錢
●蒙東詩壇(百十四號)大連星ヶ浦星德中同文社、三〇錢
●滿洲俳壇(六月號)大連山吹町其社、三〇錢

(A) 昭和十年六月十九日 滿洲日報 (水曜日) 第一萬四百九十號 (第三種郵便物認可)
主婦之友
七月號 いよく發賣
二大附録贈呈
子供繪雜誌つきで大人氣
吉屋信子先生の新小説愈こ連載 男の償ひ
お待ち兼ねの吉屋信子先生が大傑作「男の償ひ」を愈々本號より連載。第一回より息もつかせぬ面白さ。大評判
啞の娘さん七人の座談會
啞が自由に話の出來る時代が來ました。七人の可憐なお嬢さんが實に朗かにお話した空前の座談會で大評判です。
罪の女囚人が母性愛に更生した哀話
懲役八年の重刑に處せられた女囚人が出獄後結婚して三兒の母となり貧苦と闘ひながら子供を立派に教育してゐる涙なしには讀めぬ母性愛哀話
良人の愛を再び取り戻した妻の涙の手記
良人の愛を我が家の女中に奪はれた中學教師の妻が乳吞兒を抱へて苦心惨憺再び良人を我が手に戻すまでの血涙の手記で非常な大評判です。
結婚難解決の秘鍵 縁結びの方法の座談會
澤山の結婚の媒妁をされた方々が良縁を早く結ぶ秘訣を根こそぎ發表された空前の座談會で大評判です
三夫婦四博士で有名な竹内先生の家庭座談會
二夫婦に四人の博士といふ珍らしい竹内茂代先生一家の座談會で司會は山田わか先生。大評判
愛兒二人の死によつて信仰を得た母の感謝の告白
詩人土井晩翠氏夫人の涙の告白です。年頃の息子と娘を死の手に奪はれた夫人が信仰に更生するまでの苦難の體驗
寶塚歌劇スター お伽童踊
寶塚のベビースター櫻町公子さんと加賀松乃さんが有名な童話「あわて床屋」のお伽舞踊を發表したので大變な人氣です。
夏の男子の誘惑
大評判の重寶附録 魚の洋食一品料理(約二百種の作方發表)
夏はお魚の西洋料理に限ります。美味しくて經濟的で榮養のどつさりある一品料理の作方を一流の先生方が二百種も發表したので大評判です。主婦之友獨特の寫眞畫報式に徹底的に詳しく發表しましたから、お料理の不得手な方にも簡單に作れます。實物を大至急書店で御覧ください。空前の大評判です。
第二別冊附録 凉しい簡單服の作方
「主婦之友」獨特の實物大型紙つき仕立方で赤ちやんから大人までの新型廿種の作方發表。大評判です。
素人にも上手に出來る按摩の仕方畫報
頭から足の先までの詳しい按摩の仕方を某先生が素人でも出來るやうに美しい畫報式で發表された特別記事。急所を特に詳しく發表してありますから誰方でも直ぐ上達します。お姑様や旦那様に早速お試みくださいませ。
夏の不養生からお産に失敗した經驗
瀕死の疫痢から愛兒を救つた經驗
勤人向きの内職に成功した經驗
オリムピックの食堂經營苦心談
薄物の女單衣の上手な着附畫報
勸業債券割増金の未拂當籤番號發表
勸業債券の割増金に當籤してゐながら受取人のない五千圓以下百圓までの當籤番號を全部發表。復興債券の割増金未拂番號も公開。債券御所有の方の絶對に見逃せぬ特別記事です。一刻も早く御覧ください。
良人や戀人の愛情を試驗する法
愛情テストの方法です。早くお試しください。
指紋で運命を判斷する法
夏の生花の水揚法
小原流家元の小原光雲先生がむづかしい夏の生花の水揚法の奥義を惜しげもなく何から何まで公開された空前の大記事で非常な大評判です。
肥滿した人が瘦せた方法
汗よけ下着の作方
夏の台所の座談會
特に不衛生になりやすい夏のお臺所のあらゆるものについての座談會
長篇小説 虹の故郷 (牧逸馬)
長篇小説 人妻椿 (小島政二郎)
小説 眞實一路 (山本有三)
長篇小説 白梅紅梅 (林不忘)
小説 女軍突撃隊 (中野實)
拳闘王デンプシーと會見の記
三大附録つき 六十錢 (送料十錢)
東京神田 振替東京一八〇 主婦之友社

警官の醜聞續く 今度は酌婦と心中

內地女に寄せる巡捕の熱情 女は危ふく助かる

十八日午前十時半頃春日池裏山綠滴る松樹の下で、若き男女のピストル無理心中があつたとの急報に接し、大連署中島檢證官、香取警察醫その他多數の警官現場に駈けつけ檢證を行つたが、意外にも男は元大連署衞生係給仕から巡捕採用試驗に合格し、この程拔擢されて水上署の高等係の特務巡捕になつたばかりの將來を囑目されてゐる若き警官であり、相手の女は逢坂町正木亭の酌婦で、男は絕命女はかすり傷を負つたのみで助かつたことが判明した

周圍の反對から 無理心中へ？ ふとした事で馴初め

十八日午前十時頃社會館止宿の加藤辰一(二九)君が友人二人と春日池で退屈の餘りボートを漕いで遊んで居ると、逢坂町方面より騷しさうだが深刻な顏をしてやつて來る若き男女の一組のあるのに氣がつき、注意してゐると池の畔を過ぎ遊覽道路

裏山の 松樹の中を一心に山の峰に向つて上つて行くので好奇心をそゝられた三名は一町位の間隔を置いてその跡を尾けて行つた、男女が山の中腹まで行つたと思はれる頃、忽ち起る一發の銃聲、續いて二發、三發目の聞えて來たのはそれから數秒後、銃聲の聞えた方向に遮二無二現場に駈付けて見ると、男は朱に染まつて仰向けに倒れ、女は倒れた男の身體に身を伏せて失心した面持で打ちふるへながら咽喉には不氣味にピストルが擬せられてゐるといふ物凄い場面だつたので、女の手からピストルを奪ひ直に引返して逢坂町派出所に屆出たので、こゝに始めて事件の全貌が判明したのである

取調べにより男は昨年十月十日まで大連署衞生係の給仕を勤めて居つたが巡捕採用試驗に合格すると同時に水上署勤務となつた薛吉慶(二三)、女は逢坂町正木亭荒川ユキ子(一九)で、去る四月ユキ子が

埠頭で 一寸した事から薛巡捕に叱られた事が二人の魂の相寄るそもそもの始まり、それ以來男は屢々女に電話をかけ

二人はいつも外で逢ふ瀨を樂しむやうになつたが、薛には少年時代からの許婚者で既に結婚し

死のかどでに……

(その前日寫したふたり)

た若い妻があつた、然し薛は常にその結婚生活を喜ばず、家を外にする日が多かつたが最近市丸との仲が益々深まり此の頃ではどうにかして一緒にならうとさへしてゐたのに兩親を始め上司、友人等よりの反對でそれも出來ず遂に無理心中を企てたものである

十七日も朝から男は女のところに行き、一緒に連鎖街入江寫眞館で記念撮影をなし、その足で星ケ浦に到り、やつぱりピストルで男が心中を迫つたが女が應じなかつたので、再び正木亭に二人で引き返して來たが、その時

正木亭 では男のピストルを奪つて帳場で十八日朝まで保管してゐた、男の親が同朝取りに來たので渡してやつたものである

"思ひ切る"こいってたのに 淺子署長語る

水上署の滿人巡捕が日本人娼妓と心中したとの知らせに驚きながら淺子水上署長は語る

まさか心中しようなんて考へなかつた、昨日(十七日)午後會議中薛巡捕が僕を一寸用事があるからと呼び出したので室を出てみるとその女と一緒に立つてゐた、どうしたのかと聞くと「署長さん、私はこの女と結婚したいから許して下さい」と藪から棒に云はれ、私も返事のしようがないので後でゆつくり話を聞かうと云つて置いた、ところが晩七時ころまた官舍へやつて來た、やはり何とか結婚を許してくれと迫つたが、薛には妻子もあることだし、諄々と說いて聞かしたら「よく判りました、女を思ひ切ることにします」とそのまゝ納得して歸つて行つた、薛巡捕は私が大連署の衞生主任時代ボーイとして働いてゐた、眞面目な男で日本語がとてもつしやだつたのでその後昭和八年巡捕に任官し、勤務成績が良いので海岸分室派出所から先程の異動で高等特務に拔擢したばかりなんです、女は心中常習者だとかいふ話です

滿蒙の野にこゝろ殘して

白衣の勇士凱旋す

白衣の勇士相馬一等計手以下八十三名は去る十五、六の兩日に亘り沿線各地より來連したが、輸送指揮官一等軍醫中野義雄氏に率ゐられ十八日出帆あめりか丸で凱旋の途についた、國婦會員始め大連商業、春日小學校兒童等の諸團體、その他多數の見送り人が出帆前埠頭を埋める、昭野市長代理がマイクを前に感謝の辭を述べて勇士の勞を犒へば、これに對し相馬一等計手一同に代つて力強く挨拶をなし、終つて市長代理の發聲で萬歲三唱、かくて勇士を乘せた船は「どうぞお大事に……」の見送りの言葉をあとに靜かに岸壁を離れ、一路なつかしの故國に向つた

寫眞 出帆直前の勇士たち

日米對抗 水上競技 顏觸れ決る

【東京十八日發國通】一九三六年オリムピック制覇の偵察戰たる日米對抗水上競技は愈々八月十七日から三日間神宮プールで擧行されるが

來朝を豫想される米選手は短距離ピーターフイッグ(百米五十六秒六)アーサーハイランド、ジエームスギルフアー、中距離ジヤツクメデイカ、平泳ジヨンヒギンス(百米一分十一秒八)背泳アドロフキーフアー(百五十ヤード一分三十六秒一)アルバードバンデウエー(昨年百、二百の日本選手權獲得)の外米國粒選りの一流選手十四名で、之を迎へる我選手は短距離遊佐、中距離では牧野、根上、北村、平泳では小池、背泳では新進吉田その他水上日本の超弩級を總動員するものであり

この太平洋を隔てた强力無比の日米の一戰こそは明年のベルリン大會を彷彿せしめると共に、文字通り世界爭覇の一戰として注目され互に萬全の秘策を練つてゐる

日本精神聯盟 支部發會式

廿三日大連神社で

日本精神聯盟大連支部結成準備委員會では來る二十三日の發會式を午前九時より大連神社境內にて擧行することゝなし、順序を左の通り決定した

(一)一同着席(二)開會の辭(三)國旗揭揚(四)國歌合唱(五)詔書捧讀(六)代表者挨拶(七)綱領並信條朗讀(八)來賓祝辭(九)本部代表者祝辭(一〇)帝國萬歲三唱(一一)聯盟萬歲三唱(一二)國旗降下(一三)閉會の辭、式後大連神社參拜、散會

捨てられた幼兒に愛育の手

【新京電話】"眠れ"父よ何處へ"の可憐な二人の幼女を置いてけぼりにして出奔、既に半歲になる父は杳として消息がなく、滿人洋服商南海臣の手で育てられてゐる三郎長女節口さよ子(六)かよ子(四)は世間の同情を惹いてゐたところ十八日市內朝日通三五永松千吉氏は"最近愛兒を亡くしたが、この際父親が見つかるまで我が子として育てたい"と新京署に……で、木內主任も"二人のために父親の見つかるまで願ひたい"と同情の……した

また怪盜

阿波共同支店から 一千餘圓盜み去る

一萬圓怪盜事件犯人檢擧に晝夜大奮鬪を續けてゐる大連署管內に又復一千七百二十圓の大金盜難事件があつた、市內山縣通二〇〇阿波共同大連支店長山崎龍次郎氏が同事務所に保管中の金庫八百餘圓を始め爲替、大洋、小切手その他現金合計一千七百……六日午前十一時より……時迄の間に竊取され……見、十七日午後大連……人嚴探中

健棒ますく冴え 實業再勝す

5A―4

けふ愈よ決勝戰

戰ひを交へることすでに四合、十八日又茲に球界至高の榮冠を爭はんとして兩雄綠山山下實業球場に相見える、この日前夜の豪雨に洗はれて實業グラウンドは見るもすがくしく、愈々訪れた灼熱の太陽また惜しみなく赫々たる陽光を送る、一勝二敗の實業追擊なるか後一押し二勝一敗の黃金藏點に立つ滿倶、過去數戰に亘る間斷なき攻防の走馬燈に醉ふ球衆、敵、味方……三昧一體の球魂凝つて球技の殿堂に流れ行く球戰譜の快速調……この一戰を逃さじとするファンの群は午後二時頃より早くもスタンドに詰めかけ、開始前には既に立錐の餘地なき超滿員、その數三萬と見られる、愈々球熱最高潮に、怒濤の聲援、急霰の拍手裡にサイレンは鳴り響き午後四時四分實滿第四回戰は尾崎(球審)川久保、井口(壘審)三氏審判の下に滿倶先攻で開始された

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	合計
滿倶(先攻)	1	0	0	1	0	2	0	0	0	4
實業	0	0	2	0	1	0	2	0	A	5A

バツテリー　實業 岩瀨(投)野田(捕)　滿倶 阿部(投)三浦(捕)

滿倶　8 汐 崎、6 柴 原、4 本 田、3 高 橋、9 高 須、7 水 谷、1 阿 部、2 三 浦、5 小 池

實業　6 田 見、8 內 田、4 岡 見、5 井 上、3 松 木、2 野 田、4 鈴 木、7 大 月、9 宇 多、1 岩 瀨、村 尾、松 岩

經過 ◇一回 滿倶汐崎初球を遊飛、柴原2―2後直球を打つて中飛、本田ストレートの四球に出で、高橋0―3後の直球を打つて左中間を拔き直接欄に當る二壘打し、本田還つて先づ一點を擧ぐ、高須2―3後三邪飛▽實業內田2―2後の直球を投手頭上を拔いて出で、岡見の投前犧バントに送られて二進したが、井上初球を右翼寄に淺くフライ、松木1―2後の直球を右翼深く飛球を上げ野手の好捕に退けられ得點に至らず

◇二回 滿倶(實業鈴木退き井上三壘となり、大月二壘に入る)水谷ストレートの四球に出で、阿部打者の初球の時二盜、阿部2―0後三壘左を拔く單打し、水谷三進、球の三投される間に……

齊克線寧年驛に 眞性コレラ發生

滿人驛員四名罹病す

【チチハル特電十八日發】齊克線寧年驛の滿人驛員四名は數日前より吐瀉し、コレラの症狀を呈してゐたが、同地〇〇隊軍醫の檢診を受けた結果、十八日朝に至り眞性コレラと判明した、急報に接し滿鐵南滿路局チチハル警務段では相賀醫師を現地に急派し、傳染徑路を調査せしむる事となり、チチハル各衞生機關では萬一を憂慮し、防疫陣を布くべく準備中である

王德林一味と提携 北滿攪亂に策動す

……藍衣社一派の暗躍

【新京電話】滿洲後方攪亂を企圖する國民黨の分身藍衣社は若き同志を凡ゆる方法を講じて入滿せしめんとして既に組織された一味の中にはそれぞれ潜入の形跡あり、在滿警備機關は是が査察に全力を擧げてゐるが、滿洲國の治安を攪亂すべく滿洲における排日分子の解消を……には今年初めより藍衣社の鬪士が既に五十餘名勢揃ひし、同地を足溜として滿洲に働きかけんとしてゐる、北滿地區を攪亂化さすべく王德林一派と提携愈々活動に入つたと傳へられてゐる、彼等は既に在家裡の信徒を連絡先として蔣介石の寫眞を團員……雖さず持つてゐる

醫大に赤痢

寄宿舍から廿四名發生 全校つひに休校す

【奉天電話】滿洲醫科大學豫科寄宿舍啓明寮から二十四名の赤痢患者を出し、更に蔓延の兆あり、奉天署では萬一を慮り同寮の交通遮斷を行ふと共に、寮生二百六十名の健康診斷をなし豫防に努めてゐる、一方醫大當局は十八日從に全部の臨時休校を行つた

拉濱線に出水 各列車立往生

【奉天電話】前日來の豪雨のため拉濱線一帶は一時に出水し、十八日午前六時四十分頃同線馬鞍山―小城子間哈爾濱起點二百四十粁附近の線路に約二十米浸水し、列車運轉危險となつたので新站、上營……に各列車は立往生してゐる

人質諸とも 匪首捕はる

【安東電話】十六日午後七時頃渾水池に匪首得勝以下九名が滿人人質五名と共に彷徨してゐるとの報に接した警察分駐所では浦野巡査以下十一名豪雨を衝いて討伐に向ひ、屯して居た民家を包圍交戰二十分にして匪首以下九名を捕縛、人質を無事奪還した

十七日午前一時嚴重警戒の裡に安東署に引揚げたが、有力な匪首の逮捕に成功し、岩佐警務部長より表彰の金一封、三浦署長より特賞が授けられ十八日朝表彰式を署において擧行した

クリツパー號 ハワイに着く

【ホノルル十七日發國通】……

異人劍法（118）

伊藤行男
金子清之介畫

やくざの血（その二）

お袋さんも初音さんも、さぞ惡黨を恐ろしがつておいでゝあらう。心細い想ひをしてゐるのではあるまいかと、飛び立つやうに歸つて來た巳之助だつたが、釘づけになつたわが家の前に立つた時はいきなりさつと顏色が變つた。

信じられぬ氣持で、入口の戸にさはつてみた。押してみた。叩いてみた。

（空家だつ）

棲む人のない家といふものは、どことなく荒廢した感じをもつものだ。

夕暗の中に、物音もなく、まるで死人の家のやうに、ひそまり返つてゐるわが家……。

「しまつた……」

と巳之助が叫んだ。

不吉な豫感で、全身の血が逆卷いて來た。

「どうしたんだ、一體こりやアどうしたつてんだつ」

と叫びつつ、力まかせに、入口の戸を蹴破つて、氣狂のやうになつて、家の中へ飛び込んでゆく。

その一瞬の間に、巳之助の眼の前は、いきなり眞つ暗になつてしまつた。

憤怒にふるへる眼で、巳之助はそこらぢうを探つた。手で、脚で、

誰の仕業か家の中は、綺麗にとり片づけられてはゐたものの、襖に、壁に生々しい刀傷……。

「畜生つ」

誰に聞かなくても、巳之助にはすべてが分つた。

巳之助は棒立ちになつた。するとキッと嚙みしめた齒が、カチカチと鳴るのであつた。

寂しい蓮臺寺村の家々は、谷間に、まばらに散らばつてゐるのである。

やがて野を吹く秋風が、冷たく月明りに染め出された頃、村を見下す小高い墓地に、巳之助があがつて來た。

母がこゝに眠つてゐると、村人に聞かされて、脇差をとり出すが早いか、驅けつけて來た巳之助なのだ。

巳之助は落葉にまみれた墓の前に、もろくもべたりと膝をついてゐた。

「おつ母さん……」

膝をそろへて、兩手をついて、巳之助は墓を見あげて、

「お母さん、巳之助、只今歸りました……」

云ひも終らず語尾がふるへて、巳之助はわれとわが言葉に咽んだ。泪が一時にこみあげて來たのであらう、寒々と肩をとがらせ、しきりに手の甲で眼をこすり乍ら、

「すみませんお母さん、お母さんには小さい時から、苦勞に苦勞をかけ通しの、極道者のこの巳之助存じてをります。こんなやくざな倅でも、いとしんで下すつたやさしさは、決して忘れはいたしません。そのお情を忘れねばこそ、今度こそ御心配はかけまいと、歸つて來たのが仇となつて、とうとうこんなお姿に……。もし、もしお母さん、さぞ不孝者の巳之助と、草葉のかげで怨んでおゐでなさいませうが、今度こそは正眞正銘、甲州の親分にも親分乾兒の盃を立派に返して來ましたのに……」

巳之助は聲をあげて慟哭した。

「しかし、しかしもう何もかも、今となつては水の泡、これもみんなお母さん、やくざな倅から起つた事、どうか、どうかお許しなすつておくんなさい、巳之助の心はもう鬼でござんす。この怨みやアきつと……いゝえとめないでおくんなさい、叱らないでおくんなさい」

秋風にさらされて、白々とわびしい墓にさながら母の前にゐるかのやうに思ひなしつつ、

「巳之助、もうかたく心を決めましてござんす。しでかした不始末は、やつぱりやくざの道に從ひ、片をつけたいと存じます。血が、やくざの血が、さうしなけりやアお母さん、どうしてもをさまらねえんでございます」